

ワイヤレスバーコードリーダー

CM-520W1

取扱説明書

Ver.R4

はじめにお読み下さい



株式会社エイポック

www.a-poc.co.jp

- ・製品の仕様および本書は改良のため予告無く変更される場合があります。
- ・本書に記載されている他社製品名は、各社の商標または登録商標です。
- ・本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製することを禁止します。

目次

| | |
|---------------------------|-----------|
| 改訂履歴 | 6 |
| おことわり／取り扱い上の注意 | 7 |
| 第1章 はじめに | 11 |
| 1-1 本書について | 11 |
| 1-2 製品の特徴 | 11 |
| 1-3 付属品 | 11 |
| 1-4 別途ご用意下さい | 11 |
| 1-5 各部の名称 | 12 |
| 第2章 セットアップ | 13 |
| 2-1 製品の取り出し | 13 |
| 2-2 スキャナのセットアップ | 13 |
| 2-3 充電して下さい | 13 |
| 2-4 最初に設定して下さい | 13 |
| 2-5 よく遣う設定 (Enter・Tab・なし) | 14 |
| 第3章 バーコードの読み取り | 15 |
| 3-1 バーコードの読み取り方 | 15 |
| 3-2 ブザー | 15 |
| 3-3 パイブレータ | 15 |
| 3-4 ブザーとLEDの意味 | 16 |
| 第4章 データ転送形式 | 19 |
| 4-1 データ転送形式について | 19 |
| 4-2 データ転送形式の説明図 | 19 |
| 4-3 データ転送形式の設定変更 | 19 |
| 第5章 日時の設定 | 20 |
| 4-1 日時の設定 | 20 |
| 4-2 日時を転送する設定について | 20 |
| 第6章 3つのモード 切替と固定 | 21 |
| 6-1 スキャナのモードを知る | 21 |
| 6-2 ケーブルモードに切り替える | 22 |
| 6-3 メモリモードに切り替える | 22 |
| 6-4 BTモードに切り替える | 22 |
| 6-5 モードを固定する | 23 |

| | | |
|------|--|----|
| 第7章 | ケーブルモード 設定と使い方 | 24 |
| 7-1 | キーボード配列の設定 (キーボード/メモリ共通) | 24 |
| 7-2 | USB 接続中の充電オン/オフ | 24 |
| 7-3 | バーコードを読み取る | 25 |
| 7-4 | 困ったときは データ転送すると改行しない、横に連続で出る、全角になるとき | 25 |
| 7-5 | ケーブルモードの改行設定を変更する | 26 |
| 7-6 | ケーブルモードで日時を転送する | 27 |
| 第8章 | メモリモード 設定と使い方 | 28 |
| 8-1 | キーボード配列の設定 (キーボード/メモリ共通) | 28 |
| 8-2 | バーコードを読み取る | 28 |
| 8-3 | 2度読み防止の設定 | 28 |
| 8-4 | 蓄積データを1件消去する | 28 |
| 8-5 | 蓄積データを転送する | 29 |
| 8-6 | 蓄積データを1件ずつ転送設定 | 29 |
| 8-7 | 蓄積データの転送データ形式 | 30 |
| 8-8 | ヘッダとフッタ | 31 |
| 8-9 | メモリモードの日時を転送する | 32 |
| 8-10 | 蓄積データをすべて消去する | 33 |
| 8-11 | 転送したら自動的に消去する設定 | 33 |
| 8-13 | 蓄積データ転送のレコード抜け対策 | 34 |
| 8-12 | マスマストレージの設定 | 35 |
| 8-13 | マスマストレージで蓄積データファイルを取り出す設定 | 35 |
| 8-14 | マスマストレージのデータを消去する | 35 |
| 8-15 | マスマストレージのデータ形式 | 35 |
| 第9章 | BTモード(Bluetooth ワイヤレスモード) 設定と使い方 | 36 |
| 9-1 | ドングル付きセット品の使い方 | 36 |
| 9-2 | 専用 USB ドングルとスキャナのペアリング | 38 |
| 9-3 | iOS デバイス(iPad,iPhone)とスキャナのペアリング・使い方 | 39 |
| 9-4 | Android デバイス(タブレット等)とスキャナのペアリング・使い方 | 41 |
| 9-5 | Windows 10<Bluetooth 対応 PC/タブレット>とスキャナのペアリング・使い方 | 43 |
| 9-6 | Windows 7<Bluetooth 対応 PC/タブレット>とスキャナのペアリング・使い方 | 44 |
| 9-7 | 市販の USB Bluetooth アダプタとスキャナのペアリング・使い方 | 45 |
| 9-8 | ペアリングモードに入る方法 | 46 |
| 9-9 | ペアリング解除を防ぐ設定 | 46 |
| 9-11 | モード切替を防ぐ設定 | 46 |
| 9-12 | Bluetooth を切断する | 46 |
| 9-12 | USB 充電しながら BT モードを使う設定 | 47 |
| 9-13 | Bluetooth 接続時間の設定 | 47 |
| 9-14 | メモリモードの蓄積データを BT モードで転送する | 48 |
| 9-15 | BT モードで転送モードに入らない設定 | 48 |
| 9-16 | BT モード データ転送速度を遅くする設定 (桁落ち、文字抜け対策) | 49 |

| | | |
|---------|------------------------------------|----|
| 9-17 | BT モード(Bluetooth ワイヤレス)の改行設定を変更する | 50 |
| 9-18 | BT モードで日時を転送する | 51 |
| 第10章 | メンテナンス | 52 |
| 第11章 | 困ったときは | 53 |
| 第12章 | 仕様 | 54 |
| 第13章 | 出荷時の初期設定一覧、コード ID 一覧 | 55 |
| 第14章 | 設定の方法 | 67 |
| 14-1 | 設定について | 67 |
| 14-2 | 設定フローチャート | 67 |
| 14-3 | 設定の初期化 | 68 |
| 14-4 | 基本的な設定 | 68 |
| 14-5 | 数値・桁数の設定 | 68 |
| 14-6 | アスキーの設定(文字・キーの設定) | 69 |
| 14-7 | 読み取りデータの前後に文字やキーを転送する設定 | 70 |
| 14-8 | バーコードタイプ/コード ID/桁数を転送する設定 | 71 |
| 14-9 | 1 桁目から連続する 0 (ゼロ) を削除する設定 | 71 |
| 14-10 | 読み取りデータの前方と後方を削除する設定 | 72 |
| 14-11 | 読み取りデータに文字やキーを挿入する設定 | 73 |
| 第15章 | 設定メニュー | 74 |
| ・ 15-1 | 初期化、設定中止、バージョン情報 | 74 |
| ・ 15-2 | スキャナの操作 | 75 |
| ・ 15-3 | 動作設定 キーボード設定 | 76 |
| ・ 15-4 | 動作設定 モード固定 | 77 |
| ・ 15-5 | 動作設定 ボタンの設定 | 78 |
| ・ 15-6 | 動作設定 スキャナ本体の日時設定 | 79 |
| ・ 15-7 | 動作設定 日時の転送時設定 | 80 |
| ・ 15-8 | 動作設定 メモリモードの動作 | 81 |
| | メモリモードの動作(続き) | 82 |
| ・ 15-9 | 動作設定 BTモードの動作 | 83 |
| ・ 15-10 | 動作設定 スキャニング | 84 |
| | スキャニング(続き) | 85 |
| ・ 15-11 | 動作設定 ブザー オン/オフ | 86 |
| ・ 15-12 | 動作設定 ブザー 音量 | 87 |
| ・ 15-13 | 動作設定 バイブレータ | 88 |
| ・ 15-14 | 動作設定 プリアンブル/プリフィックス/サフィックス/ポストアンブル | 89 |
| ・ 15-15 | 動作設定 コードタイプ/コードID/桁数 | 90 |
| ・ 15-16 | 動作設定 アルファベット大文字小文字の変換/制御文字 | 91 |

| | | | | |
|----------------|------|------------------------------|-------|-----|
| ・ 15-17 | 読取設定 | UPC-A | | 92 |
| ・ 15-18 | 読取設定 | UPC-E | | 93 |
| ・ 15-19 | 読取設定 | EAN-13 / JAN-13 | | 94 |
| ・ 15-20 | 読取設定 | EAN-8 / JAN-8 | | 95 |
| ・ 15-21 | 読取設定 | Code 39 | | 96 |
| ・ 15-22 | 読取設定 | Interleaved 2 of 5 | | 97 |
| ・ 15-23 | 読取設定 | Industrial 2of 5 | | 98 |
| ・ 15-34 | 読取設定 | Matrix 2 of 5 | | 99 |
| ・ 15-25 | 読取設定 | Codabar / NW7 | | 100 |
| ・ 15-26 | 読取設定 | Code 128 | | 101 |
| ・ 15-27 | 読取設定 | Code 93 | | 102 |
| ・ 15-28 | 読取設定 | Code 11 | | 103 |
| ・ 15-29 | 読取設定 | MSI | | 104 |
| ・ 15-30 | 読取設定 | Plessey | | 105 |
| ・ 15-31 | 読取設定 | Telepen | | 106 |
| ・ 15-32 | 読取設定 | GS1 Databar Omnidirectional | | 107 |
| ・ 15-33 | 読取設定 | GS1 Databar Limited | | 108 |
| ・ 15-34 | 読取設定 | GS1 Databar Stacked | | 109 |
| ・ 15-35 | 読取設定 | GS1 Databar Expanded | | 110 |
| ・ 15-36 | 読取設定 | GS1 Databar Expanded Stacked | | 111 |
| 第 16 章 保証と修理 | | | | 112 |
| 付録 A サンプルバーコード | | | | 113 |
| 付録 B 英数メニュー | | | | 114 |

改訂履歴

| | | |
|--------------|-------|--|
| Ver.A | 初版発行 | |
| Ver.B~Ver.Q6 | 修正、追加 | 誤字修正、追記等 |
| Ver.R | 修正 | 目次を修正 |
| | 修正 | 従来の説明書から章番号を変更。下記第4章 データ転送形式を追加・挿入した為 |
| | 追加 | 第4章 データ転送形式を追加 |
| | 追加 | 第7章 ケーブルモード 設定と使い方、第8章 メモリモード 設定と使い方、第9章 BTモード(Bluetooth ワイヤレスモード) 設定と使い方、それぞれに加筆修正 |
| | 修正、追加 | 15-26 読取設定 Code 128 修正および追加 |
| | 修正、追加 | 14-32~14-36 読取設定 GS1 Databar (GS1 データバー) 各種 修正、追記 ファームウェア 0001-0044 以上は GS1 データバー各種の最終桁の設定を廃止しました。 GS1 データバーは出荷時の状態にて最終桁を転送するように変更した為。 |
| | 修正 | 各ページの誤字修正等 |
| Ver.R2 | 修正 | 9-18 BT モードで日時を転送する 日時の位置 後 の設定メニューを修正 |
| Ver.R3 | 修正 | 7-6 ケーブルモードで日時を転送する、8-9 メモリモードの日時を転送する、 9-18 BT モードで日時を転送する 各ページのデリミタの転送について初期値の誤りを修正。及び設定例の読み取り順を修正。 誤：デリミタの転送 初期値 許可 正：デリミタの転送 初期値 禁止 |
| | 修正 | 8-16 マスストレージのデータ形式 説明を追記 |
| Ver.R4 | 修正 | ファームウェア 0001-0047 以上は 15-16 制御文字の転送が許可なら 15-26 読取設定 Code 128 の転送形式が標準のとき、GS1-128 の区切り FNC1 を転送する ように修正。 USB 及び Bluetooth の HID キーボードインターフェースは FNC1 を F12 キーとして転送する。 USB シリアル及び Bluetooth SPP は FNC1 を ASCII の GS(0x1D)として転送する。 |

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。




おことわり

- 本製品を正しく使用するために、必ず本書をお読みにになり内容をご理解いただいた上でご使用ください。本製品の取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障・不具合およびパソコンの故障・不具合やデータの消失・破損は弊社の保証対象には含まれず、その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 本製品はすべてのUSBまたはBluetoothを用いた機器との接続動作を確認したものではありません。また、すべてのUSBを用いた機器との動作保証をするものではありません。ご使用にあたっては、USBまたはBluetoothを用いた機器の動作条件と接続の可否情報を各メーカーまたは取り扱い元にご確認ください。
- 読み取りはバーコードの品質に影響を受ける為、すべての読み取りを保証するものではありません。



取り扱い上の注意

ここには、本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するための注意事項を記載しております。

警告表示の意味







| | |
|--|---|
|  危険 | 絶対に行ってはいけない事項。この表示の注意を守らないと、使用者が死亡または重症を負う危険が差し迫って生じる恐れがあります。 |
|  警告 | 厳重に守って頂きたい事項。その指示に従わないと、生命の危険または重症を負う恐れがあります。 |
|  注意 | 安全上、特に注意していただきたい事項。その指示に従わないと障害を負う恐れ、または物的損害を引き起こす可能性があります。 |

絵記号の意味


| | |
|--|--|
|  警告 | この記号は禁止行為を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。 |
|  注意 | この記号は必ず行っていただきたい指示内容を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。 |





危険


-  本製品を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れないで下さい。また、本製品を加熱したりしないで下さい。
破裂、発火や火傷の原因となります。
-  本製品から漏れ出た液が目に入ったときは、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けて下さい。
目に障害を与える恐れがあります。
-  本製品の充電には、必ず本製品付属の接続ケーブルまたは本製品専用の充電アダプタを使用してください。
-  プラグ、ジャックの端子をショートさせないで下さい。
発熱、破裂、発火や火傷の原因となります。特にコインやヘヤピンなどの金属製品と一緒に携帯・保管しないで下さい。
-  直射日光の当たる場所、炎天下の車中、暖房器具の近くで使用または放置をしないで下さい。
破裂、発火や火傷の原因となります。
-  本製品の分解・改造・修理を自分でしないで下さい。
発熱、破裂、発火、火傷や感電の原因となります。また、許可なく本製品のシールやカバーをはずした場合、修理をお断りする場合があります。


**警告**


-  本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。


-  液体や異物などが内部に入ったら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをオフにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使い続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社または販売店にお問合せ下さい。


-  煙が出たり変な臭いや音がしたら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをオフにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使い続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社または販売店にお問合せ下さい。


-  本製品を落としたり、強い衝撃を与えないで下さい。与えてしまったら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをオフにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使い続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社または販売店にお問合せ下さい。


-  **接続ケーブルは、必ず付属品（または指定品）をご使用下さい。**
付属品（または指定品）以外を使用すると、電圧や端子の極性が異なる場合があります。この場合、発煙や発火の恐れがあります。本製品の故障の原因にもなります。


-  **読み取り窓から出る赤い光を直接目でのぞき込まないで下さい。**
目がくらんだり、目に障害を与える恐れがあります。

-  **読み取り窓から出る赤い光を人の目に向けないで下さい。**
目がくらんだり、目に障害を与える恐れがあります。


-  風呂場など、水分や湿気の多い場所では、本製品を使用しないで下さい。
火災になったり、感電する恐れがあります。


-  濡れた手で本製品に触れないで下さい。
パソコンおよび周辺機器の電源プラグがコンセントに接続されているときは、感電の原因になります。また、コンセントに接続されていなくとも故障の原因になります。


-  小さなお子様が電気製品を使用する場合は、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導の下で行うようにして下さい。


-  プラグ、ジャックの周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でふき取ってください。
そのまま使い続けると、火災、感電の原因となります。


**注意**


-  パソコンおよび周辺機器の取扱いは、各説明書をよく読んで、各メーカーが決める手順に従ってください。

-  静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにして下さい。
人体からの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失・破損される恐れがあります。

-  本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスクなど）のデータをすべて CD-ROM など外部の記憶装置にバックアップしてください。
誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。

-  次の場所には設置しないで下さい。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。
 - ・ 強い磁界が発生するところ、静電気が発生するところ
 - ・ 温度、湿度が製品の説明書が定めた使用環境を超えるところ、または結露するところ→故障の原因となります
 - ・ 振動が発生するところ→けが、故障、破損の原因となります
 - ・ 平らでないところ→転倒したり、落下したりしてけがや故障の原因となります
 - ・ 直射日光が当たるところ、火気の周辺、または熱気のあるところ→故障や変形の原因となります
 - ・ 漏電または漏水のあるところ→故障や感電の原因となります

-  シンナーやベンジン等の有機溶剤で本製品を拭かないで下さい。製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

-  本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って下さい。
条例については、各地地方自治体にお問合せ下さい。

**法令準拠と注意**

この装置は FCC 規制パート 15 に適合しています。この装置は次の 2 つの条件に従って動作するものとします。

- (1)本製品によって、有害な干渉が発生することはない。
 (2)本製品は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければならない。

本製品は FCC 規制のパート 15 に従い、クラス B デジタル機器の制限に適合するようにテスト済みです。これらの制限は、商業環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。その場合には、ユーザー側の負担で次のような干渉防止措置を講じる必要があります。

- ・ 受信アンテナの位置や方向を変える
- ・ 装置と受信機の距離をとる
- ・ 装置と受信機を別の回路のコンセントに接続する
- ・ 経験のあるテレビ・ラジオの技術者に相談する

**電波に関する注意**

- **本製品は、電波法で定められた 2.4GHz 帯高度化小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合認証を受けた製品を内蔵しています。**
従って、日本国内のみの使用目的において無線局の免許は必要ありません
- **本製品は、技術基準適合証明を受けた製品を内蔵していますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。**
 - ・ 本製品を分解・改造すること
 - ・ 本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- **本製品は、次の場所で使用しないで下さい。**
 - ・ 電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害の発生するところ、2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近く（環境により電波が届かない場合があります）
 - ・ 人命に関わる医療用機器の近く
- **本製品は、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。**
 - ・ 産業・科学・医療用機器
 - ・ 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 1. 構内無線局（免許を要する無線局）
 2. 特定省電力無線局（免許を要しない無線局）
 - ・ 無線 LAN 製品
- **本製品を使用する場合、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。**
 - ・ 本製品を使用する前に、必ず本製品の干渉距離内に移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認の上使用を開始してください。
 - ・ 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または電波の発射を停止して電波干渉を避けてください。

| | |
|----------|------------------------------------|
| 使用周波数帯域 | 2.4GHz |
| 変調方式 | FF-SS 方式 |
| 想定干渉距離 | 100m 以下 |
| 周波数変更の可否 | 全帯域を使用し、かつ構内無線局および特定省電力無線局の帯域を回避不可 |

**バッテリーの注意**

- **本製品は、リチウムイオンポリマーバッテリーを使用しております。体積エネルギー密度 400Wh/L 以下です。**
従って、電機用品安全法が定める PSE マークは必要ありません。
- **はじめに、バッテリーを満充電して下さい。**
 - ・ 満充電になるまで約 4 時間です。
 - ・ 満充電になると、充電通知 LED が赤の点灯から点滅になります。
- **パソコンまたは USB AC 充電器(5VDC, 1A 以上)で充電して下さい。**
 - ・ タブレットやその他の方法で充電した場合、適切に充電できず本製品のバッテリーを痛める恐れがあります。
- **バッテリーは定期的に充電して下さい。寿命がくるのを防ぎます。**
 - ・ 3 ヶ月以上、使用・充電せずに放置すると、バッテリーの特性により劣化、液漏れなど不良が生じます。
- **バッテリー使用回数の目安は次の通りです。**
 - ・ Bluetooth モード 8,000 回 (5 秒に 1 回の読み取り、バイブレータ・オン、ブザー・オン)
 - ・ Bluetooth モード 15,000 回 (5 秒に 1 回の読み取り、バイブレータ・オフ、ブザー・オン)
 - ・ メモリモード 18,000 回 (5 秒に 1 回の読み取り、バイブレータ・オフ、ブザー・オン)
- **販売元のサポートなしで、バッテリーの交換を行わないで下さい。**
お客様ご自身でバッテリー交換のため分解等を行うと、破損・故障の原因になります。
- **充電中、赤いランプが高速で点滅したら、バッテリーの寿命です。**
 - ・ すみやかに充電を中止して下さい。
 - ・ 弊社または販売店にバッテリー交換修理をご依頼下さい。バッテリーの交換は有償となります。
- **バッテリーが液漏れしていたら、直接手で触れたり、目に入らないようにして下さい。**
万一、バッテリー液に直接触れた場合はすみやかにきれいな水で洗い流し、医師に相談して下さい。

第1章 はじめに

1-1 本書について

本書では、ワイヤレスバーコードリーダーCM-520W1 の操作方法について一般的な情報を説明します。

1-2 製品の特徴

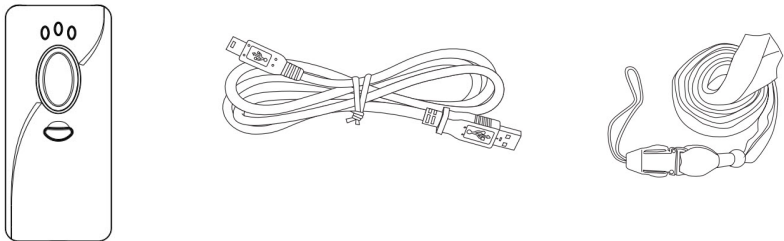

CM-520W1（以下、本製品またはスキャナ）はバーコードの読み取りおよび入力装置です。

- 小型サイズ、高性能な読み取り性能
- 3つのモードに対応
 - ①ケーブルモード…USB ケーブルバーコードスキャナになります
 - ②メモリモード…蓄積式バーコードスキャナになります
 - ③Bluetooth ワイヤレスモード…無線式バーコードスキャナになります
- 大きなブザー音（オンオフ、大小の調節可能）
- バイプレータ搭載（オンオフ可能）
- 大容量メモリ 4MB、JAN13(13桁)を 131,008 件蓄積可能
- マスストレージモードに対応、USB メモリのように蓄積データを取り出せる
- Bluetooth 無線技術を搭載、通信距離は見通しで 100m

略称について 以下、本書ではモードを略称で表記している場合があります。

| モード | 略称 |
|--------------------|-----------|
| ケーブルモード | ケーブル |
| メモリモード | メモリ |
| Bluetooth ワイヤレスモード | BT、BT モード |

1-3 付属品 付属品がそろっていることを確認してください

| CM-520W1(スキャナのみ)の付属品 | CM-520W1-S(セット品)の付属品 |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> CM-520W1 <input type="checkbox"/> USB ケーブル <input type="checkbox"/> ストラップ  | <input type="checkbox"/> 左記の付属品 <input type="checkbox"/> USB ドングル A-302  |
| <input type="checkbox"/> かんたんガイド(簡易説明書) | |

ご案内 本書の印刷物は付属しておりません。ホームページからのダウンロードでの提供となります。

別売オプション

シリコンカバー H-500



ご案内 USB AC 充電器（別売品）の取り扱いについてはホームページをご確認ください。

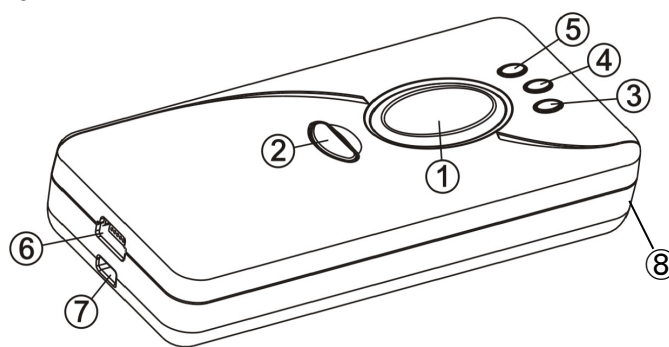
1-4 別途ご用意下さい

- 利用可能な USB ポートがあるパソコン
- 利用可能な Bluetooth に対応した機器（Bluetooth HID プロファイル対応であること）

ご注意 本製品はすべての機器との動作を保証するものではありません。

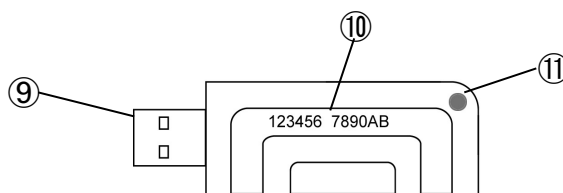
1-5 各部の名称

スキャナ本体 CM-520W1



| | | |
|---|---------------------------|--|
| ① | 大 ボタン (スキャンボタン) | バーコードを読み取る。 長押しでモード切替。 転送モードに入った後、押すと蓄積データを転送する。 |
| ② | 小 ボタン | ケーブルモード/BTモード時、長押しで蓄積データの転送モードに入る。 BTモード時、長押ししながら 大 ボタンを押すとペアリングモードに入る。 |
| ③ | パワー通知 LED (赤) | バッテリーの状態を通知します。 充電時 (USB ケーブル接続中) 点灯：充電中 点滅 (2 秒に 1 回)：満充電。※充電を中止して下さい。 高速点滅：バッテリー寿命、または異常 ※すみやかに充電を中止して下さい 使用時 (メモリモード/BTモード) 消灯：バッテリー残量が十分 ※残量が十分なとき頻繁に充電しないで下さい。 2 回の点滅：バッテリー残量がおおよそ 60% 1 回の低速点滅：バッテリー残量がおおよそ 38% 点灯しすぐ消灯：バッテリー残量なし (0%。1 回の長いブザーが鳴ります) |
| ④ | 読取通知 LED (緑/オレンジ/赤) | 緑：読み取り成功。※メモリモードで読取時、メモリ容量が少ないと色が変わります。 ※通常は緑→オレンジ (容量が残り少ない、90%蓄積) →赤 (容量がいっぱい、100%蓄積) オレンジ：転送モードに入っている。 赤：蓄積データの消去。または読み取りエラー。 |
| ⑤ | モード通知 LED (緑/オレンジ/青) | 緑：ケーブルモード。 オレンジ：メモリモード。 青：BTモード。 赤→オレンジ→緑の 3 色に変化：設定中 |
| ⑥ | USB ポート | USB ケーブルを接続する。充電、データ転送する。 |
| ⑦ | ストラップ穴 | ストラップを取り付ける。 |
| ⑧ | 読取窓 | エイマー (読み取り光) を照射する。 |

専用 USB ドングル A-302 (注) ドングル付きセット品の付属品



| | | |
|---|----------|------------------------|
| ⑨ | USB コネクタ | パソコンの USB ポートに接続する |
| ⑩ | MAC アドレス | 12 桁の英数字 (半透明のケース内の文字) |
| ⑪ | LED (青) | 点灯→スキャナとワイヤレス接続中 |

第2章 セットアップ

2-1 製品の取り出し

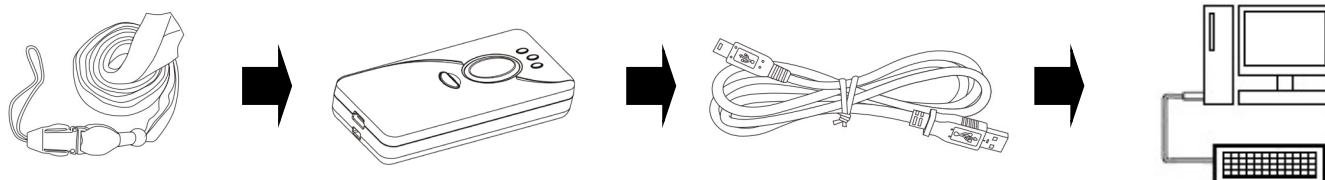
箱から製品を取り出したら、次のことを確認して下さい。

- ・ 製品に破損が無いことを確認する。破損があった場合はすぐに弊社へお知らせ下さい。
- ・ 不足しているものがないか確認する。
- ・ 保管や返送時のために、箱は保管する。

2-2 スキャナのセットアップ

スキャナにストラップを取り付けてください。落下防止のため、ストラップをご使用下さい。

USB コネクタをパソコンの USB ポートに接続して下さい。パソコンが自動でドライバをインストールしセットアップが完了します。



2-3 充電して下さい

スキャナを USB ケーブルでパソコンに接続し、充電して下さい。ご購入直後は満充電にしてから使用して下さい。

- 充電中は、パワーLED（赤）が点灯します。
- 満充電になると、パワーLED（赤）が点滅（2秒に1回）になります。満充電になるまで約4時間です。満充電になったら USB ケーブルを外し、充電を中止して下さい。

ご注意 パソコンまたは USB AC 充電器(5VDC, 1A 以上)で充電して下さい。

タブレットやその他の方法で充電した場合、適切に充電できず本製品のバッテリーを痛める恐れがあります。

ご注意 バッテリー残量が十分にあるとき、頻繁に充電を繰り返さないで下さい。バッテリーがはやく痛みます。

ご注意 充電したとき、パワーLED（赤）が高速で連続点滅した場合、バッテリー寿命、または異常が発生しています。すみやかに充電を中止し、弊社または販売店にご相談下さい。

2-4 最初に設定して下さい（キーボード配列の設定）

はじめて使うときは、スキャナで下記の設定メニュー1~4を順に読み取り設定して下さい。

スキャナの **大** ボタンを押し、エイマー（読み取り光）をバーコードに照射すると読み取ります。

1. 設定開始



2. ケーブルモード/メモリモード用の設定



3. BT モード用の設定 Bluetooth 接続する機器を選択して下さい（使用しないなら省略）

| | |
|----------------------------|----------------------------------|
| ドングル付きセット品 / Windows タブレット | iOS (iPad,iPhone) / Android 4 以上 |
| BT キーボード配列 日本キーボード | BT キーボード配列 英語キーボード |
| | |

4. 設定終了



メモ この設定は、: や+など記号を正しく転送するために設定します。

2-5 よく使う設定 (Enter・Tab・なし)

- ・ 出荷時のスキャナはデータの終端に Enter (エンター、改行) を転送します
- ・ Enter を Tab (タブ)、または無しに変更する場合は、スキャナで下記の 1~5 の設定メニューを上から順に読み取り、設定を変更して下さい。

1. 設定開始



2. ケーブルモードか BT モードを選択 (モード別、ポストアンプルのデータ)

| ケーブルモード | BT モード |
|---------|--------|
| | |

3. Enter、Tab、なしを選択

| Enter(改行) ※出荷時設定 | Tab(タブ) | 無し |
|-------------------------|--------------------|--------------------|
| 0 D | 0 9 | 0 0 |

4. セット



5. 設定終了

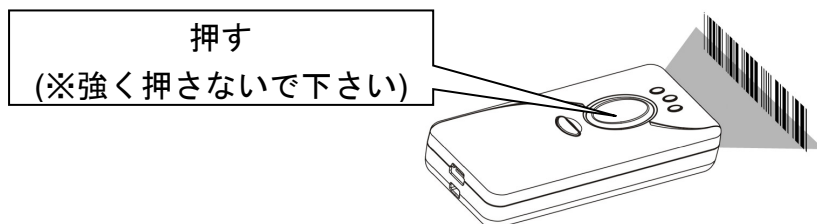


メモ 詳しくは「第 14 章 設定の方法」「第 15 章 設定メニュー」をお読み下さい。

第3章 バーコードの読み取り

3-1 バーコードの読み取り方

- 1) **大**ボタンを押して下さい。
- 2) エイマー（読み取り光）をバーコードに照射して下さい。 スキャナがバーコードを読み取ります。



ご注意 ボタンは無理に力を入れて強く押さないで下さい。

メモ エイマーが完全にバーコードを横切るように照射して下さい。



3-2 ブザー

スキャナはバーコードを読み取ると、ブザーが鳴ります。出荷時は、最大のブザー音量です。ブザーの音量は小さく設定できます。ブザーは、スキャナのモード・動作ごとに設定します。

- ブザーのオン/オフは第15章 15-11 の設定メニューを読み取って設定して下さい。
- ブザーの音量は第15章 15-12 の設定メニューを読み取って設定して下さい。

例 BTモードのすべての動作の音量を小にする

設定開始 → (ブザーの音量/BT) 読み取り 小 → 警告 小 → 機能操作 小 → 設定終了

3-3 バイブレータ

スキャナはバイブレータの振動で読み取りを確認することができます。バイブレータはオフに設定して出荷しています。バイブレータは、スキャナのモード・動作ごとに設定します。

- バイブレータの設定は第15章 15-13 の設定メニューを読み取って設定して下さい。

例 メモリモードのすべての動作のバイブレータをオンにする

設定開始 → (バイブレータ/メモリ) 読み取り 許可 → 警告 許可 → 機能操作 許可 → 設定終了

例 メモリモードのすべての動作のバイブレータをオフにする

設定開始 → (バイブレータ/メモリ) 読み取り 禁止 → 警告 禁止 → 機能操作 禁止 → 設定終了

メモ バイブレータをオフにすると、バッテリーの持ちがよくなります。

メモ バイブレータはオフに設定して出荷しています。初期化すると許可(オン)になります。

3-4 ブザーと LED の意味

各モードのブザーと LED

スキャナの動作は、ブザーと LED で通知します。ケーブル、メモリ、BT それぞれのブザーと LED については、次の通りです。

ケーブルモード

| 機能、操作 | ブザー | LED |
|--------------------------------|---------------------------------|-------------------------|
| ケーブルモードになった時 ・ PC とケーブル接続する | 上昇下降メロディー、1 回の長音 | 赤・点灯→点滅(満充電) パワーLED |
| ケーブルモードで使用中 | - | 緑・点滅 モードLED |
| バーコード読み取り | 1 回の短音 | 緑・点灯 読取 LED |
| 蓄積データ転送モードに入る | | |
| 小 ボタン長押し ↓ | 3 回の短音 (ピピピ) ↓ | 緑・高速点滅 モードLED ↓ |
| 長押し続ける ↓ | 1 回の長音 (ピー) ↓ | 緑・点灯 モードLED ↓ |
| ボタンをはなす ↓ | 1 回の長音、2 回の短音 (ピーピピ) ↓ | オレンジ・点灯(間欠点滅) 読取 LED |
| 蓄積データ転送する 大 ボタンを押す | 1 回の長い高音、転送後、1 回の長い低音 (ピー・・・ピー) | 消灯 |

メモリモード

| 機能、操作 | ブザー | LED |
|--|-----------------------------------|---|
| メモリモードになった時 ・ PC から取り外す ・ BT からメモリに切り替える | 上昇メロディー | オレンジ・点滅 (使用中、常に点滅します。しばらくするとスリープし、消灯します) モードLED |
| メモリモードで使用中 | - | |
| バーコード読み取り (成功) | 1 回の短音+短い上昇音(ピピロロロ) | 緑・点灯 読取 LED |
| バーコード読み取り (エラー) | 5 回の短音 (ピピピピピ) | - |
| 蓄積データ 1 件消去 小 ボタン押しながら読み取り | 1 回の長音、2 回の短音 (ピーピピ) | 緑・点灯 読取 LED |
| 蓄積データすべて消去 小 ボタン長押し ↓ | 3 回の短音 (ピピピ) ↓ | オレンジ・高速点滅 モードLED ↓ |
| 小ボタン長押ししながら 大 ボタンを押す | 3 回の長音 (ピーピーピー) | 赤・点灯→すぐ消灯 読取 LED |
| メモリ容量が残り少ない (容量の 90%まで蓄積した) | 1 回の長音と 2 回の短音 (ピーピピ) | オレンジ・点灯 ※通常は緑→オレンジになる 読取 LED |
| メモリ容量がいっぱいになった (容量が無く読取できない) | 5 回の短音 (ピピピピピ) | 赤・点灯 ※オレンジ→赤になる 読取 LED |
| BT モードに切替 大 ボタン長押し ↓ | 3 回の短音 (ピピピ) ↓ | オレンジ・高速点滅 モードLED |
| 押し続ける | 1 回の長音 (ピー) (次にボタンを離すと BT になる) | オレンジ・点灯 モードLED |

3-4 ブザーと LED の意味 (続き)

BT モード

| 機能、操作 | ブザー | LED | |
|---|--|-----------------|---------|
| BT モードに切り替えた時 ・ PC から取り外す ・ メモリから BT に切り替える | 3 回の短音+1 回の長音 (ピピピ ピー) | 青・点滅 | モード LED |
| バーコード読み取り (成功) | 1 回の短音(ピ) | 緑・点灯 | 読取 LED |
| バーコード読み取り (エラー) | 4 回の短音 (ピピピピ) | 赤・点灯 | 読取 LED |
| 蓄積データ転送モードに入る | | | |
| 小 ボタン長押し ↓ | 3 回の短音 (ピピピ) ↓ | 青・高速点滅 ↓ | モード LED |
| 長押し続ける ↓ | 1 回の長音 (ピー) ↓ | 青・点灯 ↓ | モード LED |
| ボタンをはなす ↓ | 1 回の長音、2 回の短音 (ピーピピ) ↓ | オレンジ・点灯(間欠的に点滅) | 読取 LED |
| 蓄積データ転送する 大 ボタンを押す | 1 回の長い高音、転送後、1 回の長い低音 (ピー・・・ピー) | | |
| ペアリングモードに入る | | | |
| 小ボタン長押し ↓ | 3 回の短音 (ピピピ) ↓ | 青・高速点滅 ↓ | モード LED |
| 小ボタン長押ししながら 大 ボタンを押す | 3 回の短音が 2 回 (ピピピ、ピピピ) | 青・低速点滅 | モード LED |
| (デバイスのペアリング画面に出た[SmartBt]をタップ) | 上昇メロディー | 青・低速点滅 | モード LED |
| ペアリング完了 | 下降メロディーと 2 回の短音 (ピピ) ※バージョン 0001-0015 以下は 4 回の短音 (ピピピピ) | 青・点灯 | モード LED |
| Bluetooth 接続成功 | 2 回の短音(ピピ) | 青・点灯 | モード LED |
| Bluetooth 接続中(使用中) | - | 青・点灯(間欠的に点滅) | モード LED |
| Bluetooth を切断する | | | |
| 小 ボタン長押し ↓ | 3 回の短音 (ピピピ) ↓ | 青・高速点滅 ↓ | モード LED |
| ボタンを離す | - | - | |
| メモリモードに切替 | | | |
| 大 ボタン長押し ↓ | 3 回の短音 (ピピピ) ↓ | 青・高速点滅 ↓ | モード LED |
| 押し続ける | 1 回の長音 (ピー) (次にボタンを離すとメモリになる) | 青・点灯 | 読取 LED |

3-4 ブザーと LED の意味 (続き)

すべてのモード

| 機能、操作 | ブザー | LED | |
|---------------------------|-----------------|-----------------|--------|
| 設定開始読み取り | 上昇メロディー | | |
| 設定中 | - | 赤→オレンジ→緑の繰り返し点灯 | モードLED |
| 設定メニュー読み取り (成功) | 高低 (ピロ) | - | - |
| 設定メニュー読み取り (エラー) | 5回の低い短音 (ピピピピピ) | - | - |
| 設定メニュー読み取り 次に英数メニューが必要 | 高低高低 (ピロピロ) | - | - |
| 英数メニュー読み取り | 2回の短音 (ピピ) | - | - |
| セット読み取り | 短い上昇メロディー | - | - |
| 設定終了読み取り | 下降メロディー | - | - |

バッテリーの通知 充電時 (USB ケーブルでパソコンまたは AC アダプタと接続中)

| 充電の状態 | ブザー | LED | |
|--------------|-----|-------------|--------|
| 充電中 | - | 赤・点灯 | パワーLED |
| 充電完了(満充電) | - | 赤・点滅(2秒に1回) | パワーLED |
| バッテリー寿命または異常 | - | 赤・高速な点滅 | パワーLED |

バッテリーの通知 使用時 (USB ケーブルを外し、メモリモードまたは BT モードで使用)

| バッテリー残量 | ブザー | LED | |
|--------------|---------------|-----------|--------|
| 満充電、残量が十分にある | - | 消灯 | パワーLED |
| 60% | - | 赤・2回の点滅 | パワーLED |
| 38% | - | 赤・1回の低速点滅 | パワーLED |
| 0% | 長い1回の高音 (ピーー) | 赤・点灯→消灯 | パワーLED |

メモ バッテリー残量は目安です。

メモ USB ケーブルを外し、放置するとスキャナは1分後にスリープし、全ての通知 LED ランプが消灯します。(出荷時設定)

第4章 データ転送形式

4-1 データ転送形式について

スキャナはバーコードを読み取ると、出荷時は読取データと Enter キー（改行キー）をパソコンに転送します（ケーブルモードまたは BT モードのとき）。本書ではスキャナが転送するデータの順序や構成をデータ転送形式と呼びます。

4-1-1 出荷時の読取データ転送形式

| | |
|-------|----------------|
| 読取データ | Enter キー(改行キー) |
|-------|----------------|

例 スキャナがバーコード「12345」を読み取ると、パソコンの画面に「12345」が入力し、最後に自動的に改行します（Enter キーを押したように動作します）。

4-2 データ転送形式の説明図

スキャナは設定すると読取データの前や後に読取日時、文字、キー(Enter など)を追加することができます。スキャナに設定可能なすべてのデータ転送形式は 4-2-1 の図の通りです。出荷時は二重線で示す「読取データ」と「ポストアンブル(Enter)」のみを転送します。

4-2-1 読取データ転送形式

| 設定 | プリアンブル | プレフィックス | 日付 (読取日付) | 日付と時刻の間 | 時刻 (読取時刻) | デリミタ | コード タイプ | コード ID (前) | 桁数 | GS1 AIM ID | 読取データ | (コード ID (後)) | サフィックス | ポストアンブル |
|--------|--------|---------|--------------|--------------|--------------|--------------|----------------|---------------|--------------|---------------|--------------|-----------------|--------|-----------------|
| 転送の初期値 | 禁止 | 禁止 | 禁止 | 注 | 禁止 | 許可 注 | 禁止 | 禁止 | 禁止 | 禁止 | | | 禁止 | 許可 |
| 文字の初期値 | なし | なし | YYYY-MM-DD | SP (スペース) | hh:mm:ss | SP (スペース) | (xx..) (文字) | xx (文字) | nnnn (数字) |]xn (文字) | | | なし | CRLF (Enter) |
| 桁数 | 1-8 | 1-8 | 可変 設定による | 1 | 可変 設定による | 1 | 可変 | 1-2 | 4 | 3 | 可変 データによる | 1-2 | 1-8 | 1-8 |

例 日付と時刻を転送する設定を行ったときの例です。空白は見やすくするためにあります。

```
2018/09/24 SP 17:33:50 SP 1234567890 Enter
2018/09/25 SP 10:20:15 SP ABCDE12345 Enter
```

↑ ↑ ↑ ↑ ↑
日付 日付と時刻の間 時刻 デリミタ 読取データ Enter キー

4-2-2 読取データ転送形式 日時の位置を設定変更したとき

日時の位置を読み取りデータの後に設定変更したときの転送形式です。デリミタの位置は読取データと日付の間になります。

| 設定 | プリアンブル | プレフィックス | コード タイプ | コード ID (前) | 桁数 | GS1 AIM ID | 読取データ | (コード ID (後)) | デリミタ | 日付 (読取日付) | 日付と時刻の間 | 時刻 (読取時刻) | サフィックス | ポストアンブル |
|----|--------|---------|------------|---------------|----|------------------|-------|-----------------|------|--------------|---------|--------------|--------|---------|
|----|--------|---------|------------|---------------|----|------------------|-------|-----------------|------|--------------|---------|--------------|--------|---------|

注 「日付と時刻の間(初期値 SP)」は禁止/許可の設定がありません。「日付」と「時刻」の転送を許可に設定すると転送するようになります。

注 「デリミタ(初期値 SP)」は「日付」又は「時刻」の転送を許可に設定すると転送するようになります。

メモ メモリモードのみ、ヘッダとフッタも転送します。→第8章 8-8、8-9を参照

メモ メモリモードの転送方法は出荷時の「標準動作」と「マストレージ」があります。図は標準動作の転送形式です。マストレージは「日付 時刻 読取データ」に固定した形式になります→第8章 8-13を参照

4-3 データ転送形式の設定変更

データ転送形式は設定メニューを読み取って変更することができます。

スキャナはケーブルモード、メモリモード、BT モードの3つのモードがあります（第6章参照）。データ転送形式（日付、時刻、その他）はそれぞれのモードごとに設定します。→第14章、第15章を参照

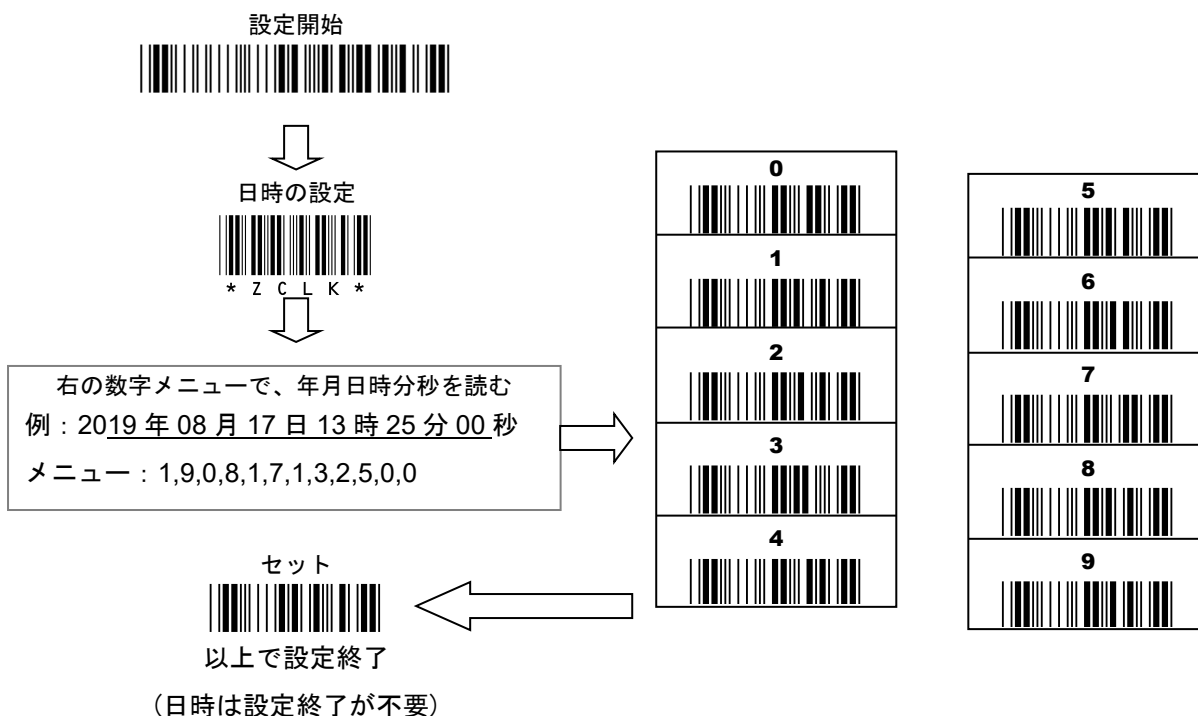
第5章 日時の設定

5-1 日時の設定

スキャナのタイマーの日時を設定します。必要な場合、設定して下さい。

設定は、設定専用のバーコードメニュー（以下、設定メニュー）を読み取って設定します。

設定開始から、順に読み取って下さい。



5-2 日時を転送する設定について

読取データとともに読取日時を転送する場合、スキャナのモードごとに設定して下さい。次の章を参照して下さい。

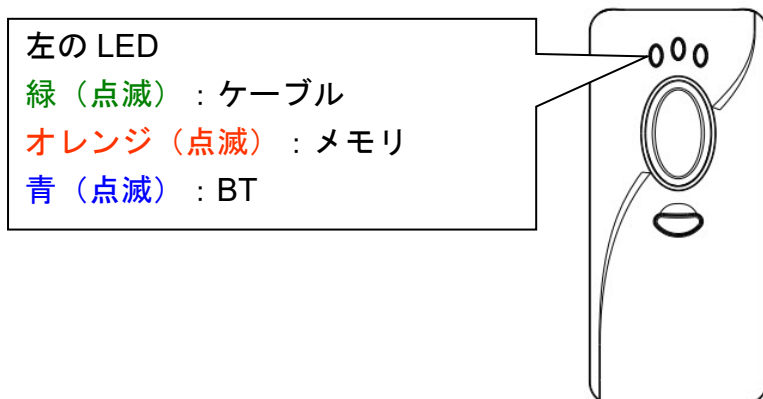
| | |
|--------------------------------------|----------|
| ケーブルモードで読取日時を転送する（読み取りながら日時を転送する） | 第7章 7-7 |
| メモリモードで読取日時を転送する（蓄積したデータ転送時に日時を転送する） | 第8章 8-9 |
| BTモードで読取日時を転送する（読み取りながら日時を転送する） | 第9章 9-18 |

第6章 3つのモード 切替と固定

6-1 スキャナのモードを知る

本製品はケーブルモード、メモリモード、Bluetooth ワイヤレスモードの3つのモードがあります。

左のLEDの色で、スキャナのモードを知ることができます。



メモ メモリモード、BTモードのとき、LEDはしばらくするとスキャナがスリープして消灯します。

何かボタンを1回押すと電源が入り、点滅し始めます。

6-2 ケーブルモードに切り替える

スキャナを USB ケーブルでパソコンに接続して下さい。自動的にケーブルモードに切り替わります。

メモ スキャナから USB ケーブルを取り外すと、パソコンに接続する前のモード(メモリか BT)に戻ります。

6-3 メモリモードに切り替える

- 1) スキャナをパソコンから取り外して下さい。オレンジが点滅するなら、メモリモードです。そのままお使い下さい。
- 2) 青が点滅するなら、BT モードです。設定メニューかボタンでメモリモードに切り替えて下さい。

●設定メニューで切り替える方法

次の設定メニューを読み取って下さい。



エラー音(ブザー5回)が鳴った場合、すでにそのモードです。
設定終了を読み取って下さい。
設定終了



●ボタンでメモリに切り替える方法

大ボタンを長押しして下さい。

ブザーが3回鳴ります。まだ長押しして下さい。青のLEDが高速で点滅します。

しばらく待つと長いブザーが1回なります。青のLEDが点灯します。

ボタンから手を離して下さい。メモリモードになります。

6-4 BT モードに切り替える

- 1) スキャナをパソコンから取り外して下さい。青が点滅するなら、BT モードです。そのままお使い下さい。
- 2) オレンジが点滅するなら、メモリモードです。設定メニューかボタンで BT モードに切り替えて下さい。

●設定メニューで切り替える方法

次の設定メニューを読み取って下さい。



エラー音(ブザー5回)が鳴った場合、すでにそのモードです。
設定終了を読み取って下さい。
設定終了



●ボタン操作で BT に切り替える方法

大ボタンを長押しして下さい。

ブザーが3回鳴ります。まだ長押しして下さい。オレンジのLEDが高速で点滅します。

しばらく待つと長いブザーが1回なります。オレンジのLEDが点灯になります。

ボタンから手を離して下さい。BT モードになります。

追記 モード切替の新バーコードメニュー

注 読むとモードが切り替わります。「設定開始」は不要です。ファームウェアバージョン 0001-0024 以上が対応します。上記の従来のメニューも使えます。

メモリモードへ切替



BT モードへ切替

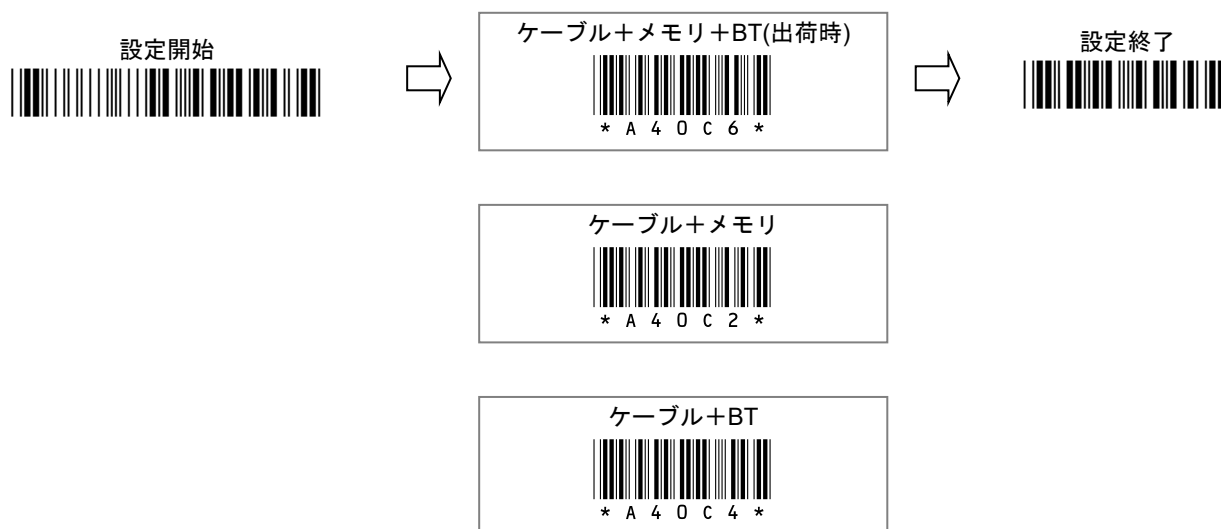


6-5 モードを固定する

スキャナのモードを固定することができます。モードを固定すると、誤ってモードを切り替えてしまうことを防ぎます。

設定開始 → モードを選択 → 設定終了 を読み取って下さい。

通常は下記の3種類から選択して下さい。



下記の設定をすると、ケーブルモードが使えなくなります。USB ケーブルでデータ転送できません。

USB ケーブル接続時は充電のみ行います。

「BT」を設定すると、USB ケーブルで充電しながらワイヤレススキャナとして使用できます。

メモ 満充電（パワーLED、赤が2秒に1回の点滅）になったらUSB ケーブルを外し充電中止して下さい。



第7章 ケーブルモード 設定と使い方

7-1 キーボード配列の設定（キーボード/メモリ共通）

次の設定メニューを読み取って下さい。初回のみ必要です。



7-2 USB 接続中の充電オン/オフ

スキャナはパソコンに接続すると、自動的にスキャナのバッテリーを充電します。

充電はオン/オフすることができます。

●設定メニューで充電オン/オフする

次の設定メニューを読み取って下さい。充電中に読み取ると充電オフになり、充電オフのときに読み取ると充電オンになります。



●ボタン操作で充電オン/オフする

小ボタンを長押しして下さい。

ブザーが3回鳴ります。緑のLEDが高速で点滅します。

小ボタンを長押ししたまま、**大**ボタンを押して下さい。

スキャナが充電中（充電オン）なら充電オフになります。スキャナが充電オフなら充電オンになります。

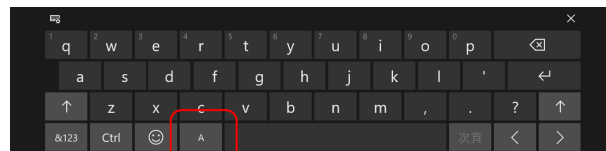
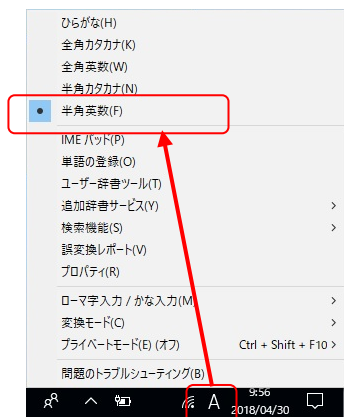
7-3 バーコードを読み取る

- 1) スキャナを USB ケーブルでパソコンに接続して下さい。ケーブルモードになります。緑の LED が点滅します。
- 2) バーコードデータを入力するアプリ（メモアプリやブラウザ）を立ち上げて下さい。
- 3) バーコードを入力したいところをクリック又はタッチしてカーソルを表示させて下さい。

4) (ア) パソコンがデスクトップモードの場合

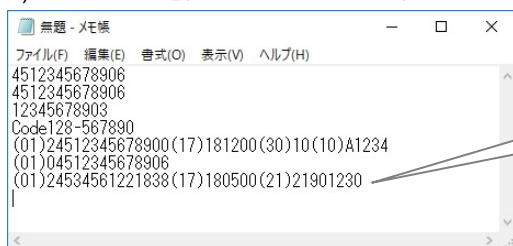
(イ) パソコンがタブレットモードの場合

画面右下の[言語バー]の入力モードを[半角英数]に設定して下さい。画面キーボードの[あ]をタッチ→[A]に切り替えて下さい。[あ]を右クリック→[半角英数]を選択。(あが A になる)



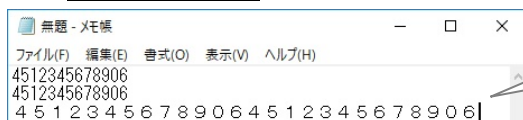
メモ Windows XP は[直接入力]を設定して下さい

- 5) バーコードを読み取って下さい。読み取りデータを転送します。



クリック又はタッチしてカーソルが表示したところにデータが入ります。

7-4 困ったときは データ転送すると改行しない、横に連続で出る、全角になるとき



横に出る、全角になる
→半角英数に設定して下さい

7-3 の通り、言語バーの入力モードを[半角英数]に設定して下さい（Windows XP は[直接入力]に設定して下さい）。改善しない場合、下記の[直接入力]に設定してお試し下さい。

● Windows 10, Windows 8 : 言語バーの「あ」(A)を右クリック→[詳細設定]→[全般] →[直接入力を使用しない]のチェックを外す→[OK]→再度、言語バーの[あ](A)をクリック→[直接入力]を選択する

● Windows 7: 言語バーの[ツール]アイコンをクリック→[編集操作]→[直接入力を使用しない]のチェックを外す→[OK]→再度、言語バーの[あ](A)をクリック→[直接入力]を選択する

メモ 第 15 章 15-3 キーボード設定 Caps Lock の Alt+テンキーを設定すると、パソコンの入力モードを変更しなくても全角にならず半角で入力できます（Windows のみの設定）。ただし入力速度が遅くなります。

メモ またはご使用のアプリケーション、ソフト側で入力方法を制御して下さい。詳しくは弊社ホームページを参照して下さい。
<https://www.a-poc.co.jp/support2/faq-00001-Excel.html>

7-5 ケーブルモードの改行設定を変更する

- ・ 出荷時のスキャナは読取データの終端に Enter（エンター、改行）が付きます。
- ・ 読取データの終端を Tab（タブ）、または無しに変更する場合は、スキャナで下記の設定メニューを上から順に取り、設定を変更して下さい。

メモ BT モード(Bluetooth ワイヤレス)の改行設定は第 9 章 9-17 を参照して下さい。

1. 設定開始



2. お選び下さい（上から順に取り取る）

| 読取データ+Enter(改行) (出荷時設定) | 読取データ+Tab(タブ) | 読取データ+無し(データのみ) |
|------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|
| (ケーブル)ポストアンブル 許可 * B A 0 1 1 * | (ケーブル)ポストアンブル 許可 * B A 0 1 1 * | (ケーブル)ポストアンブル 禁止 * B A 0 1 0 * |
| ↓ | ↓ | |
| (ケーブル)ポストアンブル データ * B A E E 3 * | (ケーブル) ポストアンブル データ * B A E E 3 * | |
| ↓ | ↓ | |
| 0 | 0 | |
| ↓ | ↓ | |
| D | 9 | |
| ↓ | ↓ | |
| セット | セット | |

3. 設定終了



メモ 詳しくは「第 14 章 設定の方法」「第 15 章 設定メニュー」をお読み下さい。

7-6 ケーブルモードで日時を転送する

このページは USB 接続(ケーブルスキャナ)で読むときの設定です。メモリモード→第 8 章 8-9 BT モード→第 9 章 9-18


設定例のように読取データを転送するには、スキャナで★印のメニューを読み取って下さい。

出荷時の転送形式

設定例









}

★設定開始




上下隣のメニューを間違
って読まないようご注意
下さい。設定後タブ区切
りにならない場合、0、9
を0、9などと読んでいま
す。再設定して下さい。

* 印は出荷時設定

| 設定 | 禁止(オフ) | 許可(オン) |
|-------------------------------|---|--|
| 日付の転送 | <p>* 禁止</p>  <p>* B A 1 3 0 *</p> | <p>★許可</p>  <p>* B A 1 3 1 *</p> |
| 時刻の転送 | <p>* 禁止</p>  <p>* B A 1 4 0 *</p> | <p>★許可</p>  <p>* B A 1 4 1 *</p> |
| デリミタの転送 日時とデータの 間のキャラクタ | <p>* 禁止</p>  <p>* B A 1 1 0 *</p> | <p>★許可</p>  <p>* B A 1 1 1 *</p> |
| 日時の位置 データの前か後 | <p>* 前</p>  <p>* B A 1 2 0 *</p> | <p>後</p>  <p>* B A 1 2 1 *</p> |


★設定終了



日時をタブ(Tab)で
区切る場合はこちら


★区切文字タブ設定

日付と時刻の間




* B A A E 2 *


0




9



セット




デリミタ




* B A B E 2 *


0



9



セット



日時をスペースで区切る場合はこちら
(そのまま設定終了)

※タブにした後、スペースに戻すには、
巻末付録 B 英数メニューを使い、右側の
0、9 を 2、0 で設定して下さい。

第8章 メモリモード 設定と使い方

8-1 キーボード配列の設定（キーボード/メモリ共通）

- 1) スキャナをパソコンから取り外して下さい。
- 2) メモリモードに切り替えてください。（メニュー読み取り、又は、**大**ボタン長押しで切替、詳細は第●章）



- 3) 次の設定メニューを読み取って下さい。初回のみ必要です。



8-2 バーコードを読み取る

- 1) メモリモードになっていることを確認して下さい。メモリならオレンジのLEDが点滅しています。
- 2) バーコードを読み取って下さい。ブザーが鳴り、バーコードデータを蓄積します。

8-3 2度読み防止の設定

同じデータを読み取らないように設定できます。

設定開始→**2度読み防止 許可**→**設定終了**を読み取って下さい。（禁止を設定すると同じデータを読みます）



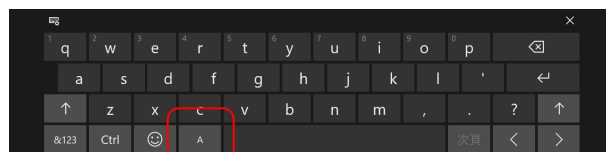
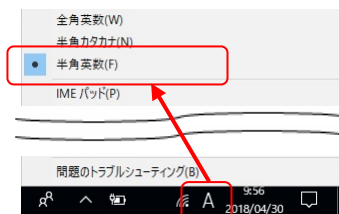
8-4 蓄積データを1件消去する

読み間違ったときは、**小**ボタンを押しながら読み取ると、蓄積データからそのデータを1件消去します。

8-5 蓄積データを転送する

- 1) スキャナを USB ケーブルでパソコンに接続して下さい。
- 2) バーコードデータを入力するアプリ（メモアプリやブラウザ）を立ち上げて下さい。
- 3) バーコードを入力したいところをクリック又はタッチしてカーソルを表示させて下さい。
- 4) (ア) パソコンがデスクトップモードの場合 (イ) パソコンがタブレットモードの場合

画面右下の[言語バー]の入力モードを**[半角英数]**に設定して下さい。[あ]を右クリック→[半角英数]を選択。(あが A になる)



メモ Windows XP は[直接入力]を設定して下さい

- 5) 設定メニュー、又は、ボタン操作で転送モードに入り、データを転送して下さい。

●設定メニューで転送モードに入る

「転送モードに入る」を読み取り**大**ボタンを押して下さい。蓄積データを転送します。



大ボタン押す
(転送する)

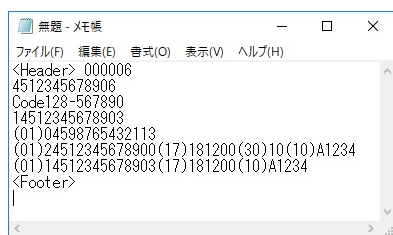
上記メニューを通常バーコードとして読んでしまう場合は下記を読み取り**大**ボタンを押して下さい。



●ボタン操作で転送モードに入る

小ボタンを長押しして下さい。**ブザーが 3 回鳴ります。まだ長押しして下さい。**緑の LED が高速で点滅します。押し続け、長いブザーが 1 回鳴ったら、ボタンから手を離して下さい。オレンジのランプが点灯します。

大ボタンを押して下さい。蓄積データを転送します。



クリック又はタッチしてカーソルが表示したところにデータが入ります。

うまく転送できないときは→第 7 章 7-4 困ったときは、第 8 章 8-12 蓄積データ転送の桁落ち対策を参照して下さい。

8-6 蓄積データを 1 件ずつ転送する設定

スキャナが転送モードに入ったとき、**大**ボタンを押すたびに 1 件ずつデータを転送することが出来ます。

設定開始→**1 件ずつ転送**→**設定終了**を読み取って下さい。(すべて転送を設定すると、出荷時の設定に戻ります)



8-7 蓄積データの転送データ形式

蓄積データの転送データ形式は次の通りです。

| 行 | 転送する文字 | 例 | 説明 |
|------------|------------|--------------------|---------------------------|
| 先頭行 (1 行目) | ヘッダ、改行 | <Header> . . . (注) | データの開始行を示す文字<Header>と付加情報 |
| 2 行目 | 読み取りデータ、改行 | 12345678 | 出荷時はバーコードデータのみ転送します。 |
| 残りのデータの行 | 同上 | 12345679 | 同上 |
| 最終行 | フッタ、改行 | <Footer> | データの終了行を示す文字<Footer> |

(注)ヘッダとフッタについては後述の 8-8 を参照して下さい。

読み取りデータ形式

| 日付(読み取り日付) | 日付と時刻の間 | 時刻(読み取り時刻) | デリミタ | 読み取りデータ | ポストアンブル |
|------------|--------------|------------|--------------|----------|---------------|
| YYYY-MM-DD | SP (スペース) | hh:mm:ss | SP (スペース) | バーコードデータ | CR,LF (改行) |

読み取りデータ形式の設定

出荷時はバーコードデータのみ転送します。読み取り日時を転送する設定ができます。

設定方法は **8-9 メモリモードの日時を転送する** を参照して下さい。

蓄積データの転送データ形式は次の通りです。(ファームウェアバージョン 001-0045 以上)

| 行 | 転送する文字 | 例 | 説明 |
|------------|------------|----------------|--------------------------------|
| 先頭行 (1 行目) | ヘッダ、改行注 | <Header> . . . | データの開始行を示す文字<Header>と付加情報 |
| 2 行目 | 読み取りデータ、改行 | 12345678 | 出荷時はバーコードデータと改行(Enter)のみ転送します。 |
| 残りのデータの行 | 同上 | 12345679 | 同上 |
| 最終行 | フッタ、改行注 | <Footer> | データの終了行を示す文字<Footer> |

注 ヘッダとフッタの説明→第 8 章 8-8 ヘッダとフッタを参照

1 件の読み取りデータ

| 設定 | プリアンブル | プレフィックス | 日付(読取日付) | 日付と時刻の間 | 時刻(読取時刻) | デリミタ | コードタイプ | コードID(前) | 桁数 | GS1 AIM ID | 読取データ | (コードID(後)) | サフィックス | ポストアンブル |
|--------|--------|---------|-------------|--------------|-------------|--------------|----------------|------------|--------------|-------------|--------------|------------|--------|------------------|
| 転送の初期値 | 禁止 | 禁止 | 禁止 | | 禁止 | 許可 | 禁止 | 禁止 | 禁止 | 禁止 | | | 禁止 | 許可 |
| 文字の初期値 | なし | なし | YYYY-MM-DD | SP (スペース) | hh:mm:ss | SP (スペース) | (xx..) (文字) | xx (文字) | nnnn (数字) | jxn (文字) | | | なし | CR LF (Enter) |
| 桁数 | 1-8 | 1-8 | 可変 設定による | 1 | 可変 設定による | 1 | 可変 | 1-2 | 4 | 3 | 可変 データによる | 1-2 | 1-8 | 1-8 |

メモ 第 4 章 4-2-1 読取データ転送形式 と同じ図です。出荷時は二重線の箇所を転送します。

メモ 日付と時刻の位置を読取データの後に設定する場合は 8-9 の設定メニューで日時の位置を後に設定して下さい。

転送例 バーコード 1234567890、4512345678906、ABCD1234 を読み取って蓄積し、転送したときの例です。

```
<Header> 000003 ←ヘッダ
1234567890 ←読み取りデータ
4512345678906 ←同上
ABCD1234 ←同上
<Footer> ←フッタ
```

8-8 ヘッダとフッタ

蓄積データを転送すると、先頭行にヘッダというデータの開始行を示す文字と、最終行にフッタというデータのデータの終了行を示す付加情報を転送します。

転送形式は 8-8-1、8-8-2 の図の通りです。出荷時設定では二重線で示す項目を転送します。

8-8-1 ヘッダの転送形式

| 設定 | ヘッダ | 区切文字 | ヘッダの日付 (消去日付) | 区切文字 | ヘッダの時刻 (消去時刻) | 区切文字 | レコード件数 | ポストアンブル 注 |
|--------|----------|--------------|------------------|--------------|------------------|--------------|--------------------|---------------------|
| 転送の初期値 | 許可 | (禁止) | 禁止 | (禁止) | 禁止 | (許可) | 許可 | 許可 |
| 文字の初期値 | <Header> | SP (スペース) | YYYY/MM/DD | SP (スペース) | hh:mm:ss | SP (スペース) | nnnnnn (数字 6 桁) | CR LF (Enter) |
| 桁数 | 1-16 | 1 | 可変 設定による | 1 | 可変 設定による | 1 | 6 | 1-8 |

8-8-2 フッタの転送形式

| 設定 | フッタ | 区切文字 | フッタの日付 (消去日付) | 区切文字間 | フッタの時刻 (消去時刻) | 区切文字 | レコード件数 | ポストアンブル 注 |
|--------|----------|--------------|------------------|--------------|------------------|--------------|--------------------|---------------------|
| 転送の初期値 | 許可 | (禁止) | 禁止 | (禁止) | 禁止 | (禁止) | 禁止 | 許可 |
| 文字の初期値 | <Footer> | SP (スペース) | YYYY/MM/DD | SP (スペース) | hh:mm:ss | SP (スペース) | nnnnnn (数字 6 桁) | CR LF (Enter) |
| 桁数 | 1-16 | 1 | 可変 設定による | 1 | 可変 設定による | 1 | 6 | 1-8 |

8-8-3 ヘッダとフッタ内の付加情報について

ヘッダの日付、ヘッダの時刻、フッタの日付、フッタの時刻

前回、蓄積データをすべて消去した日時です。（読取データを転送した日時ではありません）

レコード件数

蓄積データの件数です。形式は数字(n)6 桁、左側 0 詰めです。例えば 15 件なら 000015 になります。

出荷時、ヘッダのレコード件数は転送が許可になっています。

区切文字

ヘッダとフッタ内の区切文字（スペース、SP）また、ヘッダとフッタ内の区切文字は固定で、変更できません。

それぞれの区切文字の前後の文字を転送する場合、区切文字の SP を転送します。

それぞれの区切文字の前後の文字を転送しない場合、区切文字の SP を転送しません。

注 ポストアンブルは第 4 章 データ転送形式でのポストアンブルと同じ設定です。

メモリモードのポストアンブルは、通常は設定変更しないで下さい。

例 ヘッダの付加情報をすべて転送したときの例です。

```
<Header> 2019/05/13 12:30:21 000003 ←ヘッダ。出荷時は<Header> 000003 を転送します。
1234567890 ←読み取りデータ
4512345678906 ←同上
ABCD1234 ←同上
<Footer> ←フッタ
```

設定例は第 8 章 8-9 を参照して下さい。詳しい設定メニューは第 15 章 15-8 を参照して下さい。

8-9 メモリモードの日時を転送する

このページはメモリモードで蓄積したデータを転送するときの設定です。ケーブルモード→第7章 7-6 BTモード→第9章 9-18 設定例のようにデータを転送するには、スキャナで★印のメニューを読み取って下さい。

出荷時の転送形式
 <Header> 000003
 1234567890
 4512345678906
 <Footer>

設定例
 2019/09/24 (Tab) 17:33:50 (Tab) 1234567890
 2019/10/01 (Tab) 09:15:50 (Tab) 4512345678906

上下隣のメニューを間違
 って読まないようご注意
 下さい。設定後タブ区切
 りにならない場合、0,9
 を0,0などと読んでいま
 す。再設定して下さい。



* 印は出荷時設定

| 設定 | 禁止(オフ) | 許可(オン) |
|-------------------------------|-----------------------|-----------------------|
| ヘッダの転送 | ★禁止 * B E 7 6 0 * | * 許可 * B E 7 6 1 * |
| フッタの転送 | ★禁止 * B E 7 7 0 * | * 許可 * B E 7 7 1 * |
| 日付の転送 | * 禁止 * C 0 1 3 0 * | ★許可 * C 0 1 3 1 * |
| 時刻の転送 | * 禁止 * C 0 1 4 0 * | ★許可 * C 0 1 4 1 * |
| デリミタの転送 日時とデータの 間のキャラクタ | * 禁止 * C 0 1 1 0 * | ★許可 * C 0 1 1 1 * |
| 日時の位置 データの前か後 | * 前 * C 0 1 2 0 * | 後 * C 0 1 2 1 * |

日時をタブ(Tab)で区
 切る場合はこちら

★区切文字タブ設定

日付と時刻の間

* C 0 A E 2 *

0

9

セット

デリミタ

* C 0 B E 2 *

0

9

セット

日時をスペースで区切る場合はこちら
 (そのまま設定終了)
 ※タブにした後、スペースに戻すには、
 巻末付録 B 英数メニューを使い、右側
 の0、9を2、0で設定して下さい。



8-10 蓄積データをすべて消去する

蓄積データをパソコンに転送した後も、データはスキャナに保存されています。スキャナを操作して蓄積データを消去します。

- 1) スキャナから USB ケーブルを外して下さい。メモリモードになります。オレンジの LED が点滅します。
- 2) 設定メニューかボタンで蓄積データをすべて消去して下さい。

●設定メニューで消去する

「消去」を読み取って下さい。（メニューでの消去は、どのモードでも行えます）

消去



注 このメニューはファームウェアバージョン
0001-0012 以上が対応します(2015 年 4 月頃から出荷)

上記メニューを通常のバーコードとして読んでしまう場合は下記「設定開始」「消去」を読み取って下さい。



メモ ファームウェアはアップデートすることが出来ます。

詳しくはウェブサイトのユーザー専用ページにログインし、資料をお読み下さい。

●ボタン操作で消去する

メモ メモリモードのときにのみ、ボタン操作で消去できます。

小 ボタンを長押しして下さい。

ブザーが 3 回鳴ります。 オレンジの LED が高速で点滅します。

小 ボタンを長押ししたまま、**大** ボタンを押して下さい。蓄積データをすべて消去します。

8-11 転送したら自動的に消去する設定

蓄積データをパソコンに転送したら、スキャナから蓄積データを自動的に消去する設定ができます。

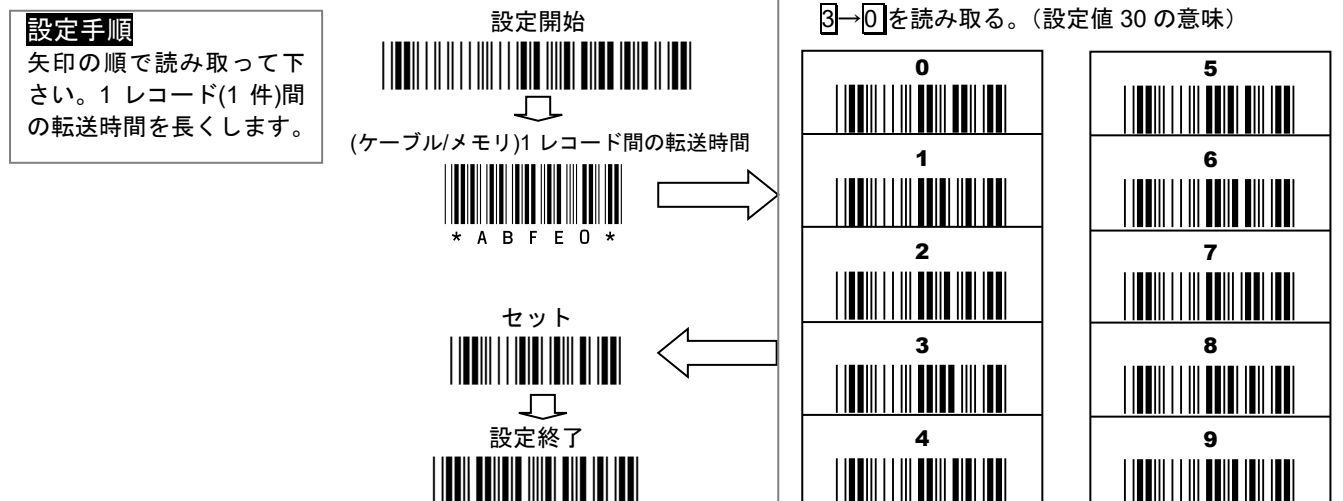
設定開始 → **蓄積データの自動消去 許可** → **設定終了** を読み取って下さい。（禁止を設定すると消去しません）



メモ 「蓄積データの自動消去 許可」はメモリモードが「標準動作」のときの動作です。マスメモリに設定したとき自動消去の設定はありません。（第 8 章 7-13 マスメモリの設定を参照）

8-12 蓄積データ転送のレコード抜け対策

メモリモードで蓄積したデータを転送してレコード抜けが発生する場合（1件のレコードが抜ける）、下記設定メニューを矢印の順で読み取って下さい。1レコード(1件)間の転送時間を長くします。



設定しても改善しない場合

- 設定の3→0を大きな数値3→5(35の意味)や4→0(40の意味)などで設定し、時間を長くして下さい。
- メモ帳など軽量のソフトに転送して下さい。
- 第8章 8-13 マスストレージの設定の使用をご検討下さい。

8-13 マスストレージの設定

スキャナを「マスストレージ」に設定すると、蓄積データ転送をするとき、スキャナがUSBメモリのようになります。マスストレージでは、蓄積データをテキストファイルとしてパソコンに取り出せます。

設定開始→マスストレージ→設定終了を読み取って下さい。（標準動作を設定すると、元の動作に戻ります）



8-14 マスストレージで蓄積データファイルを取り出す

- 1) スキャナとパソコンをUSBケーブルで接続して下さい。
- 2) 設定メニューかボタンで転送モードに入って下さい。

●設定メニューで転送モードに入る

次の設定メニューを読み取って下さい。



●ボタン操作で転送モードに入る

[小]ボタンを長押しして下さい。

ブザーが3回鳴ります。まだ長押しして下さい。緑のLEDが高速で点滅します。

しばらく待つと、長いブザーが1回鳴ります。緑のLEDが点灯になります。

ボタンから手を離して下さい。転送モードに入りました。

- 3) パソコンが「リムーバブルディスク」の画面を開き、テキストファイル「MEMORY.TXT」が現れます。
- 4) テキストファイル「MEMORY.TXT」を、パソコンのお好きな場所にコピーするなどして保存して下さい。
- 5) **[小]**ボタンを押して下さい。スキャナがケーブルスキャナに戻ります。

メモ 自動的にパソコンが画面表示しない場合、パソコンを操作して「リムーバブルディスク」の場所を開いて下さい。

メモ リムーバブルディスク内の「MEMORY.TXT」は書き換えできません。コピーしてご利用下さい。

メモ 万一、リムーバブルディスク内の「MEMORY.TXT」を消去しても、自動的にファイルが作成されます。

8-15 マスストレージのデータを消去する

蓄積データを消去する手順は、標準動作と同じです。第8章 8-10 をお読み下さい。

8-16 マスストレージのデータ形式

テキストファイル「MEMORY.TXT」のデータ形式は固定です。日時は必ずデータの前に付きます。メモリモードの標準動作の付加文字（ヘッダ、フッタ、プリアンブル、ポストアンブル、プリフィックス、サフィックス）は付きません。

データ形式（マスストレージのテキストファイル）

| 日付(読み取り日付) | 日付と時刻の間 | 時刻(読み取り時刻) | デリミタ | 読み取りデータ | ポストアンブル |
|------------|--------------|------------|--------------|----------|---------------|
| YYYY-MM-DD | SP (スペース) | hh:mm:ss | SP (スペース) | バーコードデータ | CR,LF (改行) |

メモ マスストレージのデータの「日付と時刻の間」と「デリミタ」のSP(スペース)は第8章 8-9の「区切文字タブ設定」を設定するとタブになります。タブ以外のキャラクタでも設定すると反映します。マスストレージのときポストアンブルはCR,LF(改行)に固定されます。

第9章 BTモード (Bluetooth ワイヤレスモード) 設定と使い方

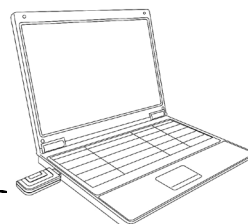
9-1 ドングル付きセット品の使い方

メモ セット品はペアリングの設定済みです。BTモードに切り替えるのみで使用できます。

1 パソコンに専用 USB ドングルを取り付ける

専用 USB ドングル A-302 をパソコンの USB ポートに取り付けて下さい。
パソコンが自動で USB ドングルをインストールします。

USB ポート



2 スキャナをワイヤレスモードに切り替える

- ①スキャナから USB ケーブルを外して下さい。
- ②BTモードに切り替えて下さい。
※青が点滅するなら、すでに BT モードです。

設定開始



BTモードへ切替

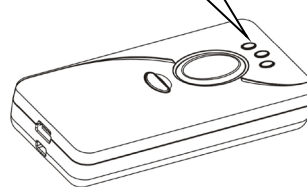


エラー音が鳴る場合
すでに BT モードです。
設定終了を読み取って
下さい。

設定終了



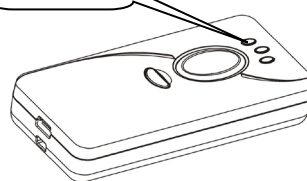
青なら BT



しばらく待つと、スキャナの青色 LED ランプが点灯し、短い
ブザーが 2 回鳴ります。

以上でワイヤレス接続は完了です。

青点灯



3 キーボード配列の設定

次のメニューを上から順に読み取って下さい。

設定開始



ケーブル/メモリ日本キーボード



BT 日本キーボード



設定終了



9-1 (続き) ドングル付きセット品の使い方

メモ Windows のバージョンにより画面や設定方法が異なる場合があります。

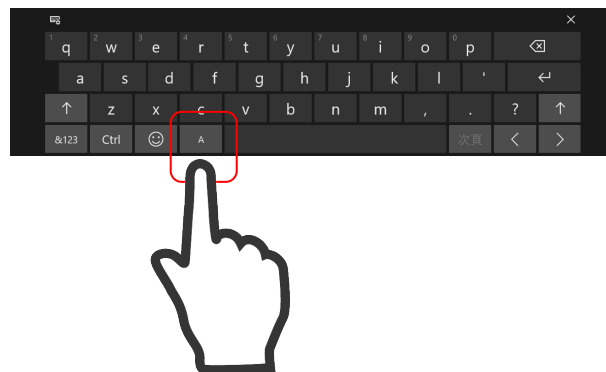
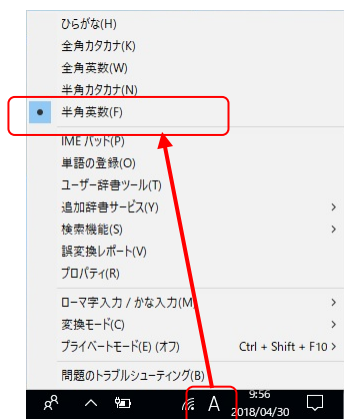
4 使い方

- 1) バーコードデータを入力するアプリ (メモアプリやブラウザ) を立ち上げて下さい。
- 2) バーコードを入力したいところをクリック又はタッチしてカーソルを表示させて下さい。

3) (ア) パソコンがデスクトップモードの場合

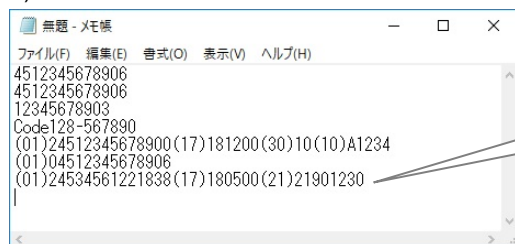
(イ) パソコンがタブレットモードの場合

画面右下の[言語バー]の入力モードを[半角英数]に設定して下さい。画面キーボードの[あ]をタッチ→[A]に切り替えて下さい。[あ]を右クリック→[半角英数]を選択。(あが A になる)



メモ Windows XP は[直接入力]を設定して下さい

- 4) バーコードを読み取って下さい。読み取りデータを転送します。



クリック又はタッチして
カーソルが表示したと
ころにデータが入ります。

メモ スキャナはしばらく時間がたつとスリープします(Bluetooth ワイヤレスを切断します)。

→スリープ時、スキャナの小さなボタンまたは大きなボタンを押すと、Bluetooth ワイヤレス接続します。

困ったときは (1) 改行しない、連続して横に出る、全角になる → 第7章 7-5 困ったときは を参照して下さい。

困ったときは (2) 読み取りデータが桁落ち・文字抜けする → 第9章 9-16 BT モード データ転送速度を遅くする設定を参照して下さい。又は、データ入力するアプリやブラウザを変えてご使用下さい。

9-2 専用 USB ドングルとスキャナのペアリング

ご案内 セット品は設定済みの為、この設定は不要です。

初期化した場合などに、設定して下さい。

1 スキャナを設定する

スキャナで上から順に読み取って下さい

【BT 接続タイプの設定】
設定開始

専用 USB ドングル

設定終了

【ドングルの MAC アドレス設定】
設定開始

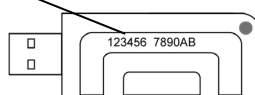
専用 USB ドングル用 MAC アドレス

セット

設定終了

USB ドングルの半透明のケース越しに表示している文字と同じ文字を、メニューから読み取ります。
例：001C97FF15FC なら 0→0→1→C→9→7→F→F→1→5→F→C と1つずつ読み取ります。

ケース越しの12文字



| |
|------|
| メニュー |
| 0 |
| 1 |
| 2 |
| 3 |
| 4 |
| 5 |
| 6 |
| 7 |
| 8 |
| 9 |
| A |
| B |
| C |
| D |
| E |
| F |

2 パソコンに USB ドングルを取り付ける

専用 USB ドングル A-302 をパソコンの USB ポートに取り付けて下さい。

3 BT モードに切り替え、ペアリングする

スキャナから USB ケーブルを外し、次のメニューを読み取って下さい。

設定開始

BT モードへ切替

エラー音が鳴る場合、すでに BT モードです。続けて「BT ペアリング」を読み取って下さい。

設定開始

BT ペアリング

しばらく待つと、スキャナのブザーが鳴り、青色 LED ランプが点灯します。

以上でペアリング完了です。

メモ スキャナを iPad などとペアリングした後、一度設定したことがある専用 USB ドングルと再びペアリングする場合、「ドングルの MAC アドレス」の設定は保存されているので設定不要です。（初期化した場合は設定が必要です）

メモ 使い方は、第9章 9-1（続き） ドングルつきセット品の使い方 「4 使い方」を参照して下さい。

9-3 iOS デバイス(iPad,iPhone)とスキャナのペアリング・使い方

ご案内 新バージョンはペアリングコードなしです。(→2017年3月頃出荷分から新バージョンです)

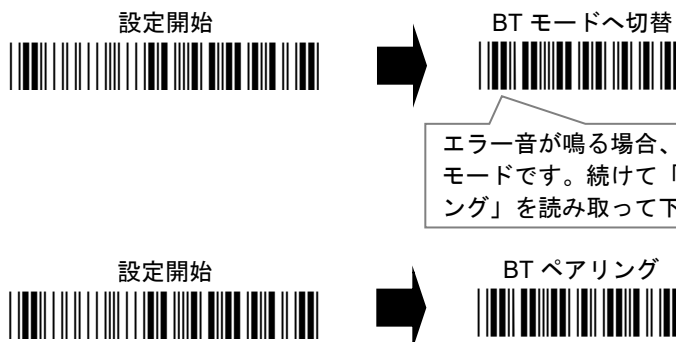
メモ ブザーはオンにしてください。またはバイブレータをオンにしてください。(メニューを読んでいるか確認する為)

1 スキャナを設定し、ペアリングモードにする

①スキャナで順に読み取って下さい



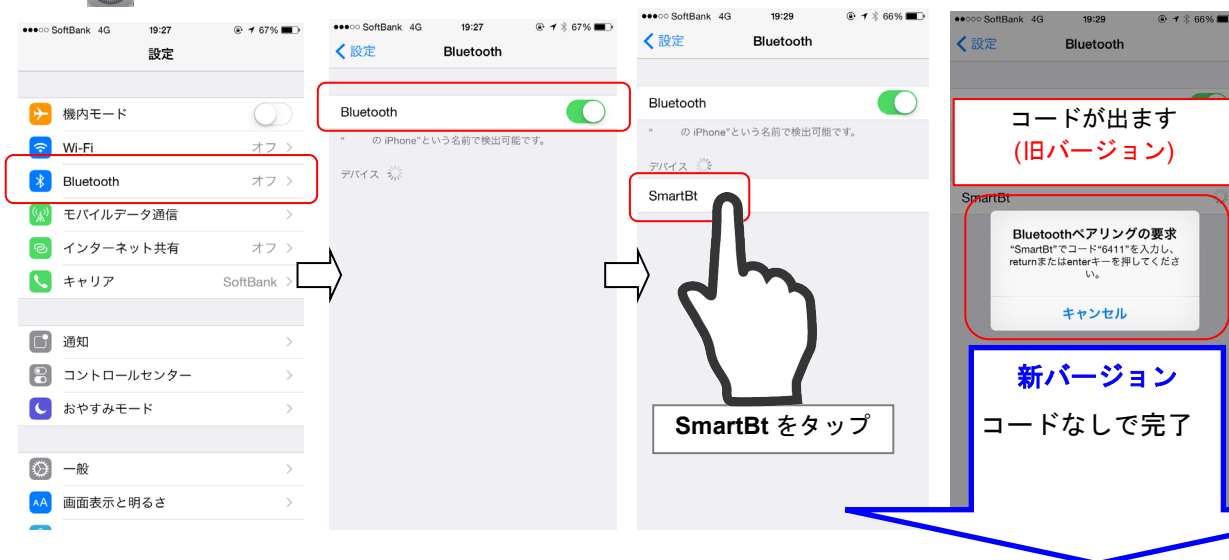
②スキャナからケーブルを外し順に読み取って下さい



2 iOS の Bluetooth をオンにする

[設定] → [Bluetooth] → [オン] にして下さい。

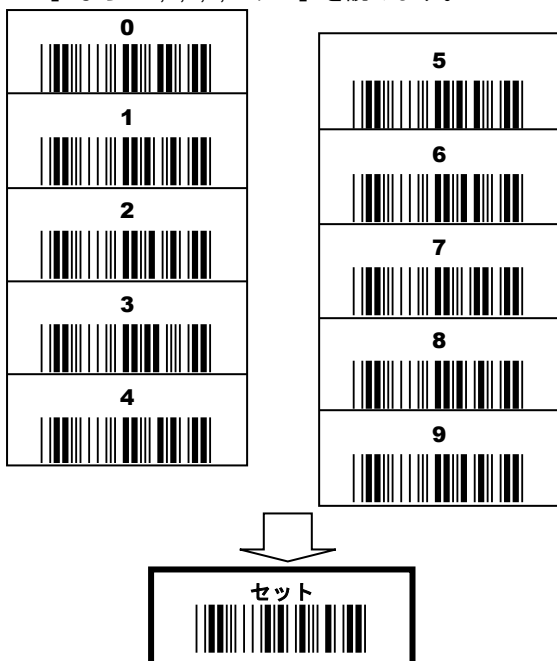
[SmartBt] をタップします → (旧)コード(数字 4 桁)が出ます。



3 (旧バージョン)スキャナで設定メニューを読み取る

スキャナで同じ数字 → セット を読み取って下さい。

「6411」なら「6,4,1,1,セット」を読み取ります。



4 ペアリング完了

ブザーが鳴り、青 LED が点灯します。

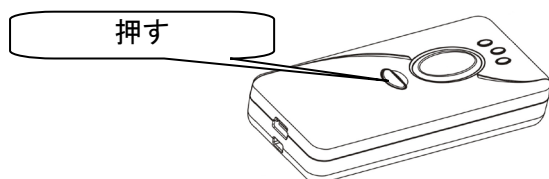
以上でペアリング完了です。



9-3 (続き) iOS デバイス(iPad,iPhone) とスキャナのペアリング・使い方

5 使い方

- ①iOS デバイスの[メモ]やブラウザなどのアプリを立ち上げて下さい。
- ②スキャナの[小]ボタンを1回押して下さい。オンスクリーンキーボードが立ち上がります。



- ③オンスクリーンキーボードの [地球儀] を何度かタップ (または長押し) して、キーボードを **English(US)** に切り替えて下さい。
- ④バーコードを入力したいところをタップしカーソルを表示させて下さい。
- ⑤バーコードを読み取って下さい。読み取りデータを転送します。

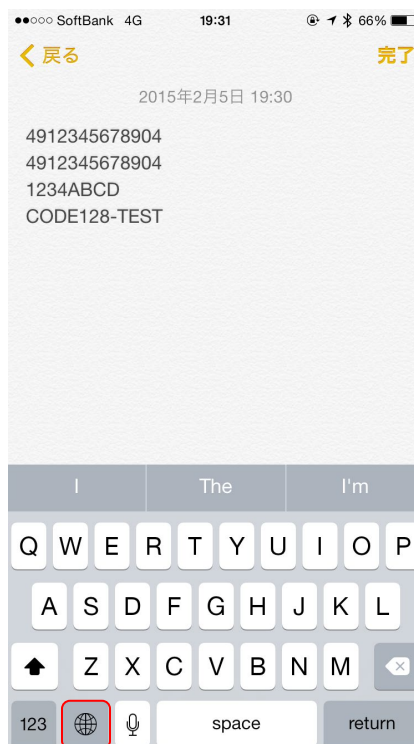
メモ Bluetooth 接続中は、iOS デバイスの画面をタップしても、キーボードが出ません。スキャナの[小]ボタンでキーボードをオン/オフして下さい。

メモ スキャナはしばらく時間がたつとスリープします。

スキャナの大ボタンか小ボタンを押すと Bluetooth 接続します。

こんなときは 読み取りデータが桁落ち・文字抜けする場合

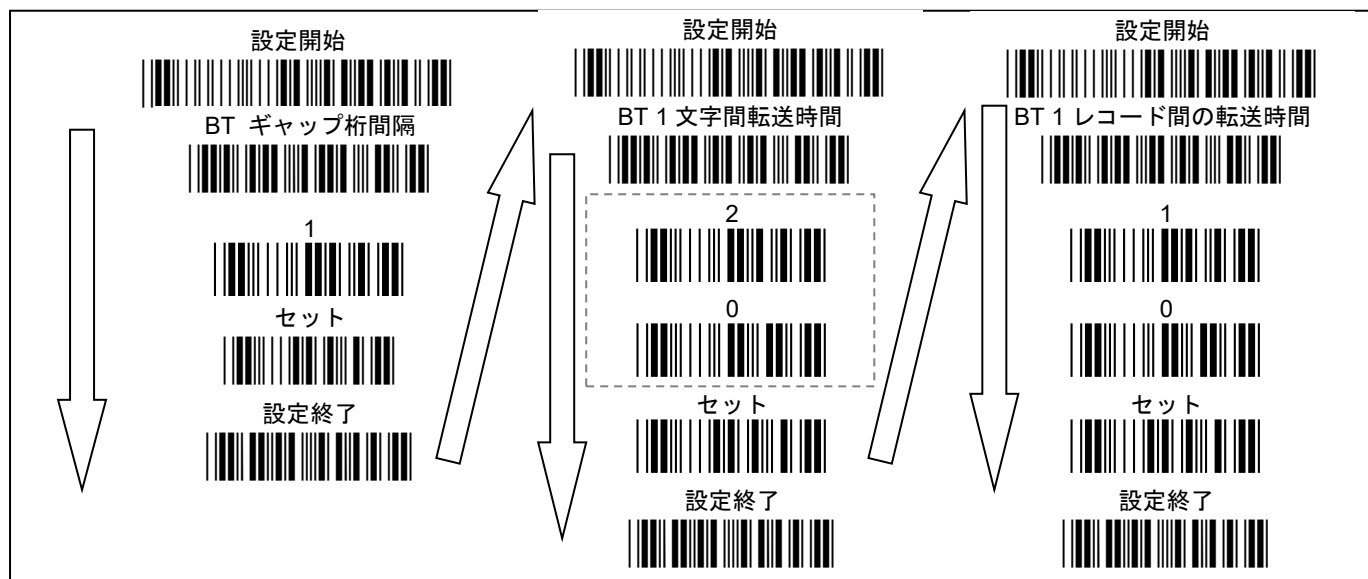
- ・データ入力するアプリやブラウザを変えてご使用下さい。
- ・または下記「データ転送速度を遅くする」設定をお試し下さい。



何度かタップ、(または長押しで) **English(US)** に切り替えて下さい。

6 データ転送速度を遅くする (桁落ち、文字抜けの対策)

順にすべて読み取って下さい。BT モードのデータ転送速度を遅くします。



メモ BT ギャップ桁間隔…何文字ごとに、遅延時間を入れるかの設定。通常は上記のまま(1桁ごと)設定して下さい。

BT 1 文字間転送時間…BT ギャップ桁間隔で設定した桁ごとに入れる遅延時間です。単位は 1msec。

改善しない場合、2→0 を 5→0 など大きな数に設定して下さい。

BT 1 レコード間の転送時間…読み取りデータ 1 件の後に入れる遅延時間。単位は 10msec。

BT 1 文字間転送時間、BT 1 レコード間の転送時間は、数値を変更して調整できます。巻末の英数メニューをご使用下さい。

9-4 Android デバイス(タブレット等)とスキャナのペアリング・使い方

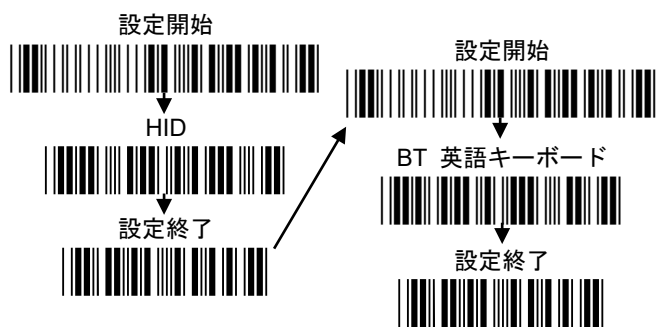
注意 Android 4.3 以上推奨。HID 接続となります。Android 2.x は対応しません。SPP 用アプリはありません。

ご案内 新バージョンはペアリングコードなしです。(→2017年3月頃出荷分から新バージョンです)

メモ ブザーはオンにしてください。またはバイブレータをオンにしてください。(メニューを読んでいるか確認する為)

1 スキャナを設定し、ペアリングモードにする

①スキャナで順に読み取って下さい

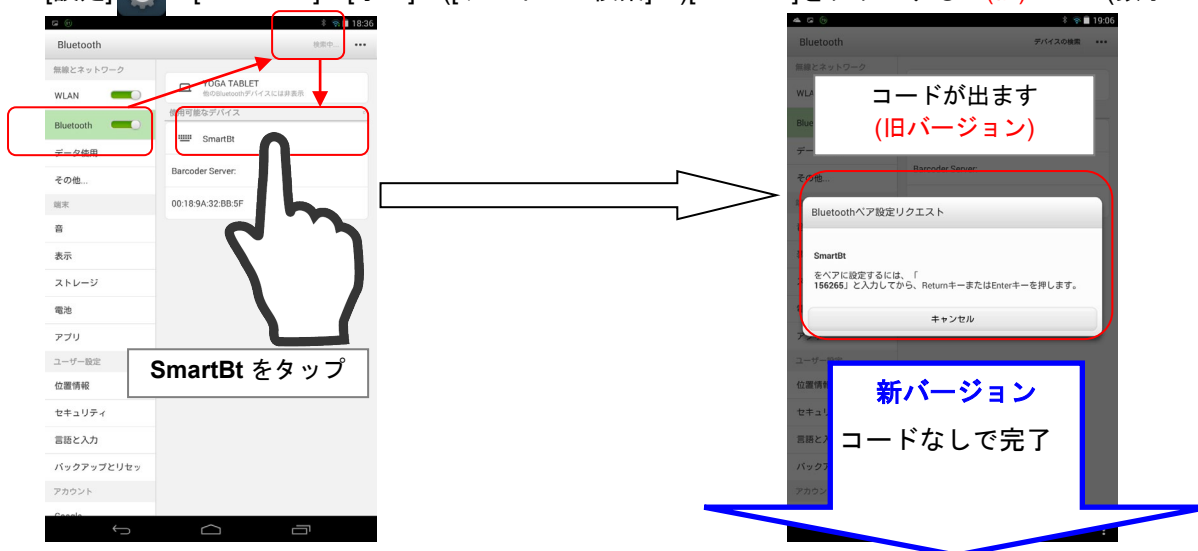


②スキャナからケーブルを外し順に読み取って下さい



2 Android で Bluetooth デバイスを検索する (機器によって画面は異なります)

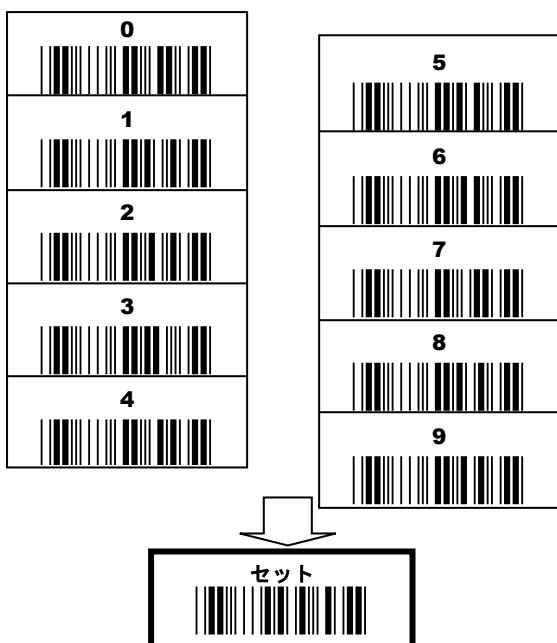
[設定] → [Bluetooth] → [オン] → ([デバイスの検索] →) [SmartBt] をタップする → (旧)コード(数字 6 桁)が出ます。



3(旧バージョン)スキャナで設定メニューを読み取る

スキャナで **コードの数字** → **セット** を読み取って下さい。

「156265」なら「1,5,6,2,6,5,セット」と読みます。



4 ペアリング完了

ブザーが鳴り、青 LED が点灯します。


以上でペアリング完了です。



9-4 (続き) Android デバイス(タブレット等) とスキャナのペアリング・使い方

5 使い方 (図は Android 4.3 のタブレットの例。機器により画面、機能、操作方法が異なります。)

①Android デバイスのキーボード設定を**英語キーボード**に設定して下さい。

Andrid デバイスの[設定]  →[言語と入力]→「キーボードと入力方法」から[デフォルト] ([標準]、[現在の入力方法]など) をタップ→[入力方法の選択]の画面から[英語]のキーボードを選択する。



②バーコードデータを入力するアプリ (メモアプリやブラウザ) を立ち上げて下さい。

③バーコードを入力したいところを**タップしてカーソルを表示**させて下さい。

③バーコードを読み取って下さい。読み取りデータを転送します。



タップして**カーソルが表示した**ところにデータが入ります。

メモ スキャナはしばらく時間がたつとスリープします。スキャナの**大ボタン**か**小ボタン**を押すと Bluetooth 接続します。

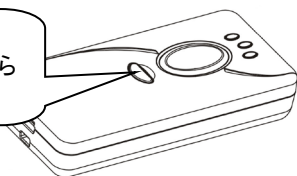
ソフトキーボードを出す方法

- ・ Bluetooth 接続中は、Android デバイスの画面をタップしてもソフトキーボードが出ません。
- ・ ソフトキーボードを出すには、スキャナの **Bluetooth** を切断して下さい。

●Bluetooth を切断する方法

スキャナの**小**ボタンを長押し→3 回ブザー「ピピピ」が鳴る→ボタンをはなす→Bluetooth が切断します

長押し
ブザー3 回鳴ったら
はなす



Bluetooth 切断後、データ入力したいところをタップすると、ソフトキーボードが出ます。

タブレットですばやく設定を変える方法 ※機器によります

- アプリのデータ入力する場所をタッチしカーソルを表示させる→画面の左上から下にスワイプする (なぞる)
→[入力方法の選択]→ハードウェア(物理キーボード)のオン・オフ、英語・日本語の切り替えができます。



物理キーボードをオフにすると、Bluetooth 接続したままソフトキーボードを出せます。

※再度 Bluetooth 接続したとき物理キーボードはオンに戻り、ソフトキーボードは出なくなります。

- ソフトキーボードによっては特定のキーを長押しすると[入力方法の選択]を表示し、日本語、英語の切替ができる場合があります。

9-5 Windows 10 / 8.1 / 8 <Bluetooth 対応 PC/タブレット>とスキャナのペアリング・使い方

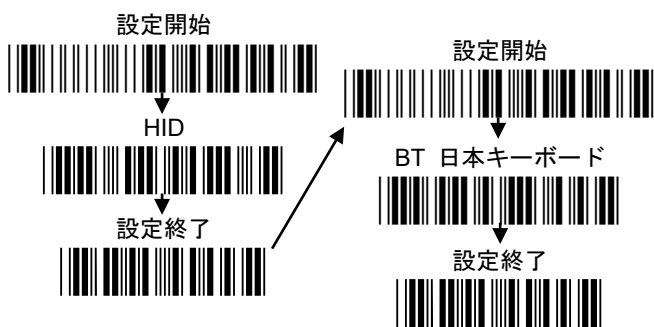
注意 ドングル付きセット品の説明は本書 9-1、9-2 です。このページはドングル付きセット品の説明ではありません。

ご案内 新バージョンはペアリングコードなしです。(→2017年3月頃出荷分から新バージョンです)

メモ ブザーはオンにしてください。またはバイブレータをオンにしてください。(メニューを読んでいるか確認する為)

1 スキャナを設定し、ペアリングモードにする

①スキャナで順に読み取って下さい



②スキャナからケーブルを外し順に読み取って下さい



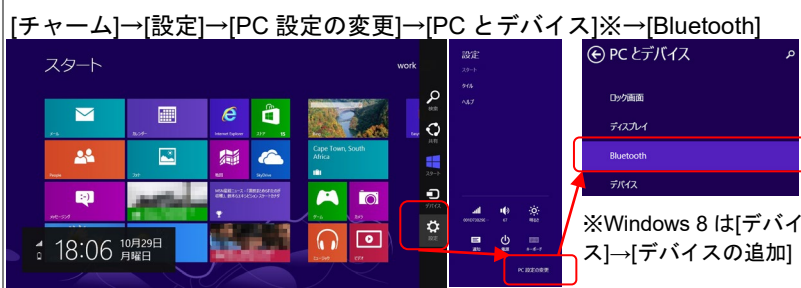
2 WindowsでBluetoothデバイスの追加をする (機器によって画面は異なります)

① PCのBluetoothをオンにしてください。オンにする方法はPCの説明書をお読み下さい。

② Windows 10



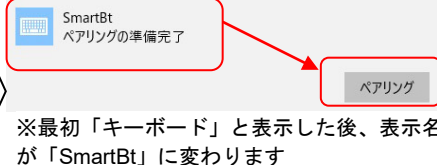
Windows 8.1 ※Windows 8 は一部画面が異なります。



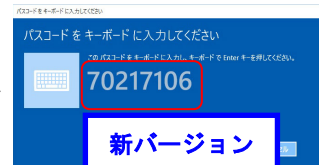
③Bluetoothをオン(Windows 10/8.1)



④ [SmartBt]※→[ペアリング]



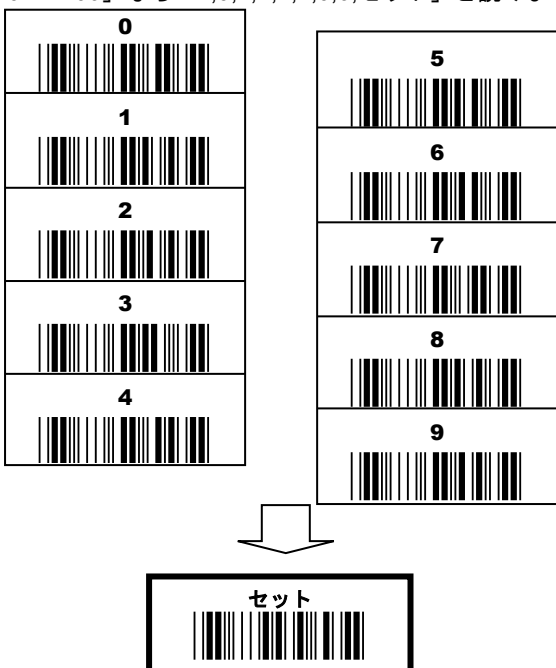
⑤(旧)パスワードが出ます。



3 (旧バージョン)スキャナで設定メニューを読み取る

スキャナで「パスワードの数字」→「セット」を読み取って下さい。

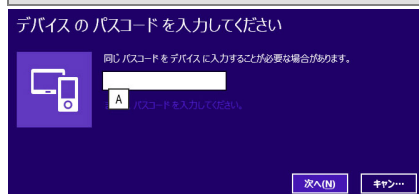
「70217106」なら「7,0,2,1,7,1,0,6,セット」と読みます。



4 ペアリング完了

ブザーが鳴り、青LEDが点灯します。
以上でペアリング完了です。

(注) 2の⑤でコードの入力画面が出た場合



- ①PCのキーボードで半角「1234」を入力→[次へ]
- ②スキャナでメニュー「1,2,3,4,セット」を読み取る

5 使い方

データを入力するアプリケーションを立ち上げ、バーコードを読み取って下さい。アプリケーションのカーソルがある場所にデータを転送します。

ご注意 PCの言語バーは半角英数に設定して下さい。
→第9章 9-1「4 使い方」をお読み下さい。

9-6 Window 7 <Bluetooth 対応 PC/タブレット>とスキャナのペアリング・使い方

注意 専用ドングル付きセット品の説明は本書 9-1、9-2 です。このページはドングル付きセット品の説明ではありません。

ご案内 新バージョンはペアリングコードなしです。(→2017年3月頃出荷分から新バージョンです)

メモ ブザーはオンにしてください。またはバイブレータをオンにしてください。(メニューを読んでいるか確認する為)

1 スキャナを設定し、ペアリングモードにする

①スキャナで順に読み取って下さい

②スキャナからケーブルを外し順に読み取って下さい

2 Windows で Bluetooth デバイスの追加をする (機器によって画面は異なります)

- ① PC の Bluetooth をオンにしてください。オンにする方法は PC の説明書をお読み下さい。
 - ② [スタート]→[デバイスとプリンター]
- [デバイスの追加]→[SmartBt]→[次へ]→[独自のペアリングコードの作成]→(旧)ペアリングコード(数字 8 桁)が出ます。

新バージョン
コードなしで完了

3 (旧バージョン)スキャナで設定メニューを読み取る

スキャナで **パスコードの数字** → **セット** を読み取って下さい。
「82052535」なら「8,2,0,5,2,5,3,5,セット」と読みます。

| | |
|-----------|-----------|
| 0 | [Barcode] |
| 1 | [Barcode] |
| 2 | [Barcode] |
| 3 | [Barcode] |
| 4 | [Barcode] |
| 5 | [Barcode] |
| 6 | [Barcode] |
| 7 | [Barcode] |
| 8 | [Barcode] |
| 9 | [Barcode] |
| ↓ | |
| セット | |
| [Barcode] | |

4 ペアリング完了

ブザーが鳴り、青 LED が点灯します。
以上でペアリング完了です。



5 使い方

データを入力するアプリケーションを立ち上げ、バーコードを読み取って下さい。アプリケーションのカーソルがある場所にデータを転送します。

ご注意 PC の言語バーは半角英数に設定して下さい。
→第 9 章 9-1「使い方」をお読み下さい。

9-7 市販の USB Bluetooth アダプタとスキャナのペアリング・使い方

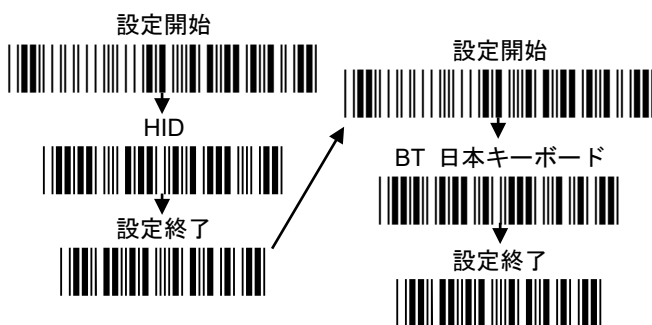
注意 専用ドングル付きセット品の説明は本書 9-1、9-2 です。このページはドングル付きセット品の説明ではありません。

ご案内 新バージョンはペアリングコードなしです。(→2017年3月頃出荷分から新バージョンです)

メモ ブザーはオンにしてください。またはバイブレータをオンにしてください。(メニューを読んでいるか確認する為)

1 スキャナを設定し、ペアリングモードにする

①スキャナで順に読み取って下さい



②スキャナからケーブルを外し順に読み取って下さい



2 パソコンで Bluetooth デバイスの追加をする (機器によって画面は異なります)

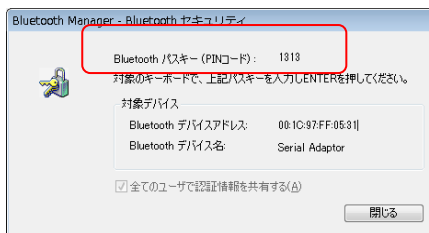
①Bluetooth デバイスの追加を行ってください。USB Bluetooth アダプタ付属の設定ソフトによって、手順が異なります。

②(旧バージョン)パスキー (PIN コード) の数字が出ます。下記は例です。Bluetooth 設定ソフトによって画面が異なります。

Motrola 製ソフトの場合

WIDCOMM 製ソフトの場合

TOSHIBA 製ソフトの場合



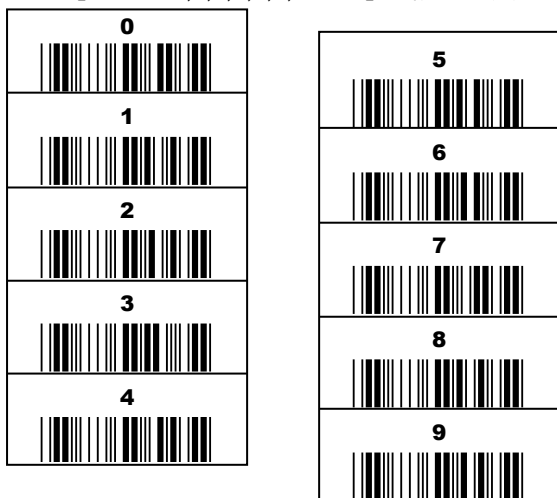
新バージョン

コードなしで完了

3 (旧バージョン)スキャナで設定メニューを読み取る

スキャナで **パスコードの数字** → **セット** を読み取って下さい。

「621640」なら「6,2,1,6,4,0,セット」と読みます。



4 ペアリング完了

ブザーが鳴り、青 LED が点灯します。

以上でペアリング完了です。

5 使い方

データを入力するアプリケーションを立ち上げ、バーコードを読み取って下さい。アプリケーションのカーソルがある場所にデータを転送します。

ご注意 PC の言語バーは半角英数に設定して下さい。
→第9章 9-1 「4 使い方」をお読み下さい。

9-8 ペアリングモードに入る方法

ペアリングモードは、設定メニュー読み取りか、ボタン操作で入ることができます。

- 1) スキャナから USB ケーブルを外して下さい。
- 2) スキャナを BT モードに切り替えてください。（第 6 章を参照）
- 2) 設定メニューかボタンでペアリングモードに入って下さい。

●設定メニューでペアリングモードに入る

次の設定メニューを読み取って下さい。



●ボタン操作でペアリングモードに入る

小ボタンを長押しして下さい。

ブザーが 3 回鳴ります。青の LED が高速で点滅します。

小ボタンを長押ししたまま、**大**ボタンを押して下さい。ペアリングモードに入ります。

9-9 ペアリング解除を防ぐ設定

ボタン操作でペアリングモードに入らない設定ができます。ボタン操作でペアリングを解除してしまうミスを防ぎます。
設定開始→**BT 小ボタン長押し+大ボタン 禁止**→設定終了を読み取って下さい。（出荷時は許可です）



メモ ボタン禁止でも設定メニューでのペアリングはできます。

9-10 モード切替を防ぐ設定

大ボタンの長押しによるモード切替のミスを防ぐには、モード固定して下さい。

メモリモードにならないようによりに BT モードに固定するには**設定開始**→**ケーブル+BT**→**設定終了**を設定して下さい。
詳しくは第 6 章 6-5 を参照して下さい。



9-11 Bluetooth を切断する

ボタン操作で Bluetooth を切断することができます。Bluetooth 機器のキーボードが使用できない場合などは切断して下さい。

●ボタン操作で Bluetooth を切断する

小ボタンを長押しして下さい。

ブザーが 3 回鳴ります。青の LED が高速で点滅します。

ボタンを離して下さい。

スキャナが Bluetooth を切断し、オフになります。

メモ ペアリングの設定は保持されています。何かボタンを押すと電源が入り、Bluetooth 接続します。

9-12 USB 充電しながら BT モードを使う設定

モードの固定で、「BT」「メモリ/BT」（ケーブルモードを使用しない設定）を設定すると、USB ケーブルで充電しながらワイヤレススキャナとして使用できます。

設定開始 → BT（またはメモリ/BT） → 設定終了 を設定して下さい。

詳しくは第 5 章 5-5 を参照して下さい。

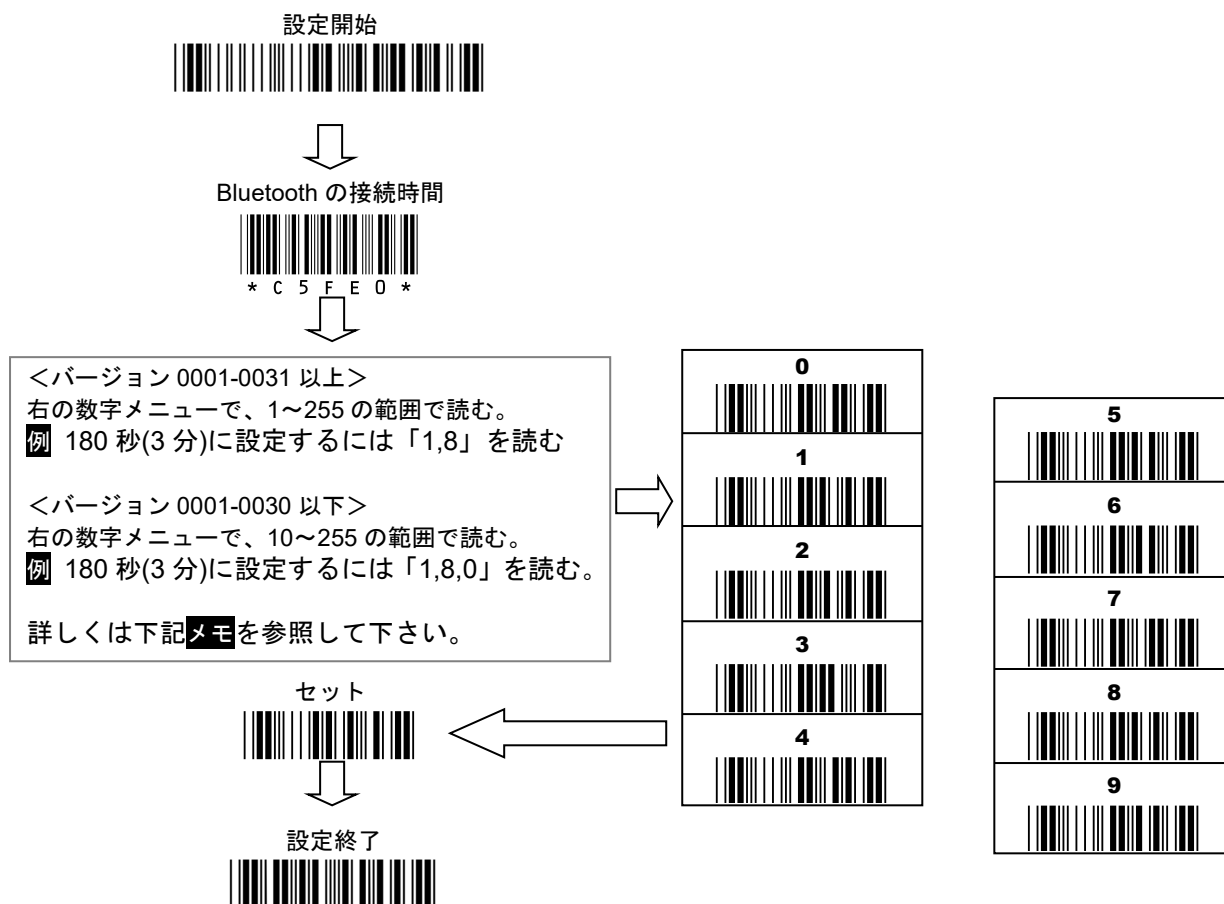
メモ 満充電（パワーLED、赤が 2 秒に 1 回の点滅）になったら USB ケーブルを外し充電中止して下さい。



9-13 Bluetooth 接続時間の設定

出荷時、BT モードは何も操作しないと 60 秒後に Bluetooth を切断し、スリープします。

Bluetooth 接続時間は長くすることができます。下記の設定メニューを順に読み取って下さい。



メモ

- ・バージョン 0001-0031 以上は設定単位 10 秒、最小の設定は 10 秒、最大の設定は 2550 秒（42 分 30 秒）です。
- ・バージョン 0001-0030 以下は設定単位 1 秒、最小の設定は 10 秒、最大の設定は 255 秒（4 分 15 秒）です。
- ・バージョンは第 15 章 15-1 バージョン情報のメニューで確認できます。

メモ 時間を長く設定すると、スキャナと機器のバッテリー消費が早くなります。

9-14 メモリモードの蓄積データを BT モードで転送する

メモリモードで蓄積したデータを、パソコンに Bluetooth ワイヤレスで転送することができます。

メモ モード固定の設定で、メモリを使えないモードを設定している場合は使用できません。

- 1) スキャナから USB ケーブルを外して下さい。
- 2) スキャナを BT モードに切り替えてください。（第 5 章を参照）
- 2) 設定メニューかボタンで転送モードに入って下さい。

●設定メニューで転送モードに入る

次の設定メニューを読み取り、転送モードに入り、**大**ボタンを押して下さい。蓄積データを転送します。



●ボタン操作で転送モードに入る

小ボタンを長押しして下さい。

ブザーが 3 回鳴ります。まだ長押しして下さい。青の LED が高速で点滅します。

しばらく待つと、長いブザーが 1 回鳴ります。青の LED が点灯になります。

ボタンから手を離して下さい。オレンジのランプが点灯します。転送モードに入りました。

大ボタンを押して下さい。蓄積データを転送します。

9-15 BT モードで転送モードに入らない設定

BT モードのとき、スキャナの**小**ボタンを長押しし続けると、転送モードに入ります。操作ミスで**小**ボタン長押しによって転送モードに入ることを防ぐには、**設定開始**→**BT 小ボタン長押し 禁止**→**設定終了**を設定して下さい。

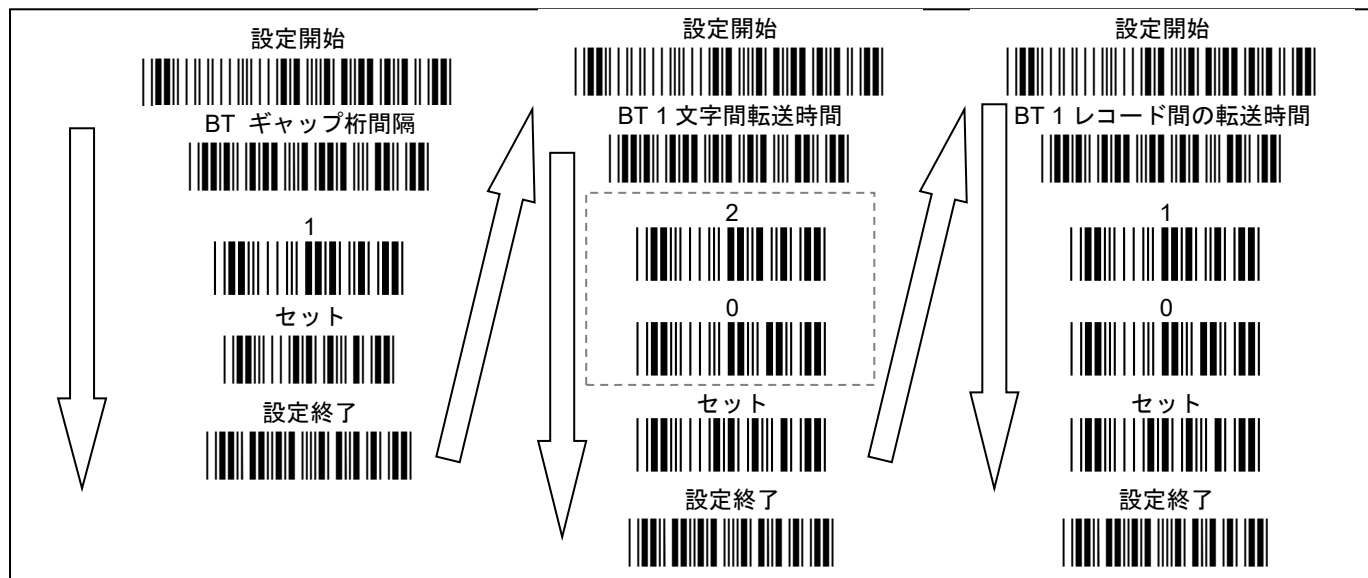


メモ 禁止に設定した後も、ケーブルモードでは**小**ボタンを長押しし続けると転送モードに入ることができます。

9-16 BT モード データ転送速度を遅くする設定（桁落ち、文字抜け対策）

BT モードで読み取りデータの文字が抜ける場合、矢印の順でメニューを読み取って下さい。

順にすべて読み取って下さい。BT モードのデータ転送速度を遅くします。



- メモ** BT ギャップ桁間隔・・・何文字ごとに、遅延時間を入れるかの設定。通常は上記のまま(1桁ごと)設定して下さい。
 BT 1 文字間転送時間・・・BT ギャップ桁間隔で設定した桁ごとに付ける遅延時間です。単位は 1msec。
改善しない場合、2→0 を 5→0 など大きな数に設定して下さい。
 BT 1 レコード間の転送時間・・・読み取りデータ 1 件の後に入れる遅延時間。単位は 10msec。

BT 1 文字間転送時間、BT 1 レコード間の転送時間は、数値を変更して調整できます。巻末の英数メニューをご使用下さい。

9-17 BTモード(Bluetooth ワイヤレス)の改行設定を変更する

- ・ 出荷時のスキャナは読取データの終端に Enter（エンター、改行）が付きます。
- ・ 読取データの終端を Tab（タブ）、または無しに変更する場合は、スキャナで下記の設定メニューを上から順に取り、設定を変更して下さい。

メモ ケーブルモード(USB ケーブル接続時)の改行設定は第 7 章 7-6 を参照して下さい。

1. 設定開始



2. お選び下さい（上から順に取り取る）

| 読取データ+Enter(改行) (出荷時設定) | 読取データ+Tab(タブ) | 読取データ+無し(データのみ) |
|----------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|
| (BT)ポストアンブル 許可 * C 6 0 1 1 * | (BT)ポストアンブル 許可 * C 6 0 1 1 * | (BT)ポストアンブル 禁止 * C 6 0 1 0 * |
| | | |
| (BT)ポストアンブル データ * C 6 E E 3 * | (BT) ポストアンブル データ * C 6 E E 3 * | |
| | | |
| 0 | 0 | |
| | | |
| D | 9 | |
| | | |
| セット | セット | |

3. 設定終了



メモ 詳しくは「第 14 章 設定の方法」「第 15 章 設定メニュー」をお読み下さい。

9-18 BT モードで日時を転送する

このページは Bluetooth ワイヤレスで読むときの設定です。ケーブルモード→第7章 7-6 メモリモード→第8章 8-9









設定例のように読取データを転送するには、スキャナで★印のメニューを読み取って下さい。

出荷時の転送形式
 1234567890
 4512345678906
 ABCD1234

設定例
 2019/09/24 (Tab) 17:33:50 (Tab) 1234567890
 2019/10/01 (Tab) 09:15:50 (Tab) 4512345678906
 2019/11/15 (Tab) 11:23:45 (Tab) ABCD1234

上下隣のメニューを間違
 って読まないようご注意
 下さい。設定後タブ区切
 りにならない場合、0,9
 を0,0などと読んでいま
 す。再設定して下さい。

* 印は出荷時設定

| 設定 | 禁止(オフ) | 許可(オン) |
|-------------------------------|---|---|
| 日付の転送 | * 禁止  * C 6 1 3 0 * | * 許可  * C 6 1 3 1 * |
| 時刻の転送 | * 禁止  * C 6 1 4 0 * | * 許可  * C 6 1 4 1 * |
| デリミタの転送 日時とデータの 間のキャラクタ | * 禁止  * C 6 1 1 0 * | * 許可  * C 6 1 1 1 * |
| 日時の位置 データの前か後 | * 前  * C 6 1 2 0 * | 後  * C 6 1 2 1 * |

日時をスペースで区切る場合はこちら
 (そのまま設定終了)
 ※タブにした後、スペースに戻すには、
 巻末付録 B 英数メニューを使い、右側
 の0、9を2、0で設定して下さい。

日時をタブ(Tab)で区
 切る場合はこちら

★区切文字タブ設定

日付と時刻の間


 * C 6 A E 2 *

0



9

セット



デリミタ


 * C 6 B E 2 *

0



9

セット



★設定終了


第 10 章 メンテナンス

本製品は特別なメンテナンスが不要ですが、定期的に清掃・点検を行うことで高い性能を保つことができます。

10-1 読み取り窓の清掃



ご注意



読み取り窓を清掃するときは、傷つけないように注意してください。読み取り窓が傷つくと読み取らなくなります。

読み取り窓が汚れていると、バーコードの読み取り性能が低下するなどの影響が生じます。ほこりや汚れがついている場合は柔らかい布やティッシュを水または薄めた中性洗剤で湿らせて、よく絞ってから読み取り窓を拭いてください。

読み取り窓を拭くときは下記のことをお守り下さい。

- ・ 強くこすらない
→窓が傷つき読み取らなくなります。
- ・ 研磨剤を使ったり、研磨する布類を使ったりしない
→窓が傷つき読み取らなくなります。
- ・ 有機溶剤を使用しない
→窓が溶けて読み取らなくなります。
- ・ 水やその他の液体を直接窓に吹きかけない
→本製品は防水ではありません。液体が侵入し故障の原因になります。

9-2 コネクタ・ケーブルの点検

コネクタ・ケーブルが破損・故障していると、正常に動作しません。

定期的の下記のことを確認して下さい。

- ・ コネクタが破損・変形していないか確認する
→コネクタが異常だと動作しなくなります。
- ・ ケーブルがねじれていたり、物が乗っていたり、挟まったりしていないか確認する。
→ケーブルが断線し、動作しなくなります。

第 11 章 困ったときは

Q:設定の方法を知りたい

A:第 14 章 設定の方法 をお読み下さい。

Q:JAN-13(13桁)が12桁で転送してしまう 先頭0が出ない

A: そのバーコードの1桁目が0の場合、バーコードタイプUPC-Aに対し、次の設定をして下さい。

第 15 章 15-17 UPC-A **設定開始**→**前方から削除**→**0(付録Bの英数メニュー)**→**セット**→**設定終了**

Q:Interleaved 2 of 5(ITF)を読み取らない

A:次の設定をして下さい。第 15 章 15-22 Interleaved 2 of 5 **設定開始**→**読み取り 許可**→**設定終了**

Q:Code 39 のスタート/ストップキャラクタ*を転送したい

A: 次の設定をして下さい。第 15 章 15-21 Code 39 **設定開始**→**スタート/ストップ転送 許可**→**設定終了**

Q:NW7 のスタート/ストップキャラクタ A を転送したい

A: 次の設定をして下さい。第 15 章 15-25 Codabar / NW7 **設定開始**→**スタート/ストップ転送 許可**→**設定終了**

Q:データの最後に転送する Enter(エンター、改行)を Tab(タブ)や無しに変更したい

A:第 2 章 2-5 「よく使う設定」の設定メニューで設定して下さい。

詳しくは第 14 章 14-7 「読み取りデータの前後に文字やキーを転送する設定」をお読み下さい。

Q:Excel に転送すると E+12 などと表示する、最初の 0 が消える

A:Excel でデータを入力する列を選択→右クリック→セルの書式設定→表示形式→文字列→OK を設定して下さい

第 12 章 仕様

仕様表

| | |
|---------------|---|
| 型番 | CM-520W1 |
| プロセッサ | 32 bits CPU |
| メモリ | 4MB |
| ボタン | 2 (スキャン/モード切替、消去/転送、ペアリング) |
| 読み取り バーコード | JAN,EAN,UPC,Code 39, Interleaved 2 of 5 (ITF), Industrial 2 of 5, Matrix 2 of 5, Codabar(NW7), Code 93, Code 128,GS1-128(注), GS1 Databar (RSS)他 |
| 光学仕様 | 受光 : リニア CCD イメージセンサ 2,500pixel 光源 : 赤色 LED 630nm スキャン速度 : 100 スキャン/秒 |
| 読取性能 | 読取深度 : 50mm~250mm(JAN,0.33mm) PCS : 0.45 以上 |
| バッテリー | リチウムポリマーバッテリー 3.7V,420mAH (USB ポートで充電) |
| 読取回数 | Bluetooth モード : 8,000 回(5 秒に 1 回の読み取り、バイブレータ・オン、ブザーあり) Bluetooth モード : 15,000 回(5 秒に 1 回の読み取り、バイブレータ・オフ、ブザーあり) メモリモード : 18,000 回(5 秒に 1 回の読み取り、バイブレータ・オフ、ブザーあり) |
| 消費電流 | 90mA |
| USB | USB mini B コネクタ(メス) クラス:USB HID,USB バーチャル COM,マストレージ |
| 無線 | Bluetooth Version 2.1,Class1, 対応プロファイル : HID,iOS 用 HID, SPP(Slave,Master) 周波数帯域 2.4GHz,想定干渉距離 100m |
| LED 通知 | 3(緑: 読み取り、オレンジ:転送モード、赤:バッテリー通知、青:Bluetooth ワイヤレス通知) |
| ブザー通知 | あり (音量 4 段階またはブザー禁止に設定可能) |
| バイブレータ | あり (禁止に設定可能) |
| 温度 | 動作 : -10 °C~+40 °C、保管 : -40 °C~+70 °C |
| 湿度 | 10%-90%RH(結露なきこと) |
| 寸法 | (L x W x H) 89 x 40 x 17.5 mm |
| 重量 | 75g(内蔵バッテリー含む) |
| 認証 | FCC / CE / VCCI / RoHS 指令準拠,技術適合認証(無線モジュール P110) |
| 動作確認 OS | Windows 10,Windows8.1,Windows8,Windows7 (USB 接続) |

注意 バーコードの品質に影響を受ける為、すべての読み取りを保証するものではありません。

注意 GS1-128 はファームウェアバージョン 0001-0014 以上が AI にカッコを付ける機能があります。

注意 すべての機器との接続動作を保証するものではありません。

注意 Bluetooth Version 2.1 は 2017 年 3 月頃から出荷の製品です。以前の製品は Bluetooth Version 2.0 です。

第 13 章 出荷時の初期値一覧、コード ID 一覧

13-1 初期値の一覧

設定の初期値です。

初期値の一覧表

| モード | キーボード配列 | 初期値 | 参照章 |
|----------|---------|---------|------|
| ケーブル/メモリ | キーボード配列 | 英語キーボード | 15-3 |
| BT | キーボード配列 | 英語キーボード | 15-3 |

| モード | Caps Lock | 初期値 | 参照章 |
|----------|-----------|--------------|------|
| ケーブル/メモリ | Caps Lock | オート | 15-3 |
| BT | Caps Lock | Caps Lock オフ | 15-3 |

| モード | 数字データ | 初期値 | 参照章 |
|----------|-------|---------------|------|
| ケーブル/メモリ | 数字データ | フルキーとしてデータを転送 | 15-3 |
| BT | 数字データ | フルキーとしてデータを転送 | 15-3 |

| モード | ギャップ | 初期値 | 参照章 |
|----------|-------------|------------|------|
| ケーブル/メモリ | 桁間隔 | 0 (桁) | 15-3 |
| | 1文字間の転送時間 | 2 (1msec) | 15-3 |
| | 1レコード間の転送時間 | 0 (10msec) | 15-3 |
| BT | 桁間隔 | 0 (桁) | 15-3 |
| | 1文字間の転送時間 | 2 (1msec) | 15-3 |
| | 1レコード間の転送時間 | 0 (10msec) | 15-3 |

| スキャナのモード固定 | 初期値 | 参照章 |
|------------|-------------|------|
| スキャナのモード固定 | ケーブル+メモリ+BT | 15-4 |

| モード | 小ボタンの設定 | 初期値 | 参照章 |
|------|----------|-----|------|
| ケーブル | 転送モードに入る | 許可 | 15-5 |
| メモリ | 1件消去する | 許可 | 15-5 |
| BT | 転送モードに入る | 許可 | 15-5 |

| モード | 小ボタン長押し+大ボタンの設定 | 初期値 | 参照章 |
|------|-----------------|-----|------|
| ケーブル | 充電オン/オフ | 許可 | 15-5 |
| メモリ | すべて消去する | 許可 | 15-5 |
| BT | ペアリングモードに入る | 許可 | 15-5 |

初期値の一覧表(続き)

| モード | スキャナ本体の日時設定 | 初期値 | 参照 章 |
|-----|-------------|-------------------------------------|------|
| すべて | 日時の設定 | 2000-01-01 00:00:00 (開封時すすんでいる場合あり) | 15-6 |
| | 日付の区切文字 | - (設定値2D、ハイフン) | 15-6 |
| | 時刻の区切文字 | 許可 | 15-6 |

| モード | 日付の形式 | 初期値 | 参照 章 |
|-----|-------|----------|------|
| すべて | 日付の形式 | YYYYMMDD | 15-6 |

| モード | 時刻の形式 | 初期値 | 参照 章 |
|-----|-------|--------|------|
| すべて | 時刻の形式 | hhmmss | 15-6 |

| モード | 日時の転送 | 初期値 | 参照 章 |
|------|---------------|------------|------|
| ケーブル | 日付の転送 | 禁止 | 15-7 |
| | 時刻の転送 | 禁止 | 15-7 |
| | 日付と時刻の間のキャラクタ | SP (設定値20) | 15-7 |
| | デリミタの転送 | 禁止 | 15-7 |
| | デリミタのキャラクタ | SP (設定値20) | 15-7 |
| | 日時の位置 | データの直前 | 15-7 |
| メモリ | 日付の転送 | 禁止 | 15-7 |
| | 時刻の転送 | 禁止 | 15-7 |
| | 日付と時刻の間のキャラクタ | SP (設定値20) | 15-7 |
| | デリミタの転送 | 禁止 | 15-7 |
| | デリミタのキャラクタ | SP (設定値20) | 15-7 |
| | 日時の位置 | データの直前 | 15-7 |
| BT | 日付の転送 | 禁止 | 15-7 |
| | 時刻の転送 | 禁止 | 15-7 |
| | 日付と時刻の間のキャラクタ | SP (設定値20) | 15-7 |
| | デリミタの転送 | 禁止 | 15-7 |
| | デリミタのキャラクタ | SP (設定値20) | 15-7 |
| | 日時の位置 | データの直前 | 15-7 |

| モード | メモリモードの動作 | 初期値 | 参照 章 | |
|--------|------------|---------------|----------|------|
| メモリ | 転送タイプ | 標準動作 | 15-8 | |
| メモリ/BT | 蓄積データの転送単位 | すべて転送 | 15-8 | |
| | 蓄積データの自動消去 | 禁止 | 15-8 | |
| メモリ | ヘッダの転送 | 許可 | 15-8 | |
| | フッタの転送 | 許可 | 15-8 | |
| | ヘッダ内の文字の転送 | <Header>の転送 | 許可 | 15-8 |
| | | <Header>の文字設定 | <Header> | 15-8 |
| | | 日時の転送 | 許可 | 15-8 |
| | | レコード件数の転送 | 許可 | 15-8 |
| | フッタ内の文字の転送 | <Footer>の転送 | 許可 | 15-8 |
| | | <Footer>の文字設定 | <Header> | 15-8 |
| | | 日時の転送 | 禁止 | 15-8 |
| | | レコード件数の転送 | 禁止 | 15-8 |

初期値の一覧表(続き)

| モード | BTモードの動作 | 初期値 | 参照 章 | |
|-----|----------------|-----------------|-------------------------------------|------|
| BT | Bluetooth接続タイプ | Slave SPP | 15-9 | |
| | MACアドレス | Master 用 | 000000000000 | 15-9 |
| | | A-302 | 000000000000 | 15-9 |
| | PINコード | 1234 | 15-9 | |
| | 通信時間 | ペアリングの時間 | 90 (1sec) | 15-9 |
| | | Bluetooth 接続の時間 | 6 (10sec) ※ ファームウェアバージョン0001-0031以上 | 15-9 |

※ Bluetooth 接続の時間…ファームウェアバージョン 0001-0030 以下の初期値は 60 (1sec)です。8-13 参照

| モード | スキャンモード | 初期値 | 参照 章 |
|------|---------|--------|-------|
| ケーブル | スキャンモード | モーメンタリ | 15-10 |
| メモリ | スキャンモード | モーメンタリ | 15-10 |
| BT | スキャンモード | モーメンタリ | 15-10 |

| モード | エイマーの点灯時間 | 初期値 | 参照 章 |
|------|-----------|-----------|-------|
| ケーブル | エイマーの点灯時間 | 10 (1sec) | 15-10 |
| メモリ | エイマーの点灯時間 | 10 (1sec) | 15-10 |
| BT | エイマーの点灯時間 | 10 (1sec) | 15-10 |

| モード | 同一コードを読み取るまでの時間 | 初期値 | 参照 章 |
|-----|-----------------|-------------|-------|
| すべて | 同一コードを読み取るまでの時間 | 50 (10msec) | 15-10 |

| モード | エイマーの明るさ | 初期値 | 参照 章 |
|-----|----------|----------|-------|
| すべて | エイマーの明るさ | 10 (レベル) | 15-10 |

| モード | 2度読み防止 | 初期値 | 参照 章 |
|------|--------|-----|-------|
| ケーブル | 2度読み防止 | 禁止 | 15-11 |
| メモリ | 2度読み防止 | 禁止 | 15-11 |
| BT | 2度読み防止 | 禁止 | 15-11 |

| モード | 読み取り一致 | 初期値 | 参照 章 |
|------|----------|------|-------|
| ケーブル | 読み取り一致 | 禁止 | 15-11 |
| メモリ | 読み取り一致 | 禁止 | 15-11 |
| BT | 読み取り一致 | 禁止 | 15-11 |
| すべて | 読み取り一致回数 | 1(回) | 15-11 |

初期値の一覧表(続き)

| モード | ブザー オン/オフ | 初期値 | 参照 章 |
|------|-----------|-------------|-------|
| すべて | 警告 | 許可 | 15-11 |
| ケーブル | 読み取り | 許可 | 15-11 |
| | 警告 | 許可 | 15-11 |
| | 機能操作 | 許可 | 15-11 |
| | 音調 | 27 (100Hz) | 15-11 |
| | 鳴る長さ | 10 (10msec) | 15-11 |
| メモリ | 読み取り | 許可 | 15-11 |
| | 警告 | 許可 | 15-11 |
| | 機能操作 | 許可 | 15-11 |
| | 音調 | 27 (100Hz) | 15-11 |
| | 鳴る長さ | 10 (10msec) | 15-11 |
| BT | 読み取り | 許可 | 15-11 |
| | 警告 | 許可 | 15-11 |
| | 機能操作 | 許可 | 15-11 |
| | 音調 | 27 (100Hz) | 15-11 |
| | 鳴る長さ | 10 (10msec) | 15-11 |

| モード | ブザー 音量 | 初期値 | 参照 章 |
|------|--------|-----|-------|
| すべて | 警告 | 大 | 15-12 |
| ケーブル | 読み取り | 大 | 15-12 |
| | 警告 | 大 | 15-12 |
| | 機能操作 | 大 | 15-12 |
| メモリ | 読み取り | 大 | 15-12 |
| | 警告 | 大 | 15-12 |
| | 機能操作 | 大 | 15-12 |
| BT | 読み取り | 大 | 15-12 |
| | 警告 | 大 | 15-12 |
| | 機能操作 | 大 | 15-12 |

| モード | バイブレータ | 初期値 | 参照 章 |
|------|--------|------------|-------|
| すべて | 警告 | 禁止 | 15-13 |
| | 設定時 | 禁止 | 15-13 |
| ケーブル | 読み取り | 許可 | 15-13 |
| | 警告 | 許可 | 15-13 |
| | 機能操作 | 許可 | 15-13 |
| | バイブの長さ | 5 (10msec) | 15-13 |
| | | | |
| メモリ | 読み取り | 許可 | 15-13 |
| | 警告 | 許可 | 15-13 |
| | 機能操作 | 許可 | 15-13 |
| | バイブの長さ | 5 (10msec) | 15-13 |
| | | | |
| BT | 読み取り | 許可 | 15-13 |
| | 警告 | 許可 | 15-13 |
| | 機能操作 | 許可 | 15-13 |
| | バイブの長さ | 5 (10msec) | 15-13 |

初期値の一覧表(続き)

| モード | プリアンブル/プリフィックス/サフィックス/ポストアンブル | 初期値 | 参照 章 |
|------|-------------------------------|-------------------|-------|
| ケーブル | プリアンブルの転送 | 禁止 | 15-14 |
| | プリアンブル データ | (なし) | 15-14 |
| | プリフィックスの転送 | 禁止 | 15-14 |
| | プリフィックス データ | (なし) | 15-14 |
| | サフィックスの転送 | 禁止 | 15-14 |
| | サフィックス データ | (なし) | 15-14 |
| | ポストアンブルの転送 | 許可 | 15-14 |
| | ポストアンブル データ | CR LF (設定値 0D 0A) | 15-14 |
| メモリ | プリアンブルの転送 | 禁止 | 15-14 |
| | プリアンブル データ | (なし) | 15-14 |
| | プリフィックスの転送 | 禁止 | 15-14 |
| | プリフィックス データ | (なし) | 15-14 |
| | サフィックスの転送 | 禁止 | 15-14 |
| | サフィックス データ | (なし) | 15-14 |
| | ポストアンブルの転送 | 許可 | 15-14 |
| | ポストアンブル データ | CR LF (設定値 0D 0A) | 15-14 |
| BT | プリアンブルの転送 | 禁止 | 15-14 |
| | プリアンブル データ | (なし) | 15-14 |
| | プリフィックスの転送 | 禁止 | 15-14 |
| | プリフィックス データ | (なし) | 15-14 |
| | サフィックスの転送 | 禁止 | 15-14 |
| | サフィックス データ | (なし) | 15-14 |
| | ポストアンブルの転送 | 許可 | 15-14 |
| | ポストアンブル データ | CR LF (設定値 0D 0A) | 15-14 |

| モード | コードタイプ/コードID/桁数 | 初期値 | 参照 章 |
|------|-----------------|-------|-------|
| ケーブル | コードタイプの転送 | 禁止 | 15-15 |
| | コードIDの転送 | 禁止 | 15-15 |
| | コードIDの位置 | データの前 | 15-15 |
| | 桁数の転送 | 禁止 | 15-15 |
| メモリ | コードタイプの転送 | 禁止 | 15-15 |
| | コードIDの転送 | 禁止 | 15-15 |
| | コードIDの位置 | データの前 | 15-15 |
| | 桁数の転送 | 禁止 | 15-15 |
| BT | コードタイプの転送 | 禁止 | 15-15 |
| | コードIDの転送 | 禁止 | 15-15 |
| | コードIDの位置 | データの前 | 15-15 |
| | 桁数の転送 | 禁止 | 15-15 |

| モード | アルファベット大文字小文字の変換 | 初期値 | 参照 章 |
|------|------------------|-------|-------|
| ケーブル | アルファベット大文字小文字の変換 | 変換しない | 15-16 |
| メモリ | アルファベット大文字小文字の変換 | 変換しない | 15-16 |
| BT | アルファベット大文字小文字の変換 | 変換しない | 15-16 |

| モード | 制御文字の転送 | 初期値 | 参照 章 |
|------|---------|-----|-------|
| ケーブル | 制御文字の転送 | 禁止 | 15-16 |
| メモリ | 制御文字の転送 | 禁止 | 15-16 |
| BT | 制御文字の転送 | 禁止 | 15-16 |

初期値の一覧表(続き)

| バーコードの読み取り設定 | | 初期値 | 参照 章 | |
|----------------|--------------|------------|----------------|-------|
| UPC-A | 読み取り | 許可 | 15-17 | |
| | チェックデジット転送 | 許可 | 15-17 | |
| | アドオンの読み取り | 禁止 | 15-17 | |
| | アドオンの確認 | 禁止 | 15-17 | |
| | アドオンの確認回数 | 20 | 15-17 | |
| | 先頭から連続する0の削除 | 禁止 | 15-17 | |
| | データの削除 | 前方から削除 | 0 | 15-17 |
| | | 後方から削除 | 0 | 15-17 |
| | 挿入データの位置 | 挿入データ0の位置 | 0 | 15-17 |
| | | 挿入データ1の位置 | 0 | 15-17 |
| | 挿入データ | 挿入データ0 | (なし) | 15-17 |
| | | 挿入データ1 | (なし) | 15-17 |
| コードIDの文字 | A (設定値 41) | 15-17 | | |
| UPC-E | 読み取り | 許可 | 15-18 | |
| | チェックデジット転送 | 許可 | 15-18 | |
| | アドオンの読み取り | 禁止 | 15-18 | |
| | アドオンの確認 | 禁止 | 15-18 | |
| | アドオンの確認回数 | 20 | 15-18 | |
| | 13桁に変換 | 禁止 | 15-18 | |
| | 先頭から連続する0の削除 | 禁止 | 15-18 | |
| | データの削除 | 前方から削除 | 0 | 15-18 |
| | | 後方から削除 | 0 | 15-18 |
| | 挿入データの位置 | 挿入データ0の位置 | 0 | 15-18 |
| | | 挿入データ1の位置 | 0 | 15-18 |
| | 挿入データ | 挿入データ0 | (なし) | 15-18 |
| | | 挿入データ1 | (なし) | 15-18 |
| | コードID | コードID | E (設定値 45) | 15-18 |
| | | サブコードID | E (設定値 45) | 15-18 |
| EAN 13/ EAN 13 | 読み取り | 許可 | 15-19 | |
| | チェックデジット転送 | 許可 | 15-19 | |
| | アドオンの読み取り | 禁止 | 15-19 | |
| | アドオンの確認 | なし | 15-19 | |
| | アドオンの確認回数 | 20 | 15-19 | |
| | ISBN/ISSNに変換 | 禁止 | 15-19 | |
| | 先頭から連続する0の削除 | 禁止 | 15-19 | |
| | データの削除 | 前方から削除 | 0 | 15-19 |
| | | 後方から削除 | 0 | 15-19 |
| | 挿入データの位置 | 挿入データ0の位置 | 0 | 15-19 |
| | | 挿入データ1の位置 | 0 | 15-19 |
| | 挿入データ | 挿入データ0 | (なし) | 15-19 |
| 挿入データ1 | | (なし) | 15-19 | |
| コードID | コードID | F (設定値 46) | 15-19 | |
| | サブコードID | F (設定値 46) | 15-19 | |
| EAN 8/ EAN 8 | 読み取り | 許可 | 15-20 | |
| | チェックデジット転送 | 許可 | 15-20 | |
| | アドオンの読み取り | 禁止 | 15-20 | |
| | アドオンの確認 | 禁止 | 15-20 | |
| | アドオンの確認回数 | 20 | 15-20 | |
| | 13桁に変換 | 禁止 | 15-20 | |
| | 先頭から連続する0の削除 | 禁止 | 15-20 | |
| | データの削除 | 前方から削除 | 0 | 15-20 |
| | | 後方から削除 | 0 | 15-20 |
| | 挿入データの位置 | 挿入データ0の位置 | 0 | 15-20 |
| | | 挿入データ1の位置 | 0 | 15-20 |
| | 挿入データ | 挿入データ0 | (なし) | 15-20 |
| | | 挿入データ1 | (なし) | 15-20 |
| | コードID | コードID | FF (設定値 46 46) | 15-20 |
| | | サブコードID | FF (設定値 46 46) | 15-20 |

初期値の一覧表(続き)

| バーコードの読み取り設定 | | 初期値 | 参照 章 | |
|--------------------|--------------|------------|-------|-------|
| Code 39 | 読み取り | 許可 | 15-21 | |
| | スタート/ストップ転送 | 禁止 | 15-21 | |
| | チェックデジット確認 | 禁止 | 15-21 | |
| | チェックデジット転送 | 禁止 | 15-21 | |
| | Code 39の形式 | 標準 | 15-21 | |
| | 最小読取桁数 | 0 | 15-21 | |
| | 最大読取桁数 | 0 | 15-21 | |
| | 先頭から連続する0の削除 | 禁止 | 15-21 | |
| | データの削除 | 前方から削除 | 0 | 15-21 |
| | | 後方から削除 | 0 | 15-21 |
| | 挿入データの位置 | 挿入データ0の位置 | 0 | 15-21 |
| | | 挿入データ1の位置 | 0 | 15-21 |
| | 挿入データ | 挿入データ0 | (なし) | 15-21 |
| | | 挿入データ1 | (なし) | 15-21 |
| コードID | コードID | M (設定値 4D) | 15-21 | |
| | サブコードID | M (設定値 4D) | 15-21 | |
| Interleaved 2 of 5 | 読み取り | 禁止 | 15-22 | |
| | チェックデジット確認 | 禁止 | 15-22 | |
| | チェックデジット転送 | 禁止 | 15-22 | |
| | 最小読取桁数 | 0 | 15-22 | |
| | 最大読取桁数 | 0 | 15-22 | |
| | 先頭から連続する0の削除 | 禁止 | 15-22 | |
| | データの削除 | 前方から削除 | 0 | 15-22 |
| | | 後方から削除 | 0 | 15-22 |
| | 挿入データの位置 | 挿入データ0の位置 | 0 | 15-22 |
| | | 挿入データ1の位置 | 0 | 15-22 |
| | 挿入データ | 挿入データ0 | (なし) | 15-22 |
| | | 挿入データ1 | (なし) | 15-22 |
| | コードID | I (設定値 49) | 15-22 | |
| Industrial 2 of 5 | 読み取り | 禁止 | 15-23 | |
| | チェックデジット確認 | 禁止 | 15-23 | |
| | チェックデジット転送 | 禁止 | 15-23 | |
| | 最小読取桁数 | 0 | 15-23 | |
| | 最大読取桁数 | 0 | 15-23 | |
| | 先頭から連続する0の削除 | 禁止 | 15-23 | |
| | データの削除 | 前方から削除 | 0 | 15-23 |
| | | 後方から削除 | 0 | 15-23 |
| | 挿入データの位置 | 挿入データ0の位置 | 0 | 15-23 |
| | | 挿入データ1の位置 | 0 | 15-23 |
| | 挿入データ | 挿入データ0 | (なし) | 15-23 |
| | | 挿入データ1 | (なし) | 15-23 |
| | コードID | J (設定値 4A) | 15-23 | |
| Matrix 2 of 5 | 読み取り | 禁止 | 15-24 | |
| | チェックデジット確認 | 禁止 | 15-24 | |
| | チェックデジット転送 | 禁止 | 15-24 | |
| | 最小読取桁数 | 0 | 15-24 | |
| | 最大読取桁数 | 0 | 15-24 | |
| | 先頭から連続する0の削除 | 禁止 | 15-24 | |
| | データの削除 | 前方から削除 | 0 | 15-24 |
| | | 後方から削除 | 0 | 15-24 |
| | 挿入データの位置 | 挿入データ0の位置 | 0 | 15-24 |
| | | 挿入データ1の位置 | 0 | 15-24 |
| | 挿入データ | 挿入データ0 | (なし) | 15-24 |
| 挿入データ1 | | (なし) | 15-24 | |
| コードID | G (設定値 47) | 15-24 | | |

初期値の一覧表(続き)

| バーコードの読み取り設定 | | 初期値 | 参照 章 | |
|---------------|--------------------|-----------|---------------|-------|
| Codabar / NW7 | 読み取り | 許可 | 15-25 | |
| | スタート/ストップ転送 | 禁止 | 15-25 | |
| | スタート/ストップ転送形式 | ABCD/ABCD | 15-25 | |
| | スタート/ストップ同一確認 | 禁止 | 15-25 | |
| | チェックデジット確認 (MOD16) | 禁止 | 15-25 | |
| | チェックデジット転送 | 禁止 | 15-25 | |
| | 最小読取桁数 | 0 | 15-25 | |
| | 最大読取桁数 | 0 | 15-25 | |
| | 先頭から連続する0の削除 | 禁止 | 15-25 | |
| | データの削除 | 前方から削除 | 0 | 15-25 |
| | | 後方から削除 | 0 | 15-25 |
| | 挿入データの位置 | 挿入データ0の位置 | 0 | 15-25 |
| | | 挿入データ1の位置 | 0 | 15-25 |
| | 挿入データ | 挿入データ0 | (なし) | 15-25 |
| | | 挿入データ1 | (なし) | 15-25 |
| コードID | N (設定値 4E) | 15-25 | | |
| Code 128 | 読み取り | 許可 | 15-26 | |
| | 転送形式 | 標準 | 15-26 | |
| | 区切文字 | 区切FNC1変更 | <GS> (設定値 1D) | 15-26 |
| | | AIカッコ変更 | (((設定値 28) | 15-26 |
| | 最小読取桁数 | 0 | 15-26 | |
| | 最大読取桁数 | 0 | 15-26 | |
| | 先頭から連続する0の削除 | 禁止 | 15-26 | |
| | データの削除 | 前方から削除 | 0 | 15-26 |
| | | 後方から削除 | 0 | 15-26 |
| | 挿入データの位置 | 挿入データ0の位置 | 0 | 15-26 |
| | | 挿入データ1の位置 | 0 | 15-26 |
| | 挿入データ | 挿入データ0 | (なし) | 15-26 |
| | | 挿入データ1 | (なし) | 15-26 |
| | コードID | コードID | K (設定値 4B) | 15-26 |
| | | サブコードID | K (設定値 4B) | 15-26 |
| Code 93 | 読み取り | 禁止 | 15-27 | |
| | チェックデジット確認 | 2桁 | 15-27 | |
| | チェックデジット転送 | 禁止 | 15-27 | |
| | 最小読取桁数 | 0 | 15-27 | |
| | 最大読取桁数 | 0 | 15-27 | |
| | 先頭から連続する0の削除 | 禁止 | 15-27 | |
| | データの削除 | 前方から削除 | 0 | 15-27 |
| | | 後方から削除 | 0 | 15-27 |
| | 挿入データの位置 | 挿入データ0の位置 | 0 | 15-27 |
| | | 挿入データ1の位置 | 0 | 15-27 |
| | 挿入データ | 挿入データ0 | (なし) | 15-27 |
| | | 挿入データ1 | (なし) | 15-27 |
| コードID | L (設定値 4C) | 15-27 | | |
| Code 11 | 読み取り | 禁止 | 15-28 | |
| | チェックデジット確認 | 2桁 | 15-28 | |
| | チェックデジット転送 | 禁止 | 15-28 | |
| | 最小読取桁数 | 0 | 15-28 | |
| | 最大読取桁数 | 0 | 15-28 | |
| | 先頭から連続する0の削除 | 禁止 | 15-28 | |
| | データの削除 | 前方から削除 | 0 | 15-28 |
| | | 後方から削除 | 0 | 15-28 |
| | 挿入データの位置 | 挿入データ0の位置 | 0 | 15-28 |
| | | 挿入データ1の位置 | 0 | 15-28 |
| | 挿入データ | 挿入データ0 | (なし) | 15-28 |
| | | 挿入データ1 | (なし) | 15-28 |
| コードID | O (設定値 4F) | 15-28 | | |

初期値の一覧表(続き)

| バーコードの読み取り設定 | | 初期値 | 参照 章 | |
|--------------|--------------|-----------|-------|-------|
| MSI | 読み取り | 禁止 | 15-29 | |
| | チェックデジット確認 | Mod10 | 15-29 | |
| | チェックデジット転送 | 禁止 | 15-29 | |
| | 最小読取桁数 | 0 | 15-29 | |
| | 最大読取桁数 | 0 | 15-29 | |
| | 先頭から連続する0の削除 | 禁止 | 15-29 | |
| | データの削除 | 前方から削除 | 0 | 15-29 |
| | | 後方から削除 | 0 | 15-29 |
| | 挿入データの位置 | 挿入データ0の位置 | 0 | 15-29 |
| | | 挿入データ1の位置 | 0 | 15-29 |
| | 挿入データ | 挿入データ0 | (なし) | 15-29 |
| | | 挿入データ1 | (なし) | 15-29 |
| コードID | P (設定値 50) | 15-29 | | |
| Plessey | 読み取り | 禁止 | 15-30 | |
| | チェックデジット確認 | 禁止 | 15-30 | |
| | チェックデジット転送 | 禁止 | 15-30 | |
| | 最小読取桁数 | 0 | 15-30 | |
| | 最大読取桁数 | 0 | 15-30 | |
| | 先頭から連続する0の削除 | 禁止 | 15-30 | |
| | データの削除 | 前方から削除 | 0 | 15-30 |
| | | 後方から削除 | 0 | 15-30 |
| | 挿入データの位置 | 挿入データ0の位置 | 0 | 15-30 |
| | | 挿入データ1の位置 | 0 | 15-30 |
| | 挿入データ | 挿入データ0 | (なし) | 15-30 |
| | | 挿入データ1 | (なし) | 15-30 |
| コードID | R (設定値 52) | 15-30 | | |
| Telepen | 読み取り | 禁止 | 15-31 | |
| | 転送形式 | Numeric | 15-31 | |
| | チェックデジット確認 | 禁止 | 15-31 | |
| | チェックデジット転送 | 禁止 | 15-31 | |
| | 最小読取桁数 | 0 | 15-31 | |
| | 最大読取桁数 | 0 | 15-31 | |
| | 先頭から連続する0の削除 | 禁止 | 15-31 | |
| | データの削除 | 前方から削除 | 0 | 15-31 |
| | | 後方から削除 | 0 | 15-31 |
| | 挿入データの位置 | 挿入データ0の位置 | 0 | 15-31 |
| | | 挿入データ1の位置 | 0 | 15-31 |
| | 挿入データ | 挿入データ0 | (なし) | 15-31 |
| 挿入データ1 | | (なし) | 15-31 | |
| コードID | S (設定値 53) | 15-31 | | |

初期値の一覧表(続き)

| バーコードの読み取り設定 | | 初期値 | 参照 章 | |
|---|---------------|-----------|-------|-------|
| GS1 Databar Omnidirectional GS1データバー 標準型 | 読み取り | 禁止 | 15-32 | |
| | AIカッコ()転送 | 禁止 | 15-32 | |
| | AIM ID転送 | 禁止 | 15-32 | |
| | 最終桁の転送 ※ 欄外参照 | 禁止 | 15-32 | |
| | データの削除 | 前方から削除 | 0 | 15-32 |
| | | 後方から削除 | 0 | 15-32 |
| | 挿入データの位置 | 挿入データ0の位置 | 0 | 15-32 |
| | | 挿入データ1の位置 | 0 | 15-32 |
| | 挿入データ | 挿入データ0 | (なし) | 15-32 |
| | | 挿入データ1 | (なし) | 15-32 |
| コードID | T(設定値 54) | 15-32 | | |
| GS1 Databar Limited GS1データバー 限定型 | 読み取り | 禁止 | 15-33 | |
| | AIカッコ()転送 | 禁止 | 15-33 | |
| | AIM ID転送 | 禁止 | 15-33 | |
| | 最終桁の転送 ※ 欄外参照 | 禁止 | 15-33 | |
| | データの削除 | 前方から削除 | 0 | 15-33 |
| | | 後方から削除 | 0 | 15-33 |
| | 挿入データの位置 | 挿入データ0の位置 | 0 | 15-33 |
| | | 挿入データ1の位置 | 0 | 15-33 |
| | 挿入データ | 挿入データ0 | (なし) | 15-33 |
| | | 挿入データ1 | (なし) | 15-33 |
| コードID | U(設定値 55) | 15-33 | | |
| GS1 Databar Stacked GS1データバー 標準二層型 | 読み取り | 禁止 | 15-34 | |
| | AIカッコ()転送 | 禁止 | 15-34 | |
| | AIM ID転送 | 禁止 | 15-34 | |
| | 最終桁の転送 ※ 欄外参照 | 禁止 | 15-34 | |
| | データの削除 | 前方から削除 | 0 | 15-34 |
| | | 後方から削除 | 0 | 15-34 |
| | 挿入データの位置 | 挿入データ0の位置 | 0 | 15-34 |
| | | 挿入データ1の位置 | 0 | 15-34 |
| | 挿入データ | 挿入データ0 | (なし) | 15-34 |
| | | 挿入データ1 | (なし) | 15-34 |
| コードID | V(設定値 56) | 15-34 | | |

※ ファームウェア Ver 0001-0044 から GS1 Databar 各種の最終桁の転送の設定を廃止しました。初期値で最終桁を転送します。

初期値の一覧表(続き)

| バーコードの読み取り設定 | | 初期値 | 参照 章 | |
|---|------------|-----------|---------------|-------|
| GS1 Databar Expanded GS1データバー 拡張型 | 読み取り | 禁止 | 15-35 | |
| | AIカッコ()転送 | 禁止 | 15-35 | |
| | AIM ID転送 | 禁止 | 15-35 | |
| | 区切文字 | 区切FNC1変更 | <GS> (設定値 1D) | 15-35 |
| | | AIカッコ変更 | ((設定値 28) | 15-35 |
| | 最終桁の転送 | ※ 欄外参照 | 禁止 | 15-35 |
| | データの削除 | 前方から削除 | 0 | 15-35 |
| | | 後方から削除 | 0 | 15-35 |
| | 挿入データの位置 | 挿入データ0の位置 | 0 | 15-35 |
| | | 挿入データ1の位置 | 0 | 15-35 |
| | 挿入データ | 挿入データ0 | (なし) | 15-35 |
| | | 挿入データ1 | (なし) | 15-35 |
| コードID | W (設定値 57) | 15-35 | | |
| GS1 Databar Expanded Stacked GS1データバー 拡張多層型 | 読み取り | 禁止 | 15-36 | |
| | AIカッコ()転送 | 禁止 | 15-36 | |
| | AIM ID転送 | 禁止 | 15-36 | |
| | 区切文字 | 区切FNC1変更 | <GS> (設定値 1D) | 15-36 |
| | | AIカッコ変更 | ((設定値 28) | 15-36 |
| | 最終桁の転送 | ※ 欄外参照 | 禁止 | 15-36 |
| | データの削除 | 前方から削除 | 0 | 15-36 |
| | | 後方から削除 | 0 | 15-36 |
| | 挿入データの位置 | 挿入データ0の位置 | 0 | 15-36 |
| | | 挿入データ1の位置 | 0 | 15-36 |
| | 挿入データ | 挿入データ0 | (なし) | 15-36 |
| | | 挿入データ1 | (なし) | 15-36 |
| コードID | X (設定値 58) | 15-36 | | |

※ ファームウェア Ver 0001-0044 から GS1 Databar 各種の最終桁の転送の設定を廃止しました。初期値で最終桁を転送します。

13-2 コード ID 一覧

コード ID は初期値の一覧表にも表示しています。見やすくするためにまとめた表です。

コード ID 一覧表

| バーコードシンボル | コードID (ASCII) | コードIDの 設定値(HEX) | サブコードID (ASCII) | サブコードIDの 設定値(HEX) | GS1 AIM ID |
|---------------------------------|------------------|--------------------|--------------------|----------------------|------------|
| UPC-A | A | 41 | | | |
| UPC-E | E | 45 | E | 45 | |
| EAN 13 / JAN 13 | F | 46 | F | 46 | |
| EAN 8 / JAN 8 | FF | 46 46 | FF | 46 46 | |
| Code 39 | M | 4D | | | |
| Interleaved 2 of 5 | I | 49 | | | |
| Industrial 2 of 5 | H | 48 | | | |
| Matrix 2 of 5 | G | 47 | | | |
| Codabar / NW7 | N | 4E | | | |
| Code 128 | K | 4B | K | 4B | |
| Code 93 | L | 4C | | | |
| Code 11 | O | 4F | | | |
| MSI | P | 50 | | | |
| Plessey | R | 55 | | | |
| Telepen | S | 53 | | | |
| GS1 Databar | T | 54 | | | je0 |
| GS1 Databar Limited | U | 55 | | | je0 |
| GS1 Databar Stacked | V | 56 | | | je0 |
| GS1 Databar Expanded | W | 57 | | | je0 |
| GS1 Databar Expanded Stacked | X | 58 | | | je0 |

メモ 次の設定時、コード ID の代わりにサブコード ID を転送します。

- ・ UPC-E・・・「13桁に変換する」設定時
- ・ EAN13/JAN13・・・「ISBN/ISSN形式に変換する」設定時
- ・ EAN8/JAN8・・・「13桁に変換する」設定時
- ・ Code 128・・・転送形式を「UCC-128」設定時

メモ 本製品は一部のバーコードタイプに AIM ID を追加する設定があります。便宜上、説明書では GS1 AIM ID と呼びます。

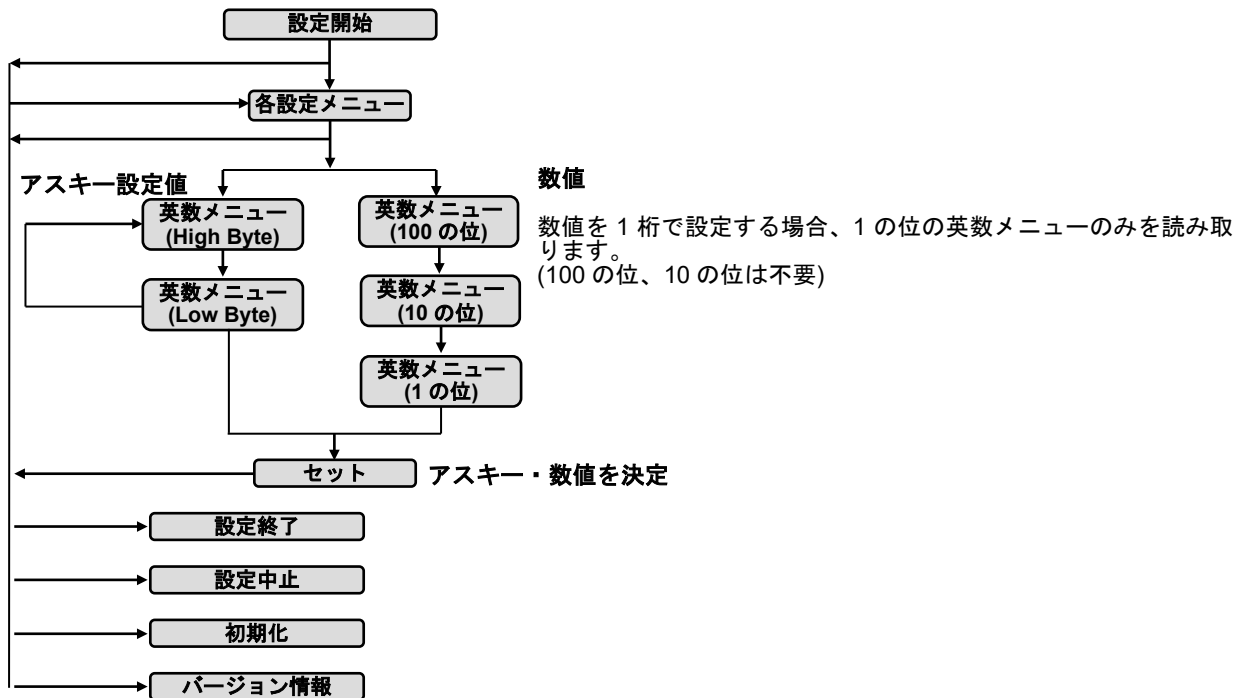
- ・ Code 128・・・転送形式を「UCC-128」に設定すると、GS1-128 を読み取ったときは読み取りデータの先頭に AIM ID の]C1 を追加します。第 15 章 15-26 を参照して下さい。
- ・ GS1 Databar 各種・・・「GS1 AIM ID 転送」の設定を許可に設定すると読み取りデータの先頭に AIM ID の]e0 を追加します。第 15 章 15-32～15-36 を参照して下さい。

第 14 章 設定の方法

14-1 設定について

本製品は第 15 章の設定メニュー(設定用バーコード)を読み取ると設定を変更することが出来ます。設定は本製品の不揮発性メモリに保存され、電源を切った後も保持されます。

14-2 設定フローチャート



14-3 設定の初期化

次の設定メニューを読み取って下さい。

設定開始 → 初期化

注意 初期化すると Bluetooth の設定も初期化されます。再度、ペアリングの設定をして下さい。ドングル付きセット品も専用 USB ドングルとのペアリングの設定が初期化されます。第 9 章 9-2 を参照し、設定して下さい。

注意 初期化するとバイブレータが許可(オン)になります。→第 15 章 15-13 参照

メモ Interleaved 2 of 5 は読み取り禁止に戻ります

14-4 基本的な設定

禁止(オフ)、許可(オン)、動作を選択する設定は、次の順で設定メニューを読み取って下さい。

設定開始 → 各設定 → 設定終了

ご案内 動作設定(ブザーなど)は、ケーブル、メモリ、BT のモードごとに設定します。メニュー表の「モード」を確認し、設定するモードの設定メニューを読み取って下さい。読取設定(コードタイプごとの設定)は、すべてのモード共通の設定です。

例 BT モードのすべての動作の音量を小にする

設定開始 → (ブザーの音量/BT)読み取り 小 → 警告 小 → 機能操作 小 → 設定終了

例 メモリモードのすべての動作のバイブレータをオフにする

設定開始 → (バイブレータ/メモリ)読み取り 禁止 → 警告 禁止 → 機能操作 禁止 → 設定終了

14-5 数値・桁数の設定

設定メニューの下か横に「→0~255(桁/0)」など数字の指示がある設定は次の順で読み取って下さい。「0~255」なら 0 から 255 の範囲で数字を設定します。カッコは設定値の「単位/初期値」です。(桁/0)なら桁を設定し、初期値は 0 桁の意味です。

英数メニューとセットは巻末にあります。

設定開始 → 各設定 → 英数メニュー 1~3 桁 → セット → 設定終了

例 BT モードのデータ転送の速度を遅くする

設定開始 → ギャップ BT 桁間隔 → 1 → セット → ギャップ 1 文字間の転送時間 → 1 → 5 → セット → 設定終了

注意 設定メニュー中に指示のある桁数の最大値は論理値です。実際にはスキャナが光学的に読み取りできる範囲で読み取ります。実際に読み取るバーコードの桁数などを確認して設定して下さい。

メモ 英数メニューとセットは巻末にあります

14-6 アスキーの設定（文字・キーの設定）

アスキー(ASCII)とは文字やキーを表す 2 桁の設定値です。メニュー表に「→アスキー(8 桁)」などアスキーの指示がある設定は、次の順で設定メニューを読み取って下さい。英数メニューは巻末にあります。

設定開始 → 各設定 → 英数メニュー → 英数メニュー → セット → 設定終了

アスキーの設定値

英数メニュー(巻末)2 つで 1 文字 (1 キー) を表します。

14-6-1 アスキーの設定値の求め方

例えば文字「A」の設定値を求める場合、アスキーコード表（巻末）から「A」を見つけます。A は行の見出し(High)が 4、列の見出し(Low)が 1 です。「A」の設定値は「41」となります。英数メニューは「4」「1」と 1 個ずつ読み取ります。

例 プリフィックスに「A (設定値 41)」を設定する

設定開始 → プリフィックスのデータ → 4 → 1 → セット → 設定終了

メモ プリフィックス、サフィックス、プリアンブル、ポストアンブルについては 13-7(次項)をお読み下さい。

14-6-2 複数のアスキー設定

設定メニューに「→アスキー(8 桁)」と指示がある場合、8 桁までアスキー（文字やキー）を設定できます。

複数の文字とキーを設定する場合、英数メニューでアスキーの設定値を連続して読み取ります。

例 プレフィックスに「AB1 (設定値 41 42 31)」を設定する

設定開始 → プリフィックスのデータ → 4 → 1 → 4 → 2 → 3 → 1 → セット → 設定終了

14-6-3 ファンクションキーの設定

アスキーコード表（巻末）の「00」から「1F」までの設定値はファンクションキーとして転送します。

例えば設定値「09」は Tab（タブ）、設定値「0D」は Enter（改行）となります。

例 読み取りデータの後に転送するキーを「Tab (設定値 09)」に設定する

設定開始 → ポストアンブルの転送 許可 → ポストアンブル データ 0 → 0 → 9 → セット → 設定終了

14-6-4 アスキーの消去

アスキーの設定値を「00」と設定すると、消去と同等になります。

または、初期化して初期値に戻して下さい。

メモ 英数メニューとセットは巻末にあります。

14-7 読み取りデータの前後に文字やキーを転送する設定

第 15 章 15-14 動作設定の「**プリアンブルのデータ**」、「**プリフィックスのデータ**」、「**サフィックスのデータ**」、「**ポストアンブルのデータ**」にアスキーを設定すると、すべての読み取りデータの前後に文字やキーを追加して転送します。

それぞれの設定は転送の「**許可**」と「**禁止**」の設定があります。「**禁止**」に設定すると転送しませんが、設定した文字やキーは保持されています。

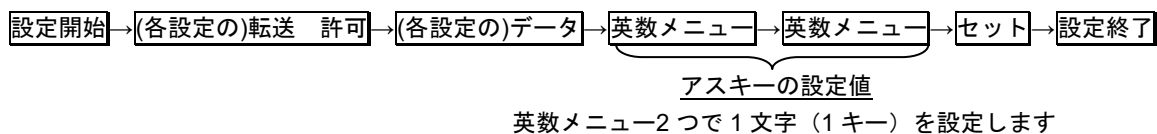
読み取りデータ転送形式

| プリアンブル | プリフィックス | バーコードタイプ | コード ID | 桁数 | 読取データ | (コード ID) | サフィックス | ポストアンブル |
|--------|---------|----------|--------|-----|-------|----------|--------|---------|
| 1-2 桁 | 1-8 桁 | 可変 | 1-2 桁 | 2 桁 | | 1-2 桁 | 1-8 桁 | 1-2 桁 |

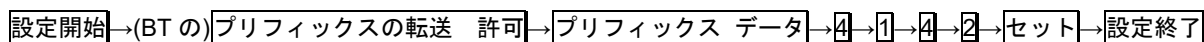
| | |
|----------------|---|
| プリアンブル | すべてのデータの前方に文字を追加する設定です。2 桁まで文字やキー設定できます。 |
| プリフィックス | プリアンブルの次に文字を追加する設定です。8 桁まで文字やキー設定できます。 |
| サフィックス | 読み取りデータの後に文字を追加する設定です。8 桁まで文字やキー設定できます。 |
| ポストアンブル | すべてのデータの後方に文字を追加する設定です。2 桁まで文字やキー設定できます。 出荷時は Enter (アスキーの CR LF 設定値 0D 0A) が設定されています。 USB HID では設定値 0D のみで Enter となります |

14-7-1 設定の方法

次の順で設定メニューを読み取って下さい。英数メニューとセットは巻末にあります。

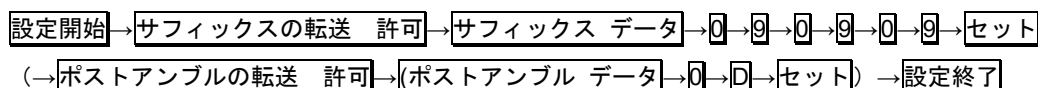


例 BT モードの読み取りデータの前に「A B(設定値 41 42)」を設定する



例 BT モードの読み取りデータの後に、Tab(設定値 09)を 3 回、Enter(設定値 0D)を 1 回転送する

※ () は、出荷時の初期値です。この例の場合、省略してかまいません。



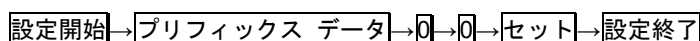
メモ アスキーの設定値については 13-6 アスキーの設定をお読み下さい

メモ 英数メニューとセットは巻末にあります

14-7-2 設定の消去

アスキーを 00 に設定して下さい。(または「**禁止**」を設定すると、転送しなくなります。)

例 プリフィックスに設定した文字を消去する



14-8 バーコードタイプ、コードID、桁数を転送する設定

第15章 15-15 動作設定に「**バーコードタイプ転送**」、「**コードID転送**」、「**桁数転送**」の設定があります。これらの設定を「**許可**」に設定するとすべての読み取りデータに情報を追加して転送します。

第15章 15-26 読取設定 Code 128 に「**転送形式**」を「**UCC-128**」に設定すると、GS1-128 の読取データの直前に GS1 AIM ID 「**JC1**」を追加します。第15章 15-32～15-36 読取設定 GS1 Databar(GS1 データバー)それぞれの「**GS1 AIM ID 転送**」の設定を「**許可**」に設定すると、GS1 データバーそれぞれの読取データの直前に GS1 AIM ID 「**Je0**」を追加します。又、GS1 AIM ID を追加する設定のときは区切り FNC1 を規定のキャラクタに置換して転送します。

データ転送形式

| プリアンブル | プレフィックス | コードタイプ | コードID | 桁数 | GS1 AIM ID | 読取データ | (コードID) | サフィックス | ポストアンブル |
|--------|---------|--------|-------|-----|------------|-------|---------|--------|---------|
| 1-8 桁 | 1-8 桁 | 可変 | 1-2 桁 | 4 桁 | 3 桁 | | 1-2 桁 | 1-8 桁 | 1-8 桁 |

メモ この図は概要です。日時も含めた完全なデータ転送形式は第4章 データ転送形式を参照して下さい。

| | |
|-------------------|---|
| バーコードタイプ | 読み取ったバーコードの種類です。 例 Code39 のデータ 1234→(Code-39)1234 と転送します。 |
| コードID | 読み取ったバーコードの種類を識別する 1 文字または 2 文字です。 コードID の位置は読み取りデータの前か後を設定できます。 コードID の一覧は第13章「13-2 コードID 一覧」をお読み下さい。 例 Code128 のデータ 12345→K12345 と転送します。 |
| 桁数 | 読み取ったバーコードの桁数です。2 桁で転送します。 例 6 桁のデータ 123456 の場合→06123456 と転送します。 |
| GS1 AIM ID | AIM ID は国際自動認識工業会が定めたバーコードの種類を識別する 3 文字です。本製品は GS1-128、GS1 データバー各種の読取データの直前に AIM ID を追加します。本製品では便宜上 GS1 AIM ID と呼びます。GS1-128 はJC1、GS1 データバー各種はJe0 が GS1 AIM ID です。 例 GS1 -128 のデータ 014512345678906→JC1014512345678906 と転送します。 |

コードIDの文字の設定変更

各コードタイプの「**コードIDの文字**」の設定で、コードIDの文字を変更できます。

例 Code39 のコードID を「Z (設定値 5A)」に設定する (初期値は M)

設定開始 → (Code39)コードIDの文字 → 5 → A → セット → 設定終了

メモ 英数メニューとセットは巻末にあります

14-9 1桁目から連続する0（ゼロ）を削除する設定

読取設定のコードタイプごと、「**1桁目から連続する0を削除**」の設定があります。「**許可**」に設定すると 1 桁目から連続する 0 を削除して、0 以外の数字・文字がある桁からデータを転送します。

例えば会員番号などのバーコードが前方（左側）を連続した 0 で埋めているとき、0 を削除して転送できます。

設定方法

次の順で設定メニューを読み取って下さい。

設定開始 → (1 桁目から連続する 0 を削除)許可 → 設定終了

例 NW7 の 1 桁目から連続する 0 を削除する

000056789010→56789010 と転送する。

設定開始 → (NW7)1 桁目から連続する 0 の削除 許可 → 設定終了

14-10 読み取りデータの前方と後方を削除する設定

読取設定のコードタイプごとに「データの削除 前方から削除」と「データの削除 後方から削除」の設定があります。設定すると読み取りデータの前方または後方からデータを削除します。

| | |
|--------|---------------------------|
| 前方から削除 | 1桁目から後方に向かって設定した桁数を削除します。 |
| 後方から削除 | 後方から前方に向かって設定した桁数を削除します。 |

設定方法

次の順で設定メニューを読み取って下さい。

設定開始 → 前方から削除(後方から削除) → 英数メニュー → セット → 設定終了

例 Code 39 の前方から3桁を削除する。1234567890→4567890 と転送する

設定開始 → (Code 39)データの削除 前方から削除 → 0 → 3 → セット → 設定終了

例 Code 39 の後方から4桁を削除する。1234567890→123456 と転送する

設定開始 → (Code 39)データの削除 後方から削除 → 0 → 4 → セット → 設定終了

元に戻す方法 (削除しない)

次の順で次の順で設定メニューを読み取って下さい。

設定開始 → 前方から削除(後方から削除) → 0 → 0 → セット → 設定終了

メモ 英数メニューとセットは巻末にあります

注意 「UPC-A」の「前方から削除」について

UPC-A(12桁のバーコード)のみ、「前方から削除」の初期値が「1」(1桁削除)になっています。UPC-Aの先頭桁を調整するときは、下記を参照して設定して下さい。

| UPC-Aに設定したいこと | 設定 |
|--------------------------------|--|
| 先頭に0を付けて13桁で転送する | <p><ファームウェアバージョン 0001-0023 以上> 通常はこちらを設定して下さい。 設定開始→EAN 13 / JAN 13 に強制変換→設定終了 <input checked="" type="checkbox"/> コードタイプとコードIDはEAN 13のものに変わります。</p> <p><すべてのファームウェアバージョン> 設定開始→前方から削除→0→セット→設定終了 <input checked="" type="checkbox"/> コードタイプとコードIDはUPC-Aのままです。</p> |
| UPC-Aをそのまま12桁で転送する (出荷時の状態) | 設定開始→前方から削除→1→セット→設定終了 |
| 先頭1桁を削除し11桁で転送する | 設定開始→前方から削除→2→セット→設定終了 |

14-11 読み取りデータに文字やキーを挿入する設定

読取設定のコードタイプごとにデータの挿入メニューがあります。

挿入は2箇所まで設定できます。挿入する桁の位置は「挿入データ0の位置」と「挿入データ1の位置」のメニューで設定します。

| | |
|------------------|--|
| 挿入データ0の位置 | 1 箇所目の挿入の桁位置を設定します。 桁を0に設定すると、バーコードの先頭に挿入データが付きます。1に設定すると、1桁目の後に挿入データが付きます。 |
| 挿入データ1の位置 | 2 箇所目の挿入の桁位置です。（桁の設定は上記と同様） |

挿入するデータは「挿入データ0」と「挿入データ1」のメニューで設定します。

| | |
|---------------|--|
| 挿入データ0 | 1 箇所目に挿入する文字・キーを設定します。 2 桁まで設定できます。 |
| 挿入データ1 | 2 箇所目に挿入する文字・キーを設定します。 2 桁まで設定できます。 |

挿入のイメージ図 1234567890 に挿入を設定する例

| | | | | |
|-----|--------------------|-----|--------------------|------|
| 123 | 挿入データ0の位置 →3を設定 | 456 | 挿入データ1の位置 →6を設定 | 7890 |
| | 挿入データ0 →Tabを設定 | | 挿入データ1 →ABを設定 | |

設定方法

設定メニューの読み取り方は下記の例を参照して下さい。

例 Code 39 の3桁目の後に Tab、6桁目の後に A を挿入する。

1234567890→123 Tab 456AB7890 と転送する。


設定開始

→(Code 39)挿入データ0の位置→3→セット
 →(Code 39)挿入データ0→0→9→セット
 →(Code 39)挿入データ1の位置→6→セット
 →(Code 39)挿入データ1→4→1→4→2→セット→設定終了




メモ 英数メニューとセットは巻末にあります

第 15 章 設定メニュー


15-1 初期化、設定中止、バージョン情報

| | | |
|---|------|-------------------------------|
|  | 設定開始 | このページのメニューは 設定終了が不要 です |
|---|------|-------------------------------|


システムメニュー

| モード | システムメニュー |
|----------------------|---|
| すべて (ケーブル/メモリ/BT) | 初期化  * Z A D E * |
| | 設定開始を読み取り、次に初期化を読み取ると、スキャナを工場出荷時の設定に戻します。 注意 Bluetooth の設定も初期化します。 ・ ドングル付きセット品はスキャナと専用 USB ドングルのペアリングが失われます。 →第 9 章 9-2 を参照し、専用 USB ドングルとスキャナをペアリングして下さい。 ・ タブレット、スマートフォンなどとスキャナのペアリングが失われます。 →タブレット、スマートフォンの Bluetooth 設定画面に残っている本製品(SmartBt)の表示を削除して下さい。第 9 章 9-3~9-7 を参照しペアリングして下さい。 注意 バイプレータが許可(オン)になります。→第 15 章 15-13 参照 |
| | 設定中止  * Z E X T * |
| | 設定メニューを読み間違ったときなどに読み取ると、設定を中止し、設定モードを終了します。 |
| | バージョン情報  * Z V E R * |
| | スキャナとパソコンを USB ケーブルで接続して下さい。パソコンのソフト (メモ帳など) を開いて下さい。設定開始を読み取り、次にバージョン情報を読み取って下さい。パソコンのソフト (メモ帳など) にスキャナのバージョン情報を転送します。 |

15-2 スキャナの操作

| | | |
|---|------|-------------------------------|
|  | 設定開始 | このページのメニューは 設定終了が不要 です |
|---|------|-------------------------------|



充電オン/オフ ケーブルをパソコンに接続してください。

| | | |
|------|---|--|
| モード | 充電オン/オフ | |
| ケーブル |  * Z C H G * | |
| | 充電中(充電オンのとき)にメニューを読むと充電オフになります。充電オフのときにメニューを読むと充電オンになります。 | |

モード切替 ケーブルを外してください。

| | | |
|-----|--|--|
| モード | メモリモードに切り替える | BTモードに切り替える |
| メモリ |  * Z T O M * |  * Z M O T * |
| BT | | |

蓄積データの転送/消去





| | | |
|------|--|---|
| モード | 蓄積データの転送モードに入る | 蓄積データを消去する |
| ケーブル |  * Z M T X * →次に、大ボタンを押す |  * Z F C A * |
| BT | | |
| | 読み取った後、大ボタンを押すと蓄積データを転送します。 (注) 読み取っただけでは転送しません。 | 読み取ると、蓄積データを消去します。 ヘッダの日時は消去した日時になります。 |

ペアリング ケーブルを外し、BTモードに切り替えて下さい。



| | | |
|-----|---|--|
| モード | ペアリングモードに入る | |
| BT |  * Z P A R * | |
| | 読み取ると、スキャナの青ランプが点滅し、Bluetooth ペアリングモードに入ります。 | |

追記 クイックメニュー（設定開始が不要）

注 ファームウェアが新しい場合、下記の4つのメニューを使えます。設定開始メニューが不要で、直接読むと動作します。上記の従来のメニュー（設定開始→～モードに切り替え）も使えます。

| | |
|--|---|
| メモリモードへ切替  ファームウェアバージョン 0001-0024 以上が対応 | BTモードへ切替  ファームウェアバージョン 0001-0024 以上が対応 |
| 転送モードに入る  ファームウェアバージョン 0001-0012 以上が対応 (読み取り後、大ボタンを押すと転送します。 USB または Bluetooth 接続中のみ有効です) | 消去  ファームウェアバージョン 0001-0012 以上が対応 (蓄積データをすべて消去します) |

15-3 動作設定 キーボード設定




| | | | |
|---|------|------|---|
|  | 設定開始 | 設定終了 |  |
|---|------|------|---|

* 印は出荷時設定

キーボード配列 転送データの記号文字が正しくない場合は「日本キーボード」を設定して下さい。

| モード | 英語キーボード | 日本キーボード |
|------|---|--|
| ケーブル | *  * A B 1 C 0 * |  * A B 1 C 2 * |
| メモリ | | |
| BT | *  * A F 1 C 0 * |  * A F 1 C 2 * |







Caps Lock

| モード | オート | Caps Lock オフ | Caps Lock オン | Alt+テンキー |
|------|---|---|---|--|
| ケーブル | *  * A B 0 A 0 * |  * A B 0 A 1 * |  * A B 0 A 2 * |  * A B 0 A 3 * |
| メモリ | | | | |
| BT | (なし) | *  * A F 0 A 1 * |  * A F 0 A 2 * |  * A F 0 A 3 * |

数字データ

| モード | フルキーとして数字データを転送 | テンキーとして数字データを転送 |
|------|---|--|
| ケーブル | *  * A B 0 6 0 * |  * A B 0 6 1 * |
| メモリ | | |
| BT | *  * A F 0 6 0 * |  * A F 0 6 1 * |

ギャップ 文字抜けが発生するときに設定して下さい。設定するときは桁間隔 1 に設定し、1 文字間の転送時間を 10 などに設定して下さい。

| モード | 桁間隔 | 1 文字間の転送時間 | 1 レコード間の転送時間 |
|------------------|--|---|--|
| ケーブル |  * A B D E 0 * |  * A B E E 0 * |  * A B F E 0 * |
| メモリ | →0-255(桁ごと/0)→セット→設定 終了 | →0-255(1ms/2)→セット→設定終 了 | →0-255(10ms/0)→セット→設定 終了 |
| BT (※iOS、HID) |  * A F D E 0 * |  * A F E E 0 * |  * A F F E 0 * |
| | →0-255(桁ごと/0)→セット→設定 終了 | →0-255(1ms/2)→セット→設定終 了 | →0-255(10ms/0)→セット→設定 終了 |

15-4 動作設定 モード固定





* 印は出荷時設定

スキャナのモード選択 設定すると、そのモードでのみ動作します。

| モード | モードの選択 |
|-------------|--|
| ケーブル+メモリ+BT | *  * A 4 0 C 6 * |
| ケーブル |  * A 4 0 C 0 * |
| メモリ |  * A 4 0 C 1 * |
| ケーブル+メモリ |  * A 4 0 C 2 * |
| BT |  * A 4 0 C 3 * |
| ケーブル+BT |  * A 4 0 C 4 * |
| メモリ+BT |  * A 4 0 C 5 * |

15-5 動作設定 ボタンの設定

| | | | |
|---|------|------|---|
|  | 設定開始 | 設定終了 |  |
|---|------|------|---|

* 印は出荷時設定



小ボタンの設定

| モード | 設定 | 禁止 | 許可 |
|------|--------------------|--|---|
| ケーブル | 蓄積データの 転送モードに入る |  * B 8 2 9 0 * | *  * B 8 2 9 2 * |
| | | 転送モードに入らない。 | 長押しすると転送モードに入る。 (ブザー3回→まだ長押し→ブザー1回→ボタンをはなす) 備考：転送モードになってから大ボタンを押すと転送する。 |
| メモリ | 蓄積データを 1件消去する |  * B E 2 8 0 * | *  * B E 2 9 3 * |
| | | 1件消去しない。(エイマー点灯しない) | 読み間違ったときなどに、小ボタンを押してそのバーコードを読むと蓄積データから1件消去する。 |
| BT | 蓄積データの 転送モードに入る |  * C 4 2 9 0 * | *  * C 4 2 9 3 * |
| | | 転送モードに入らない。 | 長押しすると転送モードに入る。 (ブザー3回→まだ長押し→ブザー1回→ボタンをはなす) 備考：転送モードになってから大ボタンを押すと転送する。 |

小ボタン長押し+大ボタンの設定

| モード | 設定 | 禁止 | 許可 |
|------|-------------------|--|---|
| ケーブル | 充電オン/オフ |  * B 8 2 8 0 * | *  * B 8 2 8 1 * |
| | | 充電オン/オフしない。 | 充電オン/オフする。 ケーブルモードが使えるときのみ有効です。 |
| メモリ | 蓄積データを すべて消去する |  * B E 2 8 0 * | *  * B E 2 8 1 * |
| | | 消去しない。 | 小ボタンを長押しする。オレンジのランプが高速点滅したら、小ボタンを押したまま大ボタンを押す。→蓄積データをすべて消去する。 |
| BT | ペアリングモード に入る |  * C 4 2 8 0 * | *  * C 4 2 8 1 * |
| | | ペアリングモードに入らない。 備考：ボタンではペアリングモードに入りませんが、設定メニューの読み取りでペアリングモードに入ることができます。 | ペアリングモードに入る。 |

15-6 動作設定 スキャナ本体の日時設定

| | |
|--|--|
|  設定開始 | 設定終了  |
|--|--|

* 印は出荷時設定

日時の設定 スキャナ本体の日時合わせの設定。

| モード | 日時の設定 | 日付の区切文字 | 時刻の区切文字 |
|----------------------|--|--|--|
| すべて (ケーブル/メモリ/BT) |  * Z C L K * →数値 12 桁→セット |  * A 5 6 E 2 * →アスキー1 桁 (-)→セット→設定終了 |  * A 5 7 E 2 * →アスキー1 桁 (:)→セット→設定終了 |
| 出荷時の設定 | 2000-01-01 00:00:00 | -(ハイフン、設定値 2D) | :(コロン、設定値 3A) |
| 備考 | 2019-03-18 10:30:57 に設定するなら、次にメニューを 190318103057、セットを読む(設定終了は不要) | /(スラッシュ)に設定するなら、次にメニューを 2、F、セット、設定終了と読む | :が+で表示される場合、キーボード配列(第 14 章 14-3)を接続機器に合わせて設定して下さい。 |



日付の形式 Y(年)、M(月)、D(日)の形式。YMD の間は日付の区切文字-(ハイフン、出荷時設定)が付きます

| モード | 形式 | | |
|----------------------|--|---|--|
| すべて (ケーブル/メモリ/BT) | * YYYYMMDD  * A 4 2 C 0 * | MMDDYYYY  * A 4 2 C 1 * | DDMMYYYY  * A 4 2 C 2 * |
| | MMDDYY  * A 4 2 C 3 * | DDMMYY  * A 4 2 C 4 * | |

時刻の形式 h(時)、m(分)、s(秒)の形式。hms の間は時刻の区切文字:(コロン、出荷時設定)が付きます































| モード | 形式 | | |
|----------------------|--|---|--|
| すべて (ケーブル/メモリ/BT) | * hhmmss  * A 4 2 A 0 * | hhmm  * A 4 2 A 1 * | mmss  * A 4 2 A 2 * |

15-7 動作設定 日時の転送設定

| | | | |
|---|------|------|---|
|  | 設定開始 | 設定終了 |  |
|---|------|------|---|

* 印は出荷時設定

日時の転送 許可に設定すると読み取り日時（タイムスタンプ）を読み取りデータとともに転送します。



| モード | 設定 | 禁止 | 許可 | オプション | |
|------|-------------------------------|---|---|---|------------------------------|
| ケーブル | 日付の転送 | *  * B A 1 3 0 * |  * B A 1 3 1 * | | |
| | 時刻の転送 | *  * B A 1 4 0 * |  * B A 1 4 1 * | 日付と時刻の間のキャラクタ  * B A A E 2 * | →アスキー1桁 (SP)→セット→ 設定終了 |
| | デリミタの転送 日時とデータの間の キャラクタ | *  * B A 1 1 0 * |  * B A 1 1 1 * | デリミタのキャラクタ  * B A B E 2 * | →アスキー1桁 (SP)→セット→ 設定終了 |
| | 日時の位置 データの前か後 | * 前  * B A 1 2 0 * | 後  * B A 1 2 1 * | | |
| メモリ | 日付の転送 | *  * C 0 1 3 0 * |  * C 0 1 3 1 * | | |
| | 時刻の転送 | *  * C 0 1 4 0 * |  * C 0 1 4 1 * | 日付と時刻の間のキャラクタ  * C 0 A E 2 * | →アスキー1桁 (SP)→セット→ 設定終了 |
| | デリミタの転送 日時とデータの間の キャラクタ | *  * C 0 1 1 0 * |  * C 0 1 1 1 * | デリミタのキャラクタ  * C 0 B E 2 * | →アスキー1桁 (SP)→セット→ 設定終了 |
| | 日時の位置 データの前か後 | * 前  * C 0 1 2 0 * | 後  * C 0 1 2 1 * | | |
| BT | 日付の転送 | *  * C 6 1 3 0 * |  * C 6 1 3 1 * | | |
| | 時刻の転送 | *  * C 6 1 4 0 * |  * C 6 1 4 1 * | 日付と時刻の間のキャラクタ  * C 6 A E 2 * | →アスキー1桁 (SP)→セット→ 設定終了 |
| | デリミタの転送 日時とデータの間の キャラクタ | *  * C 6 1 1 0 * |  * C 6 1 1 1 * | デリミタのキャラクタ  * C 6 B E 2 * | →アスキー1桁 (SP)→セット→ 設定終了 |
| | 日時の位置 データの前か後 | * 前  * C 6 1 2 0 * | 後  * C 6 1 2 1 * | | |

読み取りデータ形式

| 日付(読み取り日付) | 日付と時刻の間 | 時刻(読み取り時刻) | デリミタ | 読み取りデータ | ポストアンブル |
|------------|--------------|------------|--------------|----------|---------------|
| YYYY-MM-DD | SP (スペース) | hh:mm:ss | SP (スペース) | バーコードデータ | CR,LF (改行) |



メモ この図は概要です。他の付加情報を含めた完全なデータ転送形式は第4章 データ転送形式を参照して下さい。

15-8 動作設定 メモリモードの動作



| | | | |
|---|------|------|---|
|  | 設定開始 | 設定終了 |  |
|---|------|------|---|

* 印は出荷時設定

メモリモードの転送タイプ

| モード | 標準動作 | マストレージ |
|-----|---|--|
| メモリ | *  * B E 1 D 0 * |  * B E 1 D 4 * |
| | 蓄積データをキーボードキャラクタとして転送します。 | スキャナをパソコンに USB 接続すると、USB メモリのように認識します。蓄積データはテキストファイルとなります。 (注)マストレージは USB 接続時のみ使用できます。 |



蓄積データの転送単位 「転送モード 標準」設定時のオプション設定

| モード | すべて転送 | 1 件ずつ転送 |
|-----|---|--|
| メモリ | *  * B E 7 C 0 * |  * B E 7 C 1 * |
| BT | 転送モードになった後、大ボタンを押すとすべての蓄積データを転送します。 | 転送モードになった後、大ボタンを押すたびに蓄積データを 1 件ずつ転送します。 |

蓄積データの自動消去 「転送モード 標準」設定時のオプション設定

| モード | 禁止 | 許可 |
|-----|---|--|
| メモリ | *  * B E 7 A 0 * |  * B E 7 A 1 * |
| BT | 蓄積データを転送した後も、蓄積データはスキャナに残ります。 | 蓄積データを転送した後、すべての蓄積データをスキャナから消去します。 |

15-8 動作設定 メモリモードの動作（続き）

| | |
|--|--|
|  設定開始 | 設定終了  |
|--|--|

* 印は出荷時設定

ヘッダ/フッタの転送 ヘッダ/フッタはメモリモードが「標準モード」のみの設定です。マストレージには付きません。

| モード | 設定 | 禁止(オフ) | 許可(オン) | オプション |
|-----|--------|--|---|---|
| メモリ | ヘッダの転送 |  * B E 7 6 0 * | *  * B E 7 6 1 * | 禁止(オフ)に設定すると、ヘッダ内、フッタ内の文字をすべて転送しなくなります。 |
| | フッタの転送 |  * B E 7 7 0 * | *  * B E 7 7 1 * | |

ヘッダ内の文字の転送 ヘッダ内の文字を個別にオンオフします。転送するには上記の「ヘッダの転送」を許可にしてください。

| モード | 設定 | 禁止(オフ) | 許可(オン) | オプション | |
|-----|--------------|---|--|---|---------------------------------|
| メモリ | <Header> の転送 |  * A 4 6 0 0 * | *  * A 4 6 0 1 * | <Header>の文字変更  * A 7 0 E 6 * | →アスキー12桁 (<Header>)→セット→設定終了 |
| | 日時の転送(注) |  * A 4 6 2 0 * | *  * A 4 6 2 1 * | | |
| | レコード件数の転送 |  * A 4 6 3 0 * | *  * A 4 6 3 1 * | | |

フッタ内の文字の転送 フッタ内の文字を個別にオンオフします。転送するには上記の「フッタの転送」を許可にしてください。



| モード | 設定 | 禁止(オフ) | 許可(オン) | オプション | |
|-----|-------------|---|---|---|---------------------------------|
| メモリ | <Footer>の転送 |  * A 4 7 0 0 * | *  * A 4 7 0 1 * | <Footer>の文字変更  * A 6 0 E 6 * | →アスキー12桁 (<Footer>)→セット→設定終了 |
| | 日時の転送(注) | *  * A 7 6 2 0 * | *  * A 4 7 2 1 * | | |
| | レコード件数の転送 | *  * A 4 7 3 0 * | *  * A 4 7 3 1 * | | |

ヘッダ/フッタ内の文字の形式

| ヘッダの文字 (フッタの文字) | 区切文字 | 日付 時刻(蓄積データの消去日時) | 区切文字 | レコード件数 | ポストアンブル |
|------------------------|------|------------------------|------|--------|---------------|
| <Header> (<Footer>) | SP | YYYY-MM-DD SP hh:mm:ss | SP | nnnnnn | CR,LF (改行) |

メモ ヘッダ/フッタ内の SP (スペース) は固定で、変更できません。区切文字の前後の文字を転送しない場合、SP を転送しません。

15-9 動作設定 BT モードの動作

| | | | |
|---|------|------|---|
|  | 設定開始 | 設定終了 |  |
|---|------|------|---|

* 印は出荷時設定

Bluetooth 接続タイプ

| モード | Bluetooth 接続タイプ | |
|-----|---|---|
| BT | * Slave (SPP)  * C 4 1 D 1 * | HID  * C 4 1 D 3 * |
| | Master (SPP)  * C 4 1 D 2 * | iOS (HID)  * C 4 1 D 4 * |
| | A-302(専用 USB ドングル)  * C 4 1 D 6 * | |



MAC アドレス Bluetooth 機器側(PC やドングル)の Bluetooth アドレスを、スキャナに設定します

| モード | Master(SPP)用 MAC アドレス | A-302 専用ドングル用 MAC アドレス |
|-----|--|--|
| BT |  * B 0 8 F E * |  * B 2 8 F E * |
| | →0-F,12桁(000000000000)→セット→設定終了 (注) HID,iOS には使わない設定です。 | →0-F,12桁(000000000000)→セット→設定終了 専用ドングルの 12 文字を設定します。 |

Slave/Master 用 PIN コード

| モード | PIN コード |
|-----|---|
| BT |  * B 0 0 E 9 * |
| | →アスキー8文字(1234)→セット→設定終了 (注) HID,iOS,専用ドングルには使わない設定です。 |

通信時間



| モード | ペアリングの時間 | Bluetooth 接続の時間 |
|-----|--|--|
| BT |  * C 5 7 E 0 * |  * C 5 F E 0 * |
| | →30-255(1sec/90)→セット→設定終了 初期値は 90 秒。時間が過ぎるとペアリングモードを終了します。 | →1-255(10sec/6)→セット→設定終了 初期値は 60 秒(設定値 6)。時間が過ぎるとワイヤレス通信を切断します。 ※ ファームウェアバージョン 0001-0031 以上の説明です |

※ ファームウェアバージョン 0001-0030 以下の「範囲(単位/初期値)」は「10-255(1sec/60)」 8-13 参照

スキャナの表示名

| モード | スキャナの表示名 |
|-----|---|
| BT |  * B 1 4 E 6 * |
| | →アスキー12文字(SmartBt)→セット→設定終了 初期値は SmartBt。ペアリング時、デバイスが発見するスキャナの名前です。 |

15-10 動作設定 スキャニング

| | |
|--|--|
|  設定開始 | 設定終了  |
|--|--|

* 印は出荷時設定

スキャンモード エイマー(読み取り光)の点灯方法です。


| モード | グッドリードオフ ボタン離しても5秒点灯 読むと消灯 | モーメンタリ ボタン押す間のみ点灯 読むと消灯 | 連続点灯 ボタンを離しても点灯 読んでも点灯 (注) | トグル ボタンで点灯消灯を切替 読むと消灯 |
|------|--|---|--|--|
| ケーブル |  * B 8 0 8 0 * | *  * B 8 0 8 1 * |  * B 8 0 8 2 * |  * B 8 0 8 3 * |
| メモリ |  * B E 0 8 0 * | *  * B E 0 8 1 * |  * B E 0 8 2 * |  * B E 0 8 3 * |
| BT |  * C 4 0 8 0 * | *  * C 4 0 8 1 * |  * C 4 0 8 2 * |  * C 4 0 8 3 * |

(注) 連続点灯でも、エイマーの点灯時間が経過すると消灯します

エイマーの点灯時間 エイマー(読み取り光)の点灯時間です

| モード | エイマーの点灯時間 |
|------|---|
| ケーブル |  * B 9 D E 0 * →5-255(1sec/10)→セット→設定終了 |
| メモリ |  * B F D E 0 * →5-255(1sec/10)→セット→設定終了 |
| BT |  * C 5 D E 0 * →5-255(1sec/10)→セット→設定終了 |



同一コードを読み取るまでの時間 スキャンモードが連続点灯時の設定です。

| モード | 同一コードを読み取るまでの時間 |
|----------------------|---|
| すべて (ケーブル/メモリ/BT) |  * A 5 A E 0 * →0-255(10msec/50)→セット→設定終了 |

エイマーの明るさ エイマー(読み取り光)の明るさです


| モード | エイマーの明るさ |
|----------------------|---|
| すべて (ケーブル/メモリ/BT) |  * A 4 E E 0 * →1-10(レベル/10)→セット→設定終了 |

15-10 動作設定 スキャニング (続き)

| | | |
|---|------|---|
|  | 設定開始 |  |
|---|------|---|

* 印は出荷時設定



2度読み防止

| モード | 禁止 | 許可 |
|------|---|---|
| ケーブル | *  * B A 2 0 0 * |  * B A 2 0 1 * ----- スキャンモードが連続点灯時、他のコードを読むか、消灯するまで同一コードを読まない |
| | *  * C 0 2 0 0 * |  * C 0 2 0 1 * ----- 同一コードは読まない |
| メモリ | *  * C 0 2 0 0 * |  * C 0 2 0 1 * ----- 同一コードは読まない |
| | *  * C 6 2 0 0 * |  * C 6 2 0 1 * ----- スキャンモードが連続点灯時、他のコードを読むか、消灯するまで同一コードを読まない |
| BT | *  * C 6 2 0 0 * |  * C 6 2 0 1 * ----- スキャンモードが連続点灯時、他のコードを読むか、消灯するまで同一コードを読まない |

読み取り一致 読み取りデータの正確さを向上します

| モード | 禁止 | 許可 | オプション |
|------|---|---|---|
| ケーブル | *  * B A 2 1 0 * |  * B A 2 1 1 * | 読み取り一致回数  * A 5 9 E 0 * ----- →1-10(回/1)→セット→設定終了 |
| メモリ | *  * C 0 2 1 0 * |  * C 0 2 1 1 * | |
| BT | *  * C 6 2 1 0 * |  * C 6 2 1 1 * | |

15-11 動作設定 ブザー オン/オフ



























| | |
|--|--|
|  設定開始 | 設定終了  |
|--|--|

* 印は出荷時設定

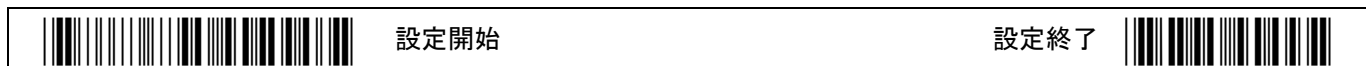
ブザーの禁止（オフ）と許可（オン）

メモ ブザーをオフにするには「オフ」の列を上から順に全部読み取って下さい。

※音量の設定は本書 15-12 にあります。

| モード | 設定 | 禁止(オフ) | 許可(オン) | オプション | |
|------|-----------------------------------|--|--|--|---------------------------------------|
| すべて | 警告 USB 抜き差し、 メモリに切替、他 |  * A 4 5 4 0 * |  * A 4 5 4 1 * | (なし) | |
| ケーブル | 読み取り |  * B 8 5 0 0 * |  * B 8 5 0 1 * | 音調  * B 9 8 E 0 * | →0-255 (100Hz/27) →セット→設定 終了 |
| | 警告 メモリ転送でボタ ン離した後の音 |  * B 8 5 1 0 * |  * B 8 5 1 1 * | 鳴る長さ  * B 9 9 E 0 * | →0-255 (10ms/10) →セット→設定 終了 |
| | 機能操作 メモリ転送で小ボ タン長押し時の音 |  * B 8 5 2 0 * |  * B 8 5 2 1 * | | |
| メモリ | 読み取り |  * B E 5 0 0 * |  * B E 5 0 1 * | 音調  * B F 8 E 0 * | →0-255 (100Hz/27) →セット→設定 終了 |
| | 警告 メモリ転送でボタ ン離した後の音 |  * B E 5 1 0 * |  * B E 5 1 1 * | 鳴る長さ  * B F 9 E 0 * | →0-255 (10ms/10) →セット→設定 終了 |
| | 機能操作 メモリ転送で小ボ タン長押し時の音 |  * B E 5 2 0 * |  * B E 5 2 1 * | | |
| BT | 読み取り |  * C 4 5 0 0 * |  * C 4 5 0 1 * | 音調  * C 5 8 E 0 * | →0-255 (100Hz/27) →セット→設定 終了 |
| | 警告 通信確立、エラー、 ペアリング開始の 音 |  * C 4 5 1 0 * |  * C 4 5 1 1 * | 鳴る長さ  * C 5 9 E 0 * | →0-255 (10ms/10) →セット→設定 終了 |
| | 機能操作 小ボタン長押しで ペアリングに入る 音 |  * C 4 5 2 0 * |  * C 4 5 2 1 * | | |

15-12 動作設定 ブザー 音量



* 印は出荷時設定

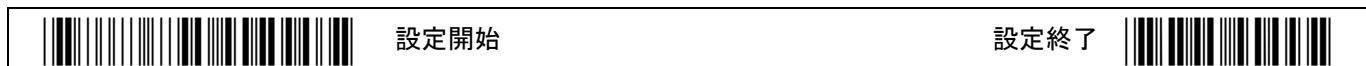
ブザーの音量

メモ 音量を小さくするには「小」の列を上から順に全部読み取って下さい。

ブザー オン/オフの設定は本書 15-11 にあります。※ブザーがオンになっていないと音が鳴りません

| モード | 設定 | 小 | 中 | 大 | 最大 |
|--------------------------|---------------------|---------------|---------------|---------------|--------------------|
| すべて (ケーブル/ メモリ/BT) | 警告 | * A 4 5 8 0 * | * A 4 5 8 1 * | * A 4 5 8 2 * | * * A 4 5 8 3 * |
| | USB 抜き差し、メモリに切替、他 | | | | |
| | 読み取り | * B 8 4 8 0 * | * B 8 4 8 1 * | * B 8 4 8 2 * | * * B 8 4 8 3 * |
| ケーブル | 警告 | * B 8 4 9 0 * | * B 8 4 9 1 * | * B 8 4 9 2 * | * * B 8 4 9 3 * |
| | メモリ転送でボタン離した後の音量 | | | | |
| | 機能操作 | * B 8 4 A 0 * | * B 8 4 A 1 * | * B 8 4 A 2 * | * * B 8 4 A 3 * |
| メモリ | 読み取り | * B E 4 8 0 * | * B E 4 8 1 * | * B E 4 8 2 * | * * B E 4 8 3 * |
| | 警告 | * B E 4 9 0 * | * B E 4 9 1 * | * B E 4 9 2 * | * * B E 4 9 3 * |
| | 2度読み防止で同一コード読み取り時、他 | | | | |
| BT | 機能操作 | * B E 4 A 0 * | * B E 4 A 1 * | * B E 4 A 2 * | * * B E 4 A 3 * |
| | 大ボタン長押しでBTに切り替わる音量 | | | | |
| | 読み取り | * C 4 4 8 0 * | * C 4 4 8 1 * | * C 4 4 8 2 * | * * C 4 4 8 3 * |
| BT | 警告 | * C 4 4 9 0 * | * C 4 4 9 1 * | * C 4 4 9 2 * | * * C 4 4 9 3 * |
| | 通信確立、エラー、ペアリング開始の音量 | | | | |
| | 機能操作 | * C 4 4 A 0 * | * C 4 4 A 1 * | * C 4 4 A 2 * | * * C 4 4 A 3 * |
| BT | 小ボタン長押しでペアリングに入る音量 | | | | |

15-13 動作設定 バイブレータ


























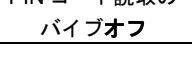
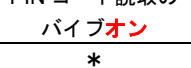
* 印は出荷時設定

バイブレータの禁止（オフ）と許可（オン）



メモ (注) バイブレータはすべて**オフ**に設定して出荷しています。初期化すると許可(オン)になります。

Bluetooth ペアリング時の PIN コード読み取りのバイブレータ・オンは「BT 警告 オン(C4611)」です。

メモ バイブレータをオンにするには「オン」の列を上から順に全部読み取って下さい。





































| モード | 設定 | 禁止(オフ) | 許可(オン) | オプション | |
|--------------------------|---------------------------------|---|---|--|-------------------------------------|
| すべて (ケーブル/ メモリ/BT) | 警告 USB 抜き差し、他 | *  * A 4 5 5 0 * | *  * A 4 5 5 1 * | (なし) | |
| | 設定時 | *  * A 4 5 7 0 * | *  * A 4 5 7 1 * | (なし) | |
| ケーブル (注) | 読み取り | *  * B 8 6 0 0 * | *  * B 8 6 0 1 * | バイブの長さ  * B 9 A E 0 * | →0-255 (10ms/5) →セット→設定 終了 |
| | 警告 メモリ転送で ボタン離れた 後のバイブ | *  * B 8 6 1 0 * | *  * B 8 6 1 1 * | | |
| | 機能操作 メモリ転送で 小ボタン長押し時のバイブ | *  * B 8 6 2 0 * | *  * B 8 6 2 1 * | | |
| メモリ (注) | 読み取り | *  * B E 6 0 0 * | *  * B E 6 0 1 * | バイブの長さ  * B F A E 0 * | →0-255 (10ms/5) →セット→設定 終了 |
| | 警告 メモリ転送で ボタン離れた 後のバイブ | *  * B E 6 1 0 * | *  * B E 6 1 1 * | | |
| | 機能操作 メモリ転送で 小ボタン長押し時のバイブ | *  * B E 6 2 0 * | *  * B E 6 2 1 * | | |
| BT (注) | 読み取り | *  * C 4 6 0 0 * | *  * C 4 6 0 1 * | バイブの長さ  * C 5 A E 0 * | →0-255 (10ms/5) →セット→設定 終了 |
| | 警告 通信確立、エラー、 ペアリング開始、のバイブ | *  * C 4 6 1 0 * PINコード読取の バイブオフ | *  * C 4 6 1 1 * PINコード読取の バイブオン | | |
| | 機能操作 小ボタン長押し、 ペアリングに入るバイブ | *  * C 4 6 2 0 * | *  * C 4 6 2 1 * | | |

15-14 動作設定 プリアンブル/プリフィックス/サフィックス/ポストアンブル



| | |
|--|--|
|  設定開始 | 設定終了  |
|--|--|

* 印は出荷時設定

プリアンブル/プリフィックス/サフィックス/ポストアンブルの転送

























| モード | 設定 | 禁止 | 許可 | オプション | |
|------|------------|---|---|---|---------------------------------|
| ケーブル | プリアンブルの転送 | *  * B A 0 0 0 * |  * B A 0 0 1 * | プリアンブル データ  * B A C E 3 * | →アスキー2桁→ セット→設定終了 |
| | プリフィックスの転送 | *  * B A 0 2 0 * |  * B A 0 2 1 * | プリフィックス データ  * B B 0 E 5 * | →アスキー8桁→ セット→設定終了 |
| | サフィックスの転送 | *  * B A 0 3 0 * |  * B A 0 3 1 * | サフィックス データ  * B B 8 E 5 * | →アスキー8桁→ セット→設定終了 |
| | ポストアンブルの転送 |  * B A 0 1 0 * | *  * B A 0 1 1 * | ポストアンブル データ  * B A E E 3 * | →アスキー2桁 (CR,LF)→セット →設定終了 |
| メモリ | プリアンブルの転送 | *  * C 0 0 0 0 * |  * C 0 0 0 1 * | プリアンブル データ  * C 0 C E 3 * | →アスキー2桁→ セット→設定終了 |
| | プリフィックスの転送 | *  * C 0 0 2 0 * |  * C 0 0 2 1 * | プリフィックス データ  * C 1 0 E 5 * | →アスキー8桁→ セット→設定終了 |
| | サフィックスの転送 | *  * C 0 0 3 0 * |  * C 0 0 3 1 * | サフィックス データ  * C 1 8 E 5 * | →アスキー8桁→ セット→設定終了 |
| | ポストアンブルの転送 |  * C 0 0 1 0 * | *  * C 0 0 1 1 * | ポストアンブル データ  * C 0 E E 3 * | →アスキー2桁 (CR,LF)→セット →設定終了 |
| BT | プリアンブルの転送 | *  * C 6 0 0 0 * |  * C 6 0 0 1 * | プリアンブル データ  * C 6 C E 3 * | →アスキー2桁→ セット→設定終了 |
| | プリフィックスの転送 | *  * C 6 0 2 0 * |  * C 6 0 2 1 * | プリフィックス データ  * C 7 0 E 5 * | →アスキー8桁→ セット→設定終了 |
| | サフィックスの転送 | *  * C 6 0 3 0 * |  * C 6 0 3 1 * | サフィックス データ  * C 7 8 E 5 * | →アスキー8桁→ セット→設定終了 |
| | ポストアンブルの転送 |  * C 6 0 1 0 * | *  * C 6 0 1 1 * | ポストアンブル データ  * C 6 E E 3 * | →アスキー2桁 (CR,LF)→セット →設定終了 |

15-15 動作設定 コードタイプ/コード ID/桁数



| | | | |
|---|------|------|---|
|  | 設定開始 | 設定終了 |  |
|---|------|------|---|

* 印は出荷時設定

コードタイプ/コード ID/桁数の転送










| モード | 設定 | 禁止 | 許可 |
|------|-----------------------|---|---|
| ケーブル | コードタイプの転送 | *  * B A 0 7 0 * |  * B A 0 7 1 * |
| | コード ID の転送 | *  * B A 0 4 0 * |  * B A 0 4 1 * |
| | コード ID の位置 データの前か後 | * 前  * B A 0 5 0 * | 後  * B A 0 5 1 * |
| | 桁数の転送 | *  * B A 0 6 0 * |  * B A 0 6 1 * |
| メモリ | コードタイプの転送 | *  * C 0 0 7 0 * |  * C 0 0 7 1 * |
| | コード ID の転送 | *  * C 0 0 4 0 * |  * C 0 0 4 1 * |
| | コード ID の位置 データの前か後 | * 前  * C 0 0 5 0 * | 後  * C 0 0 5 1 * |
| | 桁数の転送 | *  * C 0 0 6 0 * |  * C 0 0 6 1 * |
| BT | コードタイプの転送 | *  * C 6 0 7 0 * |  * C 6 0 7 1 * |
| | コード ID の転送 | *  * C 6 0 4 0 * |  * C 6 0 4 1 * |
| | コード ID の位置 データの前か後 | 前  * C 6 0 5 0 * | 後  * C 6 0 5 1 * |
| | 桁数の転送 | *  * C 6 0 6 0 * |  * C 6 0 6 1 * |

15-16 動作設定 アルファベット大文字小文字の変換/制御文字

| | | |
|---|------|---|
|  | 設定開始 |  |
|---|------|---|

* 印は出荷時設定

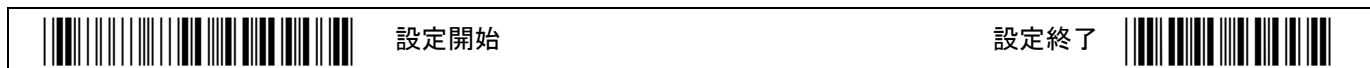
アルファベット大文字小文字の変換

| モード | 変換しない | 大小を逆に変換 | 全て小文字に変換 | 全て大文字に変換 |
|------|---|---|--|---|
| ケーブル | *  * B A 3 8 0 * | *  * B A 3 8 1 * | *  * B A 3 8 2 * | *  * B A 3 8 3 * |
| メモリ | *  * C 0 3 8 0 * | *  * C 0 3 8 1 * | *  * C 0 3 8 2 * | *  * C 0 3 8 3 * |
| BT | *  * C 6 3 8 0 * | *  * C 6 3 8 1 * | *  * C 6 3 8 2 * | *  * C 6 3 8 3 * |























制御文字の転送 許可に設定すると、読み取りデータ内のアスキー制御文字を転送します

| モード | 禁止 | 許可 |
|------|---|--|
| ケーブル | *  * B A 1 0 0 * |  * B A 1 0 1 * |
| メモリ | *  * C 0 1 0 0 * |  * C 0 1 0 1 * |
| BT | *  * C 6 1 0 0 * |  * C 6 1 0 1 * |

15-17 読取設定 UPC-A




* 印は出荷時設定
























| 設定 | 設定メニュー | | | |
|---|--|---|--|--|
| 読み取り | 禁止  * D 0 0 0 0 * | | * 許可  * D 0 0 0 1 * | |
| チェックデジット転送 | 禁止  * D 0 0 7 0 * | | * 許可  * D 0 0 7 1 * | |
| アドオンの読み取り | * 禁止  * D 0 1 9 0 * | 2桁  * D 0 1 9 1 * | 5桁  * D 0 1 9 2 * | 2桁と5桁  * D 0 1 9 3 * |
| アドオンの確認 | * 禁止  * D 0 0 1 0 * | | 許可  * D 0 0 1 1 * | |
| アドオンの確認回数 |  * A 5 8 E 0 * →0-255(回/20)→セット→設定終了 | | | |
| 先頭から連続する0の削除 | * 禁止  * D 0 0 6 0 * | | 許可  * D 0 0 6 1 * | |
| データの削除 データの前か後 | 前方から削除  * D 1 4 E 0 * →0-255(桁/1)→セット→設定終了 | | 後方から削除  * D 1 5 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | |
| 挿入データの位置 | 挿入データ0の位置  * D 1 6 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | | 挿入データ1の位置  * D 1 7 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | |
| 挿入データ | 挿入データ0  * D 1 8 E 3 * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了 | | 挿入データ1  * D 1 A E 3 * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了 | |
| コードID | コードIDの文字  * D 1 C E 3 * →アスキー2文字(A)→セット→設定終了 | | | |
| EAN 13 / JAN 13 に強制変換 (注)ファームウェアバージョン 0001-0023 以上が対応 | * 禁止  * D 0 0 2 0 * | | 許可  * D 0 0 2 1 * | |

メモ 「EAN 13 / JAN 13 に強制変換」を許可に設定後、UPC-A(12桁)を読み取ると先頭に0を追加し13桁で転送します。設定後、コードタイプの転送を許可に設定するとUPC-Aのコードタイプは(EAN-13)を転送します。また、コードIDの転送を許可に設定するとUPC-AのコードIDはEAN 13 / JAN 13のコードID「F」を転送します。



15-18 読取設定 UPC-E

| | | | |
|---|------|------|---|
|  | 設定開始 | 設定終了 |  |
|---|------|------|---|
























* 印は出荷時設定

| 設定 | 設定メニュー | | | |
|-------------------|---|--|--|---|
| 読み取り | 禁止  * D 2 0 0 0 * | | * 許可  * D 2 0 0 1 * | |
| チェックデジット転送 | 禁止  * D 2 0 7 0 * | | * 許可  * D 2 0 7 1 * | |
| アドオンの読み取り | * 禁止  * D 2 1 9 0 * | 2桁  * D 2 1 9 1 * | 5桁  * D 2 1 9 2 * | 2桁と5桁  * D 2 1 9 3 * |
| アドオンの確認 | * 禁止  * D 2 0 1 0 * | | 許可  * D 2 0 1 1 * | |
| アドオンの確認回数 |  * A 5 8 E 0 * →0-255(回/20)→セット→設定終了 | | | |
| 13桁に変換 | * 禁止  * D 2 0 2 0 * | | 許可  * D 2 0 2 1 * | |
| 先頭から連続する0の削除 | * 禁止  * D 2 0 6 0 * | | 許可  * D 2 0 6 1 * | |
| データの削除 データの前か後 | 前方から削除  * D 3 4 E 0 * →0-255(桁/1)→セット→設定終了 | | 後方から削除  * D 3 5 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | |
| 挿入データの位置 | 挿入データ0の位置  * D 3 6 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | | 挿入データ1の位置  * D 3 7 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | |
| 挿入データ | 挿入データ0  * D 3 8 E 3 * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了 | | 挿入データ1  * D 3 A E 3 * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了 | |
| コードID | コードIDの文字  * D 3 C E 3 * →アスキー2文字(E)→セット→設定終了 | | サブコードIDの文字  * D 3 E E 3 * →アスキー2文字(E)→セット→設定終了 | |
| | ----- 13桁に変換を許可にしたときのID | | | |



15-19 読取設定 EAN-13/JAN-13

| | |
|--|--|
|  設定開始 | 設定終了  |
|--|--|
























* 印は出荷時設定

| 設定 | 設定メニュー | | | |
|---------------|---|--|--|---|
| 読み取り | 禁止  * D 4 0 0 0 * | | * 許可  * D 4 0 0 1 * | |
| チェックデジット転送 | 禁止  * D 4 0 7 0 * | | * 許可  * D 4 0 7 1 * | |
| アドオンの読み取り | * 禁止  * D 4 1 9 0 * | 2桁  * D 4 1 9 1 * | 5桁  * D 4 1 9 2 * | 2桁と5桁  * D 4 1 9 3 * |
| アドオンの確認 | * 禁止  * D 4 0 1 0 * | | 許可  * D 4 0 1 1 * | |
| アドオンの確認回数 |  * A 5 8 E 0 * →0-255(回/20)→セット→設定終了 | | | |
| ISBN/ISSN に変換 | * 禁止  * D 4 0 2 0 * | | 許可  * D 4 0 2 1 * | |
| 先頭から連続する0の削除 | * 禁止  * D 4 0 6 0 * | | 許可  * D 4 0 6 1 * | |
| データの削除 | 前方から削除  * D 5 4 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | | 後方から削除  * D 5 5 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | |
| 挿入データの位置 | 挿入データ0の位置  * D 5 6 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | | 挿入データ1の位置  * D 5 7 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | |
| 挿入データ | 挿入データ0  * D 5 8 E 3 * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了 | | 挿入データ1  * D 5 A E 3 * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了 | |
| コードID | コードIDの文字  * D 5 C E 3 * →アスキー2文字(F)→セット→設定終了 | | サブコードIDの文字  * D 5 E E 3 * →アスキー2文字(F)→セット→設定終了 | |
| | ISBN/ISSN 変換を許可にしたときの ID | | | |

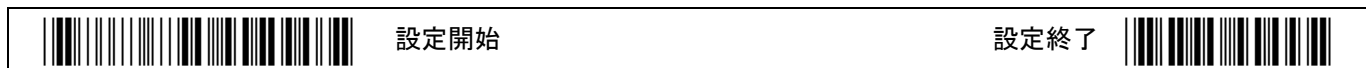
15-20 読取設定 EAN-8/JAN-8

| | | | |
|---|------|------|---|
|  | 設定開始 | 設定終了 |  |
|---|------|------|---|













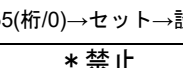
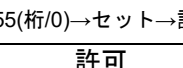






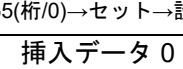
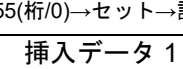
* 印は出荷時設定

| 設定 | 設定メニュー | | | |
|------------------|--|---|--|--|
| 読み取り | 禁止  * D 6 0 0 0 * | | * 許可  * D 6 0 0 1 * | |
| チェックデジット転送 | 禁止  * D 6 0 7 0 * | | * 許可  * D 6 0 7 1 * | |
| アドオンの読み取り | * 禁止  * D 6 1 9 0 * | 2桁  * D 6 1 9 1 * | 5桁  * D 4 1 9 2 * | 2桁と5桁  * D 6 1 9 3 * |
| アドオンの確認 | * 禁止  * D 6 0 1 0 * | | 許可  * D 6 0 1 1 * | |
| アドオンの確認回数 |  * A 5 8 E 0 * →0-255(回/20)→セット→設定終了 | | | |
| 13桁に変換 | * 禁止  * D 6 0 2 0 * | | 許可  * D 6 0 2 1 * | |
| 先頭から連続する0の削除 | * 禁止  * D 6 0 6 0 * | | 許可  * D 6 0 6 1 * | |
| データの削除 | 前方から削除  * D 7 4 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | | 後方から削除  * D 7 5 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | |
| 挿入データの位置 | 挿入データ0の位置  * D 7 6 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | | 挿入データ1の位置  * D 7 7 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | |
| 挿入データ | 挿入データ0  * D 7 8 E 3 * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了 | | 挿入データ1  * D 7 A E 3 * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了 | |
| コードID | コードIDの文字  * D 7 C E 3 * →アスキー2文字(FF)→セット→設定終了 | | サブコードIDの文字  * D 7 E E 3 * →アスキー2文字(FF)→セット→設定終了 | |
| 13桁変換を許可にしたときのID | | | | |



15-21 読取設定 Code 39




















* 印は出荷時設定

| 設定 | 設定メニュー | |
|----------------|--|--|
| 読み取り | 禁止  * D 8 0 0 0 * | * 許可  * D 8 0 0 1 * |
| スタート/ストップ転送 | * 禁止  * D 8 0 3 0 * | 許可  * D 8 0 3 1 * |
| チェックデジット確認 | * 禁止  * D 8 1 8 0 * | 許可  * D 8 1 8 1 * |
| チェックデジット転送 | * 禁止  * D 8 0 7 0 * | 許可  * D 8 0 7 1 * |
| Code 39 の形式 | * 標準  * D 8 1 9 0 * | Full ASCII Code 39  * D 8 1 9 1 * |
| 最小/最大読取桁数 | 最小読取桁数  * D 9 2 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | 最大読取桁数  * D 9 3 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 |
| 先頭から連続する 0 の削除 | * 禁止  * D 8 0 6 0 * | 許可  * D 8 0 6 1 * |
| データの削除 | 前方から削除  * D 9 4 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | 後方から削除  * D 9 5 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 |
| 挿入データの位置 | 挿入データ 0 の位置  * D 9 6 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | 挿入データ 1 の位置  * D 9 7 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 |
| 挿入データ | 挿入データ 0  * D 9 8 E 3 * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了 | 挿入データ 1  * D 9 A E 3 * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了 |
| コード ID | コード ID の文字  * D 9 C E 3 * →アスキー2文字(M)→セット→設定終了 | サブコード ID の文字  * D 9 E E 3 * →アスキー2文字(M)→セット→設定終了 ----- Full ASCII Code39 の ID |

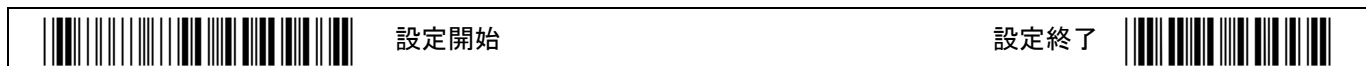
15-22 読取設定 Interleaved 2 of 5

| | | | |
|---|------|------|---|
|  | 設定開始 | 設定終了 |  |
|---|------|------|---|


















* 印は出荷時設定

| 設定 | 設定メニュー | |
|--------------|--|--|
| 読み取り | * 禁止  * D E 0 0 0 * | 許可  * D E 0 0 1 * |
| チェックデジット確認 | * 禁止  * D E 1 8 0 * | 許可  * D E 1 8 1 * |
| チェックデジット転送 | * 禁止  * D E 0 7 0 * | 許可  * D E 0 7 1 * |
| 最小/最大読取桁数 | 最小読取桁数  * D F 2 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | 最大読取桁数  * D F 3 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 |
| 先頭から連続する0の削除 | * 禁止  * D E 0 6 0 * | 許可  * D E 0 6 1 * |
| データの削除 | 前方から削除  * D F 4 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | 後方から削除  * D F 5 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 |
| 挿入データの位置 | 挿入データ0の位置  * D F 6 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | 挿入データ1の位置  * D F 7 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 |
| 挿入データ | 挿入データ0  * D F 8 E 3 * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了 | 挿入データ1  * D F A E 3 * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了 |
| コードID | コードIDの文字  * D 9 C E 3 * →アスキー2文字(l)→セット→設定終了 | |



15-23 読取設定 Industrial 2 of 5




















* 印は出荷時設定

| 設定 | 設定メニュー | |
|--------------|--|--|
| 読み取り | * 禁止  * E 0 0 0 0 * | 許可  * E 0 0 0 1 * |
| チェックデジット確認 | * 禁止  * E 0 1 8 0 * | 許可  * E 0 1 8 1 * |
| チェックデジット転送 | * 禁止  * E 0 0 7 0 * | 許可  * E 0 0 7 1 * |
| 最小/最大読取桁数 | 最小読取桁数  * E 1 2 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | 最大読取桁数  * E 1 3 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 |
| 先頭から連続する0の削除 | * 禁止  * E 0 0 6 0 * | 許可  * E 0 0 6 1 * |
| データの削除 | 前方から削除  * E 1 4 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | 後方から削除  * E 1 5 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 |
| 挿入データの位置 | 挿入データ0の位置  * E 1 6 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | 挿入データ1の位置  * E 1 7 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 |
| 挿入データ | 挿入データ0  * E 1 8 E 3 * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了 | 挿入データ1  * E 1 A E 3 * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了 |
| コードID | コードIDの文字  * E 1 C E 3 * →アスキー2文字(J)→セット→設定終了 | |

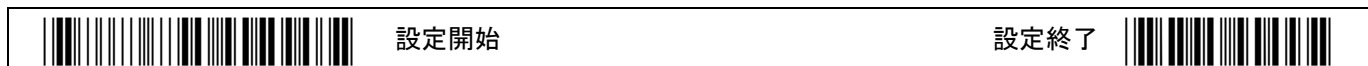
15-24 読取設定 Matrix 2 of 5

| | | | |
|---|------|------|---|
|  | 設定開始 | 設定終了 |  |
|---|------|------|---|


























* 印は出荷時設定

| 設定 | 設定メニュー | |
|--------------|---|---|
| 読み取り | * 禁止  * E 2 0 0 0 * | 許可  * E 2 0 0 1 * |
| チェックデジット確認 | * 禁止  * E 2 1 8 0 * | 許可  * E 2 1 8 1 * |
| チェックデジット転送 | * 禁止  * E 2 0 7 0 * | 許可  * E 2 0 7 1 * |
| 最小/最大読取桁数 | 最小読取桁数  * E 3 2 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | 最大読取桁数  * E 3 3 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 |
| 先頭から連続する0の削除 | * 禁止  * E 2 0 6 0 * | 許可  * E 2 0 6 1 * |
| データの削除 | 前方から削除  * E 3 4 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | 後方から削除  * E 3 5 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 |
| 挿入データの位置 | 挿入データ0の位置  * E 3 6 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | 挿入データ1の位置  * E 3 7 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 |
| 挿入データ | 挿入データ0  * E 3 8 E 3 * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了 | 挿入データ1  * E 3 A E 3 * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了 |
| コードID | コードIDの文字  * E 3 C E 3 * →アスキー2文字(G)→セット→設定終了 | |



15-25 読取設定 Codabar / NW7











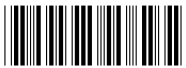










* 印は出荷時設定

| 設定 | 設定メニュー | | | |
|---|--|--|--|--|
| 読み取り | 禁止  * D C 0 0 0 * | | * 許可  * D C 0 0 1 * | |
| スタート/ストップ転送 | * 禁止  * D C 0 3 0 * | | 許可  * D C 0 3 1 * | |
| スタート/ストップ転送形式 | * ABCD/ABCD  * D C 1 A 0 * | abcd/abcd  * D C 1 A 1 * | ABCD/TN*E  * D C 1 A 2 * | abcd/tn*e  * D C 1 A 2 * |
| スタート/ストップ同一確認 許可はスタートとストップが同一の ときのみ読み取る | * 禁止  * D C 0 2 0 * | | 許可  * D C 0 2 1 * | |
| チェックデジット確認 MOD16 のチェックデジットを確認し ます | * 禁止  * D C 1 8 0 * | | 許可  * D C 1 8 1 * | |
| チェックデジット転送 | * 禁止  * D C 0 7 0 * | | 許可  * D C 0 7 1 * | |
| 最小/最大読取桁数 | 最小読取桁数  * D D 2 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | | 最大読取桁数  * D D 3 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | |
| 先頭から連続する 0 の削除 | * 禁止  * D C 0 6 0 * | | 許可  * D C 0 6 1 * | |
| データの削除 | 前方から削除  * D D 4 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | | 後方から削除  * D D 5 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | |
| 挿入データの位置 | 挿入データ 0 の位置  * D D 6 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | | 挿入データ 1 の位置  * D D 7 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | |
| 挿入データ | 挿入データ 0  * D D 8 E 3 * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了 | | 挿入データ 1  * D D A E 3 * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了 | |
| コード ID | コード ID の文字  * D D C E 3 * →アスキー2文字(N)→セット→設定終了 | | | |

15-26 読取設定 Code 128

| | | | |
|---|------|------|---|
|  | 設定開始 | 設定終了 |  |
|---|------|------|---|

* 印は出荷時設定

| 設定 | 設定メニュー | | |
|---|--|---|--|
| 読み取り | 禁止  * D A 0 0 0 * | * 許可  * D A 0 0 1 * | |
| 転送形式 メモ UCC-128 の設定はバージョン 0001-0044 以上が区切 FNC1 を <GS>として転送します。 メモ GS1-128 の設定はバージョン 0001-0014 以上が対応します。 | * 標準  * D A 1 A 0 * | UCC-128  * D A 1 A 1 * | GS1-128  * D A 1 A 2 * |
| 区切文字 メモ 区切 FNC1 変更は FW 0001-0044 以上が対応します。 メモ AI カッコ変更は FW 0001-0014 以上が対応します。 | メモ 右記の設定は区切 FNC1 の<GS>や AI の左右に付くカッコを任意の 1 文字に変更します | 区切 FNC1 変更(UCC-128 の時)  * D B 0 E 2 * →1 文字(<GS>)→セット→設定終了 ※初期値 1D は<GS>を設定します | AI カッコ変更(GS1-128 の時)  * D B 1 E 2 * →1 文字()→セット→設定終了 ※初期値 28 は()を設定します |
| 最小/最大読取桁数 | 最小読取桁数  * D B 2 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | 最大読取桁数  * D B 3 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | |
| 先頭から連続する 0 の削除 | * 禁止  * D A 0 6 0 * | 許可  * D A 0 6 1 * | |
| データの削除 | 前方から削除  * D B 4 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | 後方から削除  * D B 5 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | |
| 挿入データの位置 | 挿入データ 0 の位置  * D B 6 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | 挿入データ 1 の位置  * D B 7 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | |
| 挿入データ | 挿入データ 0  * D B 8 E 3 * →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了 | 挿入データ 1  * D B A E 3 * →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了 | |
| コード ID メモ コード ID は Code 128 の ID、サブコード ID は UCC-128、GS1-128 の ID です。 | コード ID の文字  * D B C E 3 * →アスキー2 文字(K)→セット→設定終了 | サブコード ID の文字  * D 9 E E 3 * →アスキー2 文字(K)→セット→設定終了 | |

例 GS1-128 のデータが <FNC1>0124512345678900171812003010<FNC1>10A1234 のときの各設定と転送データ



| 転送形式 | 制御文字の転送(15-16 参照) | 転送データ |
|---------|-------------------|---|
| 標準 | 禁止 | 012451234567890017181200301010A1234 |
| | 許可 ※1 | 012451234567890017181200301010 0x1D A1234 |
| UCC-128 | 禁止 ※2 | JC 10124512345678900171812003010<GS>10A1234 |
| | 許可 ※3 | JC 10124512345678900171812003010 0x1D 10A1234 |
| GS1-128 | 禁止 | (01)24512345678900(17)181200(30)10(10)A1234 |
| | 許可 | (01)24512345678900(17)181200(30)10(10) A 1234 |

※1 FW 0001-0047 以上が対応。これより前の FW は許可のとき 0x1D を送信しません。0x1D については※3 を参照。



















※2 この<GS>は表示通りの 4 文字です。制御文字 0x1D(ASCII の GS)ではありません。

※3 制御文字 0x1D(ASCII の GS)は、USB HID と Bluetooth HID では F12 キーになります。



15-27 読取設定 Code 93

| | | | |
|---|------|------|---|
|  | 設定開始 | 設定終了 |  |
|---|------|------|---|



















* 印は出荷時設定

| 設定 | 設定メニュー | | |
|--------------|---|---|--|
| 読み取り | * 禁止  * E 4 0 0 0 * | 許可  * E 4 0 0 1 * | |
| チェックデジット確認 | 禁止  * E 4 1 8 0 * | 1桁  * E 4 1 8 1 * | * 2桁  * E 4 1 8 2 * |
| チェックデジット転送 | * 禁止  * E 4 0 7 0 * | 許可  * E 4 0 7 1 * | |
| 最小/最大読取桁数 | 最小読取桁数  * E 5 2 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | 最大読取桁数  * E 5 3 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | |
| 先頭から連続する0の削除 | * 禁止  * E 4 0 6 0 * | 許可  * E 4 0 6 1 * | |
| データの削除 | 前方から削除  * E 5 4 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | 後方から削除  * E 5 5 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | |
| 挿入データの位置 | 挿入データ0の位置  * E 5 6 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | 挿入データ1の位置  * E 5 7 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | |
| 挿入データ | 挿入データ0  * E 5 8 E 3 * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了 | 挿入データ1  * E 5 A E 3 * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了 | |
| コードID | コードIDの文字  * E 5 C E 3 * →アスキー2文字(L)→セット→設定終了 | | |



15-28 読取設定 Code 11

| | | | |
|---|------|------|---|
|  | 設定開始 | 設定終了 |  |
|---|------|------|---|




















* 印は出荷時設定

| 設定 | 設定メニュー | | |
|--------------|---|---|---|
| 読み取り | * 禁止  * E 6 0 0 0 * | 許可  * E 6 0 0 1 * | |
| チェックデジット確認 | 禁止  * E 6 1 8 0 * | 1桁  * E 6 1 8 1 * | *2桁  * E 6 1 8 2 * |
| チェックデジット転送 | * 禁止  * E 6 0 7 0 * | 許可  * E 6 0 7 1 * | |
| 最小/最大読取桁数 | 最小読取桁数  * E 7 2 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | 最大読取桁数  * E 7 3 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | |
| 先頭から連続する0の削除 | * 禁止  * E 6 0 6 0 * | 許可  * E 6 0 6 1 * | |
| データの削除 | 前方から削除  * E 7 4 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | 後方から削除  * E 7 5 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | |
| 挿入データの位置 | 挿入データ0の位置  * E 7 6 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | 挿入データ1の位置  * E 7 7 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | |
| 挿入データ | 挿入データ0  * E 7 8 E 3 * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了 | 挿入データ1  * E 7 A E 3 * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了 | |
| コードID | コードIDの文字  * E 7 C E 3 * →アスキー2文字(O)→セット→設定終了 | | |



15-29 読取設定 MSI

| | | | |
|---|------|------|---|
|  | 設定開始 | 設定終了 |  |
|---|------|------|---|


















* 印は出荷時設定

| 設定 | 設定メニュー | | | |
|--------------|---|---|---|--|
| 読み取り | * 禁止  * E 8 0 0 0 * | | 許可  * E 8 0 0 1 * | |
| チェックデジット確認 | 禁止  * E 8 1 8 0 * | * Mod10  * E 8 1 8 1 * | Mod10/10  * E 8 1 8 2 * | Mod11/10  * E 8 1 8 3 * |
| チェックデジット転送 | * 禁止  * E 8 0 7 0 * | | 許可  * E 8 0 7 1 * | |
| 最小/最大読取桁数 | 最小読取桁数  * E 9 2 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | | 最大読取桁数  * E 9 3 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | |
| 先頭から連続する0の削除 | * 禁止  * E 8 0 6 0 * | | 許可  * E 8 0 6 1 * | |
| データの削除 | 前方から削除  * E 9 4 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | | 後方から削除  * E 9 5 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | |
| 挿入データの位置 | 挿入データ0の位置  * E 9 6 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | | 挿入データ1の位置  * E 9 7 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | |
| 挿入データ | 挿入データ0  * E 9 8 E 3 * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了 | | 挿入データ1  * E 9 A E 3 * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了 | |
| コードID | コードIDの文字  * E 9 C E 3 * →アスキー2文字(P)→セット→設定終了 | | | |



15-30 読取設定 Plessey

| | | | |
|---|------|------|---|
|  | 設定開始 | 設定終了 |  |
|---|------|------|---|





















* 印は出荷時設定

| 設定 | 設定メニュー | |
|--------------|---|---|
| 読み取り | * 禁止  * E A 0 0 0 * | 許可  * E A 0 0 1 * |
| チェックデジット確認 | * 禁止  * E A 1 8 0 * | 許可  * E 8 1 8 1 * |
| チェックデジット転送 | * 禁止  * E A 0 7 0 * | 許可  * E A 0 7 1 * |
| 最小/最大読取桁数 | 最小読取桁数  * E B 2 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | 最大読取桁数  * E B 3 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 |
| 先頭から連続する0の削除 | * 禁止  * E A 0 6 0 * | 許可  * E A 0 6 1 * |
| データの削除 | 前方から削除  * E B 4 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | 後方から削除  * E B 5 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 |
| 挿入データの位置 | 挿入データ0の位置  * E B 6 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | 挿入データ1の位置  * E B 7 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 |
| 挿入データ | 挿入データ0  * E B 8 E 3 * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了 | 挿入データ1  * E B A E 3 * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了 |
| コードID | コードIDの文字  * E B C E 3 * →アスキー2文字(R)→セット→設定終了 | |

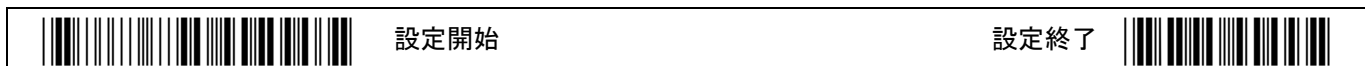
15-31 読取設定 Telepen

| | | | |
|---|------|------|---|
|  | 設定開始 | 設定終了 |  |
|---|------|------|---|
















* 印は出荷時設定

| 設定 | 設定メニュー | | |
|--------------|---|---|--|
| 読み取り | * 禁止  * E C 0 0 0 * | 許可  * E C 0 0 1 * | |
| 転送形式 | * Numeric  * E C 1 9 0 * | ASCII  * E C 1 9 1 * | 自動  * E C 1 2 2 * |
| チェックデジット確認 | * 禁止  * E C 1 8 0 * | 許可  * E C 1 8 1 * | |
| チェックデジット転送 | * 禁止  * E C 0 7 0 * | 許可  * E C 0 7 1 * | |
| 最小/最大読取桁数 | 最小読取桁数  * E D 2 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | 最大読取桁数  * E D 3 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | |
| 先頭から連続する0の削除 | * 禁止  * E C 0 6 0 * | 許可  * E C 0 6 1 * | |
| データの削除 | 前方から削除  * E D 4 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | 後方から削除  * E D 5 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | |
| 挿入データの位置 | 挿入データ0の位置  * E D 6 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | 挿入データ1の位置  * E D 7 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | |
| 挿入データ | 挿入データ0  * E D 8 E 3 * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了 | 挿入データ1  * E D A E 3 * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了 | |
| コードID | コードIDの文字  * E D C E 3 * →アスキー2文字(S)→セット→設定終了 | | |

15-32 読取設定 GS1 Databar Omnidirectional/GS1 データバー標準型



* 印は出荷時設定

| 設定 | 設定メニュー | |
|--|---|---|
| 読み取り | * 禁止  * E E 0 0 0 * | 許可  * E E 0 0 1 * |
| AI カッコ()追加 許可は AI に()を追加して転送します。(ファームウェア0001-0014 以上) メモ ファームウェア 0001-0010 以下は禁止：先頭 01 を転送しない、許可：先頭 01 を転送する | * 禁止  * E E 0 4 0 * | 許可  * E E 0 4 1 * カッコが正しく出ない場合、キーボード配列(第 14 章 15-3)を適切に設定して下さい。 |
| GS1 AIM ID 転送 許可は先頭に]e0 を転送します。 | * 禁止  * E E 0 5 0 * | 許可  * E E 0 5 1 * |
| 最終桁の転送 ご注意 ファームウェア0001-0044 以上はこの設定を廃止しました。初期設定で最終桁を転送します | * 禁止  * E E 0 7 0 * | 許可  * E E 0 7 1 * |
| データの削除 メモ 先頭 01 を転送しない場合、 設定開始 → 前方から削除 →下記欄外 2 → セット → 設定終了 を設定します。詳細は欄外メモを参照。 | 前方から削除  * E B 4 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | 後方から削除  * E F 5 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 |
| 挿入データの位置 | 挿入データ 0 の位置  * E F 6 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | 挿入データ 1 の位置  * E F 7 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 |
| 挿入データ | 挿入データ 0  * E F 8 E 3 * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了 | 挿入データ 1  * E F A E 3 * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了 |
| コード ID | コード ID の文字  * E F C E 3 * →アスキー2文字(T)→セット→設定終了 | |



メモ <バージョン 0001-0014 以上> 先頭のアプリケーション識別子 01 を転送しない設定 → 次の設定をして下さい。

設定開始→**前方から削除**→**2**→**セット**→**設定終了**
















(設定後、元に戻す場合 **設定開始**→**前方から削除**→**0**→**セット**→**設定終了**)



15-33 読取設定 GS1 Databar Limited/GS1 データバー限定型

| | | |
|--|------|---|
|  設定開始 | 設定終了 |  |
|--|------|---|

* 印は出荷時設定

| 設定 | 設定メニュー | |
|--|---|---|
| 読み取り | * 禁止  * F 0 0 0 0 * | 許可  * F 0 0 0 1 * |
| AI カッコ()追加 許可は AI に()を追加して転送します。(ファームウェア0001-0014 以上) メモ ファームウェア 0001-0010 以下は禁止：先頭 01 を転送しない、許可：先頭 01 を転送する | * 禁止  * F 0 0 4 0 * | 許可  * F 0 0 4 1 * カッコが正しく出ない場合、キーボード配列(第 14 章 15-3)を適切に設定して下さい。 |
| GS1 AIM ID 転送 許可は先頭に]e0 を転送します。 | * 禁止  * F 0 0 5 0 * | 許可  * F 0 0 5 1 * |
| 最終桁の転送 ご注意 ファームウェア0001-0044 以上はこの設定を廃止しました。初期設定で最終桁を転送します | * 禁止  * F 0 0 7 0 * | 許可  * F 0 0 7 1 * |
| データの削除 メモ 先頭 01 を転送しない場合、 設定開始 → 前方から削除 →下記欄外 2 → セット → 設定終了 を設定します。詳細は欄外メモを参照。 | 前方から削除  * F 1 4 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | 後方から削除  * F 1 5 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 |
| 挿入データの位置 | 挿入データ 0 の位置  * F 1 6 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | 挿入データ 1 の位置  * F 1 7 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 |
| 挿入データ | 挿入データ 0  * F 1 8 E 3 * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了 | 挿入データ 1  * F 1 A E 3 * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了 |
| コード ID | コード ID の文字  * F 1 C E 3 * →アスキー2文字(U)→セット→設定終了 | |

メモ <バージョン 0001-0014 以上> 先頭のアプリケーション識別子 01 を転送しない設定 → 次の設定をして下さい。

設定開始→**前方から削除**→**2**→**セット**→**設定終了**

(設定後、元に戻す場合 **設定開始**→**前方から削除**→**0**→**セット**→**設定終了**)

2



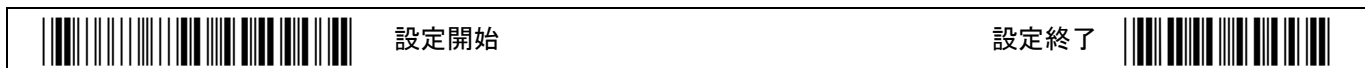
0



セット



15-34 読取設定 GS1 Databar Stacked/GS1 データバー標準二層型



* 印は出荷時設定

| 設定 | 設定メニュー | |
|--|---|--|
| 読み取り | <p>* 禁止</p> <p>* F 2 0 0 0 *</p> | <p>許可</p> <p>* F 2 0 0 1 *</p> |
| AI カッコ()追加 許可は AI に()を追加して転送します。(ファームウェア0001-0014 以上) メモ ファームウェア 0001-0010 以下は禁止: 先頭 01 を転送しない、許可: 先頭 01 を転送する | <p>* 禁止</p> <p>* F 2 0 4 0 *</p> | <p>許可</p> <p>* F 2 0 4 1 *</p> <p>カッコが正しく出ない場合、キーボード配列(第 14 章 15-3)を適切に設定して下さい。</p> |
| GS1 AIM ID 転送 許可は先頭に]e0 を転送します。 | <p>* 禁止</p> <p>* F 2 0 5 0 *</p> | <p>許可</p> <p>* F 2 0 5 1 *</p> |
| 最終桁の転送 ご注意 ファームウェア0001-0044 以上はこの設定を廃止しました。初期設定で最終桁を転送します | <p>* 禁止</p> <p>* F 2 0 7 0 *</p> | <p>許可</p> <p>* F 2 0 7 1 *</p> |
| データの削除 メモ 先頭 01 を転送しない場合、 設定開始 → 前方から削除 →下記欄外 2 → セット → 設定終了 を設定します。詳細は欄外メモを参照。 | <p>前方から削除</p> <p>* F 3 4 E 0 *</p> <p>→0-255(桁/0)→セット→設定終了</p> | <p>後方から削除</p> <p>* F 3 5 E 0 *</p> <p>→0-255(桁/0)→セット→設定終了</p> |
| 挿入データの位置 | <p>挿入データ 0 の位置</p> <p>* F 3 6 E 0 *</p> <p>→0-255(桁/0)→セット→設定終了</p> | <p>挿入データ 1 の位置</p> <p>* F 3 7 E 0 *</p> <p>→0-255(桁/0)→セット→設定終了</p> |
| 挿入データ | <p>挿入データ 0</p> <p>* F 3 8 E 3 *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p> | <p>挿入データ 1</p> <p>* F 3 A E 3 *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p> |
| コード ID | <p>コード ID の文字</p> <p>* F 3 C E 3 *</p> <p>→アスキー2文字(V)→セット→設定終了</p> | |



メモ <バージョン 0001-0014 以上> 先頭のアプリケーション識別子 01 を転送しない設定 → 次の設定をして下さい。

設定開始→**前方から削除**→**2**→**セット**→**設定終了**


















(設定後、元に戻す場合 **設定開始**→**前方から削除**→**0**→**セット**→**設定終了**)



15-35 読取設定 GS1 Databar Expanded/GS1 データバー拡張型

| | | |
|---|------|---|
|  | 設定開始 |  |
|---|------|---|

* 印は出荷時設定

| 設定 | 設定メニュー | |
|---|--|---|
| 読み取り | <p>* 禁止</p>  <p>* F 4 0 0 0 *</p> | <p>許可</p>  <p>* F 4 0 0 1 *</p> |
| AI カッコ()追加 許可は AI に()を追加して転送します。(ファームウェア0001-0014 以上) メモ ファームウェア 0001-0010 以下は禁止：先頭 01 を転送しない、許可：先頭 01 を転送する | <p>* 禁止</p>  <p>* F 4 0 4 0 *</p> | <p>許可</p>  <p>* F 4 0 4 1 *</p> <p>カッコが正しく出ない場合、キーボード配列(第 14 章 15-3)を適切に設定して下さい。</p> |
| GS1 AIM ID 転送 許可は先頭にje0 を転送します。ファームウェア 0001-0044 以上は区切 FNC1 を<GS>として転送します。 | <p>* 禁止</p>  <p>* F 4 0 5 0 *</p> | <p>許可</p>  <p>* F 4 0 5 1 *</p> |
| 区切文字 メモ ファームウェア0001-0044 以上が対応します。区切 FNC1 の<GS>や AI の左右に付くカッコを任意の 1 文字に変更します。 | <p>区切 FNC1 変更 (AIM ID 転送許可の時)</p>  <p>* F 5 0 E 2 *</p> <p>→1 文字(<GS>)→セット→設定終了 ※初期値 1D は<GS>を設定します</p> | <p>AI カッコ変更 (AI カッコ()追加許可の時)</p>  <p>* F 5 1 E 2 *</p> <p>→1 文字()→セット→設定終了 ※初期値 28 は()を設定します</p> |
| 最終桁の転送 ご注意 ファームウェア0001-0044 以上はこの設定を廃止しました。初期設定で最終桁を転送します。 | <p>* 禁止</p>  <p>* F 4 0 7 0 *</p> | <p>許可</p>  <p>* F 4 0 7 1 *</p> |
| データの削除 | <p>前方から削除</p>  <p>* F 5 4 E 0 *</p> <p>→0-255(桁/0)→セット→設定終了</p> | <p>後方から削除</p>  <p>* F 5 5 E 0 *</p> <p>→0-255(桁/0)→セット→設定終了</p> |
| 挿入データの位置 | <p>挿入データ 0 の位置</p>  <p>* F 5 6 E 0 *</p> <p>→0-255(桁/0)→セット→設定終了</p> | <p>挿入データ 1 の位置</p>  <p>* F 5 7 E 0 *</p> <p>→0-255(桁/0)→セット→設定終了</p> |
| 挿入データ | <p>挿入データ 0</p>  <p>* F 5 8 E 3 *</p> <p>→アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了</p> | <p>挿入データ 1</p>  <p>* F 5 A E 3 *</p> <p>→アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了</p> |
| コード ID | <p>コード ID の文字</p>  <p>* F 5 C E 3 *</p> <p>→アスキー2 文字(W)→セット→設定終了</p> | |



例 GS1 Databar Expanded のデータが 0124512345678900171812003010<FNC1>10A1234 のときの各設定と転送データ

| AI カッコ()追加 | GS1 AIM ID 転送 | 制御文字の転送(15-16 参照) | 転送データ |
|------------|---------------|--|---|
| 禁止 | 禁止 | 禁止 | 012451234567890017181200301010A1234 |
| | 許可 ※2 | 許可 ※1 | 01245123456789001718120030100x1D 10A1234 |
| 許可 | 禁止 | 許可 | je00124512345678900171812003010<GS>10A1234 |
| | | 許可 | je001245123456789001718120030100x1D10A1234 |
| | 許可 | 禁止 | (01)24512345678900(17)181200(30)10(10)A1234 |
| | | 許可 | (01)24512345678900(17)181200(30)10(10)A1234 |
| | 禁止 | je0(01)24512345678900(17)181200(30)10(10)A1234 | |
| | 許可 | je0(01)24512345678900(17)181200(30)10(10)A1234 | |


















※1 制御文字 0x1D(ASCII の GS)は、USB HID と Bluetooth HID では F12 キーになります。

※2 この<GS>は表示通りの 4 文字です。制御文字 0x1D(ASCII の GS)ではありません。

15-36 読取設定 GS1 Databar Expanded Stacked/GS1 データバー拡張多層型

| | | | |
|---|------|------|---|
|  | 設定開始 | 設定終了 |  |
|---|------|------|---|

* 印は出荷時設定

| 設定 | 設定メニュー | |
|---|--|--|
| 読み取り | * 禁止  * F 6 0 0 0 * | 許可  * F 6 0 0 1 * |
| AI カッコ()追加 許可は AI に()を追加して転送します。(ファームウェア0001-0014 以上) メモ ファームウェア 0001-0010 以下は禁止：先頭 01 を転送しない、許可：先頭 01 を転送する | * 禁止  * F 6 0 4 0 * | 許可  * F 6 0 4 1 * カッコが正しく出ない場合、キーボード配列(第 14 章 15-3)を適切に設定して下さい。 |
| GS1 AIM ID 転送 許可は先頭にje0 を転送します。ファームウェア 0001-0044 以上は区切 FNC1 を<GS>として転送します。 | * 禁止  * F 6 0 5 0 * | 許可  * F 6 0 5 1 * |
| 区切文字 メモ ファームウェア0001-0044 以上が対応します。区切 FNC1 の<GS>や AI の左右に付くカッコを任意の 1 文字に変更します。 | 区切 FNC1 変更(AIM ID 転送許可の時)  * F 7 0 E 2 * →1 文字(<GS>)→セット→設定終了 ※初期値 1D で<GS>を設定 | AI カッコ変更(AI カッコ()追加許可の時)  * F 7 1 E 2 * →1 文字()→セット→設定終了 ※初期値 28 で()を設定 |
| 最終桁の転送 ご注意 ファームウェア0001-0044 以上はこの設定を廃止しました。初期設定で最終桁を転送します。 | * 禁止  * F 6 0 7 0 * | 許可  * F 6 0 7 1 * |
| データの削除 | 前方から削除  * F 7 4 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | 後方から削除  * F 7 5 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 |
| 挿入データの位置 | 挿入データ 0 の位置  * F 7 6 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 | 挿入データ 1 の位置  * F 7 7 E 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了 |
| 挿入データ | 挿入データ 0  * F 7 8 E 3 * →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了 | 挿入データ 1  * F 7 A E 3 * →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了 |
| コード ID | コード ID の文字  * F 7 C E 3 * →アスキー2 文字(X)→セット→設定終了 | |

メモ 各設定と転送データについては 15-35 読取設定 GS1 Databar Expanded の欄外の例を参照して下さい。

第 16 章 保証と修理

16-1 保証

■保証について

本製品には保証書が添付されておりません。ただし、本製品に表示している製造番号（シリアルナンバー、S/N）によって保証期間を管理し、保証規定に基づく保証対象製品としております。

■保証規定

保証規定はお客様が購入された本製品について、修理などに関する保証の条件等を規定するものです。

■保証期間

お買い上げ日から 1 年間

■無償保証

製品が正常な使用状態のもとで故障した場合、保証期間内に当社に対し修理を依頼することにより、無償保証の適用を受けることができます。但し、保証期間内であっても次に掲げる場合は無償保証の適用を受けることができません。

1. 修理依頼時に、修理依頼書をご提示いただけない場合。
2. 使用上の誤り（落下による衝撃など）によって故障及び損傷が発生した場合。
3. お客様が製品を改造、分解、修理された場合。
4. お客様が、当社が指定するもの以外の機器と接続したことによって故障または破損した場合。
5. お客様による運送または移動の際に、落下または衝撃によって故障または破損した場合。
6. 火災、地震、風水害、落雷およびそのほかの天災地変、または異常電圧などの外部的要因によって故障または破損した場合。
7. 消耗品(ケーブル、電池)は無償保証の対象外のため有償交換となります。
8. 以上に掲げる場合のほか、故障の原因がお客様の使用方法にあると認められた場合。

■保証範囲

- ・保証規定は、製品についてのみ無償修理をお約束するもので、製品の故障またはお取り扱い上の注意に反する使用により発生した損害、損失については、弊社は一切補償いたしません。
- ・修理または交換にかかる付帯費用（運送費など）は一切補償いたしません。
- ・保証規定は、日本国内においてのみ有効です。

16-2 修理

●修理について

故障と思われる症状が発生した場合は、説明書などをお読みいただき、正しい設定・接続ができているかをご確認ください。症状が改善されない場合は、弊社ホームページ掲載の「修理依頼書」を印刷の上、修理依頼書に必要事項をご記入いただき、製品に添付して指定の宛先まで現品をお送りください。

修理依頼品の発送送料はお客様のご負担とさせていただきますのでご了承ください。

●修理依頼・製品の送付先について

修理をご依頼になる場合は、まず弊社にご相談ください。

●修理依頼書の入手先

弊社ホームページからダウンロードしてください。

お問い合わせ先

株式会社エイポック

ホームページ <https://www.a-poc.co.jp/>

メール info_mail@a-poc.co.jp

〒230-0051 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央 4-36-1 ナイス第 2 ビル 5F

電話 045-508-5201 FAX 045-501-5202

付録 A サンプルバーコード

UPC-A



UPC-E



JAN-13(EAN-13)



JAN-8(EAN-8)



Code 39



CODE39-1Q

Interleaved 2 of 5 (ITF) ※



14512345678903

※出荷時、読み取りは**禁止**

※出荷時、最小読取桁数は**6**桁

Codabar / NW7



A1234567890A

Code 128



Code 128-567890

GS1 Databar Limited GS1 データバー限定型 ※



(01)04598765432113

※出荷時、読み取りは**禁止**

※出荷時、アプリケーション識別子(01)の転送は**禁止**

※出荷時、最終桁の転送は**禁止**

印刷設定や環境によってはサンプルを正しく印刷できず、読み取らない場合があります。

付録 B 英数メニュー

アスキーコード表

| L \ H | 0(*) | 1(*) | 0(**) | 1(**) |
|-------|--------|-------|-------|-------|
| 0 | Null | | NUL | DLE |
| 1 | Up | F1 | SOH | DC1 |
| 2 | Down | F2 | STX | DC2 |
| 3 | Left | F3 | ETX | DC3 |
| 4 | Right | F4 | EOT | DC4 |
| 5 | PgUp | F5 | ENQ | NAK |
| 6 | PgDn | F6 | ACK | SYN |
| 7 | | F7 | BEL | ETB |
| 8 | Bs | F8 | BS | CAN |
| 9 | Tab | F9 | HT | EM |
| A | | F10 | LF | SUB |
| B | Home | ESC | VT | ESC |
| C | End | F11 | FF | FS |
| D | Enter | F12 | CR | GS |
| E | Insert | Ctrl+ | SO | RS |
| F | Delete | Alt+ | SI | US |

*USB キーボードインターフェースが対応

| L \ H | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
|-------|----|---|---|---|---|-----|
| 0 | SP | 0 | @ | P | ` | p |
| 1 | ! | 1 | A | Q | a | q |
| 2 | “ | 2 | B | R | b | r |
| 3 | # | 3 | C | S | c | s |
| 4 | \$ | 4 | D | T | d | t |
| 5 | % | 5 | E | U | e | u |
| 6 | & | 6 | F | V | f | v |
| 7 | ' | 7 | G | W | g | w |
| 8 | (| 8 | H | X | h | x |
| 9 |) | 9 | I | Y | i | y |
| A | * | : | J | Z | j | z |
| B | + | ; | K | [| k | { |
| C | , | < | L | ¥ | l | |
| D | - | = | M |] | m | } |
| E | . | > | N | ^ | n | ~ |
| F | / | ? | O | _ | o | DEL |

| | |
|---|--|
| 0 | |
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |
| 6 | |
| 7 | |
| 8 | |
| 9 | |
| A | |
| B | |
| C | |
| D | |
| E | |
| F | |

